Panasonic®

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-T4シリーズ

上手に使って上手に節電

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
付属の取扱説明書と本マニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

操作マニュアルの画面を拡大表示する方法

画面全体のアイコンなどを拡大表示する方法

画面の一部を拡大表示する方法

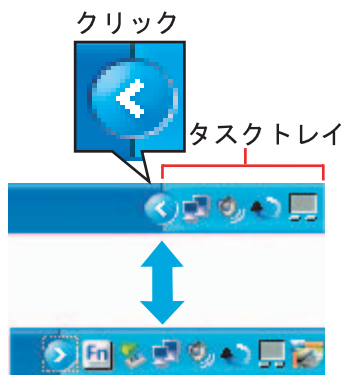
表記について

【Enter】	キーボードの Enter キーを押すことを意味します。
【Fn】＋【F5】	キーボードの Fn キーを押しながら、F5 キーを押すことを意味します。 【Fn】と【Ctrl】(左側)の機能を入れ換えてお使いの場合(➔ 167 ページ)は、【Fn】と【Ctrl】(左側)を置き換えてご覧ください。
[スタート] - [検索]	画面上の [スタート] をクリックした後、[検索] をクリックすることを意味します。
➔ または⇒	参照先を意味します。 ➔:➔ をクリックすると、参照ページにジャンプします。 ⇒:コンピューター本体に付属の『取扱説明書』や『困ったときのQ&A』、『ご使用の前に』などを参照してください。
○○○○ *1	*1 をクリックすると、関連している説明(注釈)にジャンプします。

- 本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。制限付きアカウントのユーザーで実行できない機能があったり、画面表示が本書と違ったりする場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。

- 本書では、「Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows」または「Windows XP」と表記します。

- 本書で説明しているタスクトレイ内のアイコンが隠れて表示されていない場合は、

をクリックしてすべてのアイコンを表示させてください。

(本書で使用しているタスクトレイのアイコンは一例であり、各種機能の設定や接続している機器など、環境によってアイコンの種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。)

- **別売りの商品について**
  本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

ディスプレイ（表示モード）について

内部 LCD **（ノートブック）**	**本機のディスプレイ**
外部ディスプレイ （PC **モニタ）**	**本機と接続した外部ディスプレイ**
同時表示 （Intel(R) Dual Display Clone）	**内部** LCD **と外部ディスプレイの両方に同じ画面を表示すること。**
拡張デスクトップ	**内部** LCD **と外部ディスプレイを連続した表示領域として使うこと。** **内部** LCD **と外部ディスプレイとの間で、ウィンドウのドラッグ移動などができます。**

（）内は、[Mobile Intel(R) 915GM/GMS. 910GML Express Chipset Family **のプロパティ**] **画面** *1 **で使用している用語です。**

*1 **画面を表示するには：**
[**スタート**] - [**コントロールパネル**] **をクリックして、左側の** [**関連項目**] **の** [**コントロールパネルのその他のオプション**] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile] **をクリックします。**

操作マニュアルの見かた

操作マニュアルは、次のようにして目的のページを表示したり、文字で検索して見たいページを探したりできます。（画面は一例です。）

検索
正しく検索できない場合は、文字列の一部を入力してみてください。
例：「Fnキー」で検索できない
　　場合は、「Fn」や「キー」で
　　検索

拡大表示

表示サイズ変更

拡大／縮小表示

ページ移動

表示部分の移動

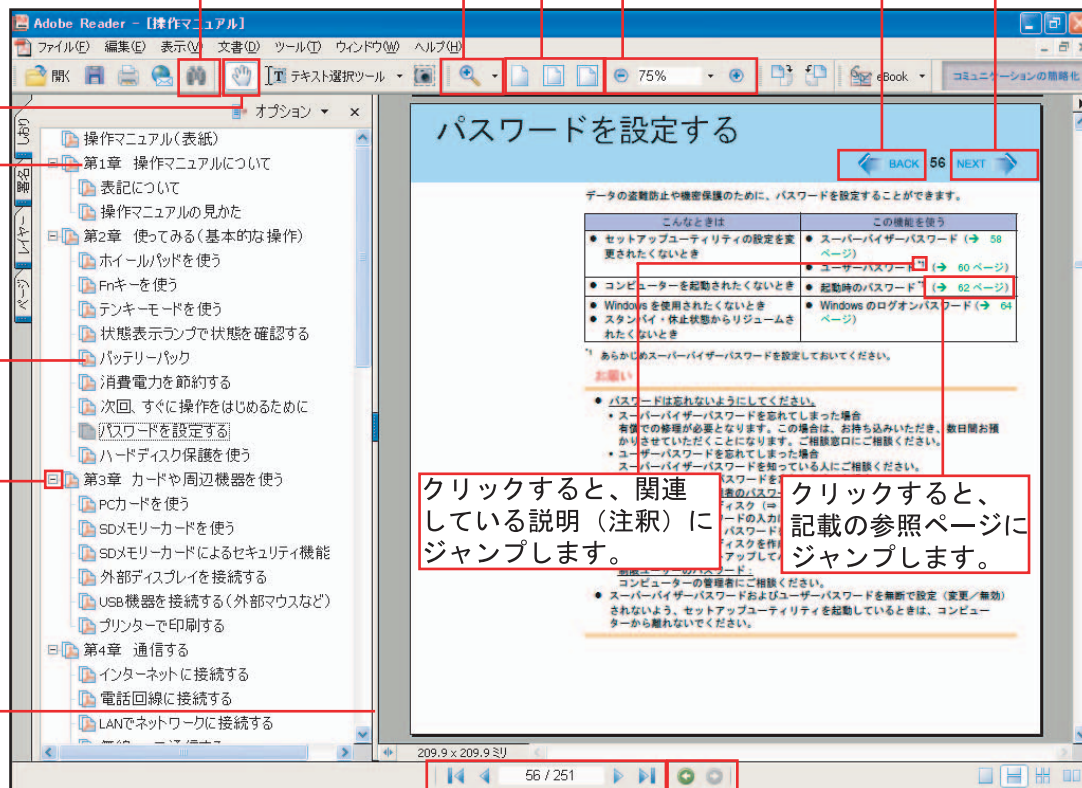
[第〇章]をクリックすると、章の最初の項目のトップページを表示します。

クリックすると、項目のトップページを表示します。

⊟をクリックすると⊞に変わり、その下位にある項目が隠れます。⊞をクリックすると、隠れている項目が表示されます。

左右にドラッグすると、しおりの幅を調整できます。

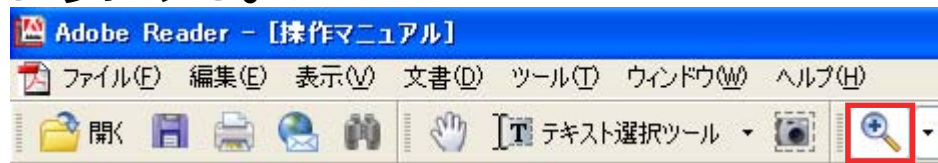
クリックすると、関連している説明（注釈）にジャンプします。

クリックすると、記載の参照ページにジャンプします。

ページ移動

ページ移動の履歴にしたがって、戻る／進む

拡大表示する

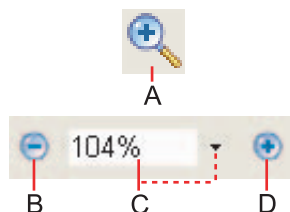
操作マニュアルに表示される文字やアイコンが小さくて見えにくいときは、以下の方法で拡大表示することができます。

1 をクリックしてズームインツールが使えるようにする。

2 表示を拡大したい部分にカーソルを合わせてクリックし、見やすい大きさにする。

- 大きくしすぎたら、【Ctrl】を押しながらクリックすると、縮小できます。

3 必要に応じて をクリックし、画面上でドラッグして、見たい部分を表示させる。

操作マニュアルの見かた

操作マニュアルは、Adobe Reader というアプリケーションソフトを使って表示しています。Adobe Reader には以下の拡大／縮小方法があります。

● 拡大／縮小ができるツール

A. ズームインツール：クリックすると、クリックした位置の周辺を中心に拡大表示されます。ドラッグすると、囲んだ部分が拡大表示されます。
B. ズームアウト：クリックするごとに、縮小表示されます。
C. 拡大／縮小の値を%で入力し、【Enter】を押すと指定したサイズで表示されます。（▼をクリックして表示される値から選ぶこともできます。）
D. ズームイン：クリックするごとに、拡大表示されます。

● 選択した倍率で表示できるツール

E. 実際の大きさ：クリックすると、[スタート]メニューから操作マニュアルを開いたときの大きさで表示されます。
F. 全体表示：クリックすると、1ページ分の内容が表示されます。
G. 幅に合わせる：クリックすると、画面の幅に合わせて拡大／縮小表示されます。

印刷する

お知らせ

- 操作マニュアルを印刷するためには、プリンター（別売り）が必要です。(➔ 99 ページ)
- プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

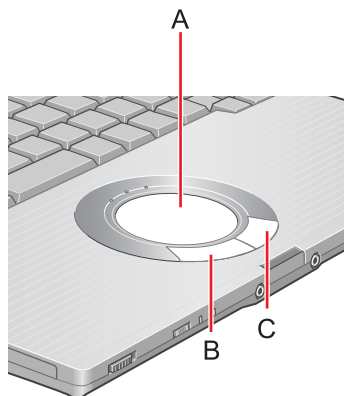
1 印刷するページを確認する。

- 表示しているページのみを印刷する場合：そのページを表示したままにします。
- ページを指定して印刷する場合：ページ番号を確認しておきます。

2 をクリックする。

3 [プリンタ]や[印刷範囲]などを設定し、[OK]をクリックする。

- ページが回転して印刷されてしまう場合：[自動回転と中央配置] からチェックマークを外します。

ホイールパッドを使う

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。

A. 操作面（ホイールパッド）
B. 左ボタン
C. 右ボタン

機能	操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かす。
タップ／クリック	タップ　または　クリック ● 右クリック：右ボタンをクリックする。
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ　または　ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてからすばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら指を移動させる。
縦／横スクロール	円を描くようにホイールパッドをなぞる。（→ 10 ページ）

お知らせ

- ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

◆カーソルが思うように動かないとき

- ホイールパッドに触れたときの感度を調節することができます。（➔ 19 ページ）
- 外部マウスを接続していて、カーソルが正しく動作しなくなった場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] に設定し、ホイールパッドを無効にしてください。再び、ホイールパッドを使用するときは、[有効] に設定してください。（➔ 167 ページ）

スクロールする

ホイールパッドを使ったスクロールには、ホイールパッドユーティリティを使う方法と、バーチャルスクロール機能を使う方法があります。同時に 2 つの機能を使うことはできません。
工場出荷時はホイールパッドユーティリティが使えるように設定されています。

- ホイールパッドユーティリティ
  - ホイールパッド上で円を描くようになぞることで連続的にスクロールできます。
  - ホイールパッドの形状に合わせて使いやすく設計されています。

縦スクロール	工場出荷時の状態で使えます。
横スクロール	横スクロールを使うための設定が必要です。(➔ 11 ページ)

- バーチャルスクロール機能（➔ 17 ページ）
  - 繰り返し縦方向（または横方向）になぞることで、スクロールできます。
  - 他のコンピューターで使われている角型のフラットパッドのような操作性です。

縦スクロール	バーチャルスクロール機能を有効に設定する必要があります。
横スクロール	

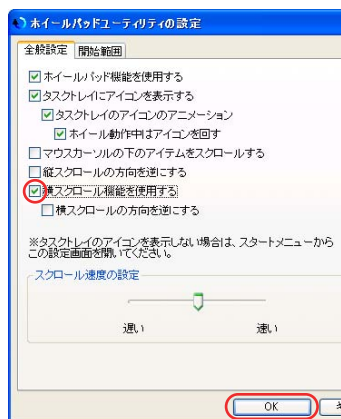
- ホイールパッドユーティリティを使うかバーチャルスクロール機能を使うかは、アカウントごとに設定することができます。

ホイールパッドユーティリティを使う

ホイールパッド上で円を描くようになぞると、画面をスクロールすることができます。

お知らせ

- 外部マウスに付属のドライバーは、ホイールパッドユーティリティと同時に使用することができません。外部マウスを使用するときは、「外部マウスをお使いになるとき」をご覧ください。(➔ 94ページ)

ホイールパッドを使う

1 横スクロールを使う場合は、下記の設定を行う。

一度設定すれば、次回からは設定する必要はありません。

① 画面右下のタスクトレイの「スクロールアイコン」をクリックし、[設定]をクリックする。

が表示されていない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティの設定]をクリックしてください。
ホイールパッドユーティリティが起動していないことを知らせるメッセージが表示された場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティ]をクリックして を表示させてください。

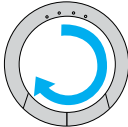
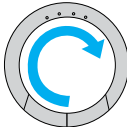
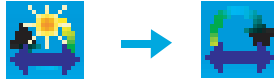
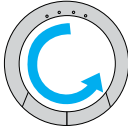
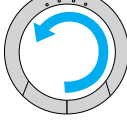
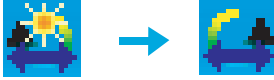
② [全般設定]の画面で[横スクロール機能を使用する] にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

2 スクロールできる画面を表示させる。

3 スクロールしたい領域にカーソルを合わせてタップ（クリック）する。

4 指を離し、ホイールパッドの周囲（下図）に指を置く。

スクロールの方向や指を置く位置は、ホイールパッドユーティリティの設定で変更できます。（➔ 14ページ）ここでは、工場出荷時の設定で説明します。

内容	縦スクロール *1	横スクロール
指を置く位置 *2	この部分 A	この部分
タスクトレイのアイコン	指を置くとアイコンが変わります。	
	→	→

*1　横スクロール機能を使用する設定になっていない場合は、上図（A）の部分も指を置く位置に含まれます。

*2　スクロールを開始する範囲は変更できます。（➔ 16 ページ）
ここでは工場出荷時の範囲を表示しています。

5 **指を離さずにホイールパッドの周りの円にそってなぞる。**

スクロールの方向は、ホイールパッドユーティリティの[縦スクロールの方向を逆にする]または[横スクロールの方向を逆にする]で変更できます。（→ 14ページ）
ここでは、工場出荷時の設定で説明します。

内容	縦スクロール	横スクロール *1
時計回りになぞる	下方向へのスクロール	右方向へのスクロール
タスクトレイのアイコン	スクロール中はアイコンが時計回りに回転します。	
内容	縦スクロール	横スクロール *1
反時計回りになぞる	上方向へのスクロール	左方向へのスクロール
タスクトレイのアイコン	スクロール中はアイコンが反時計回りに回転します。	

*1 横スクロール機能を使用する設定になっていない場合は縦スクロールになります。

- デスクトップなどスクロールできない画面で、スクロール操作を行うと、画面をスクロールしようとしてカーソルが動かなくなることがあります。その場合は、ホイールパッドから指を離し、再度ホイールパッドの中央付近から触るようにしてください。

- 横スクロールバーがあり、縦スクロールバーがない領域では縦スクロールを行っても横スクロールになる場合があります。

6 スクロールが始まったら、そのまま指を離さずにホイールパッド上で円を描くようになぞる。

- ホイールパッドの周りの円にそってなぞらなくても、ホイールパッドのどの位置でも円を描くようになぞればスクロールできます。
- ホイールパッドから指を離さず逆方向に円を描くようになぞると、逆方向にスクロールできます。

7 スクロールを終了するときは、ホイールパッドから指を離す。

お知らせ

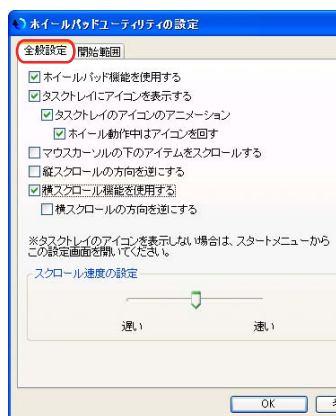
- スクロールの各設定を変更する場合：

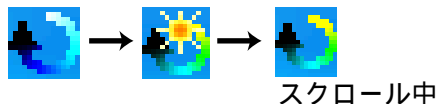
① 画面右下のタスクトレイの「スクロールアイコン」 をクリックし、[設定]をクリックしてください。

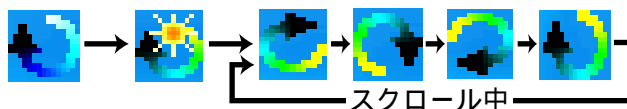
が表示されていない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティの設定]をクリックしてください。
ホイールパッドユーティリティが起動していないことを知らせるメッセージが表示された場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティ]をクリックして を表示させてください。

② 設定を変更する。

- 全般設定
  - ホイールパッド機能を使用する
    チェックマークを付けると、ホイールパッド機能（画面スクロール）を使用できます。チェックマークを外すと、ホイールパッド機能は無効になり、タスクトレイに が表示されます。
  - タスクトレイにアイコンを表示する

ホイールパッドを使う

- **タスクトレイのアイコンのアニメーション**

パッドに触れる

- **ホイール動作中はアイコンを回す**

パッドに触れる

- **マウスカーソルの下のアイテムをスクロールする**
  チェックマークを付けると、アクティブなウィンドウの中でマウスカーソルがある領域をスクロールします。
  チェックマークを外すと、アクティブなウィンドウの中の選択された領域をスクロールします。
  いずれの場合もアクティブなウィンドウの外にマウスカーソルがあると、選択された領域をスクロールします。
- **縦スクロールの方向を逆にする**
  チェックマークを付けてホイールパッドを時計回りになぞると、上方向にスクロールします。
  チェックマークを外してホイールパッドを時計回りになぞると、下方向にスクロールします。
- **横スクロール機能を使用する（➔ 11 ページ）**
- **横スクロールの方向を逆にする**
  チェックマークを付けてホイールパッドを時計回りになぞると、左方向にスクロールします。
  チェックマークを外してホイールパッドを時計回りになぞると、右方向にスクロールします。
- **スクロール速度の設定**
  スクロールの速度を変更できます。

- **開始範囲**
  - **スクロール開始範囲の設定**

    A．**開始範囲の幅**

    開始範囲の内周をドラッグすると、開始範囲の幅（A）を 5 段階に変更できます。

    [開始範囲] のスライドバーをスライドさせても変更できます。

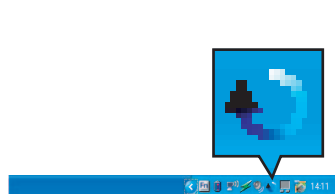
    B．**縦横スクロールの開始範囲**

    縦横スクロールの開始範囲の境界をドラッグすると、開始範囲（B）を変更できます。横スクロールの開始範囲は最大で半周です。

③ **[OK]をクリックする。**

変更が有効になります。

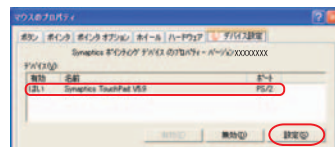
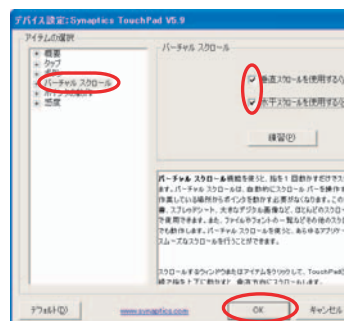
バーチャルスクロール機能を使う

バーチャルスクロール機能を使う場合は、以下の設定を行ってください。
ただし、ホイールパッドユーティリティは無効になります。

1 画面右下のタスクトレイの「スクロールアイコン」をクリックし、[設定] をクリックする。

が表示されていない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティの設定]をクリックしてください。
ホイールパッドユーティリティが起動していないことを知らせるメッセージが表示された場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティ]をクリックして を表示させてください。

2 [全般設定]画面で、[ホイールパッド機能を使用する]のチェックマークを外し、[OK]をクリックする。

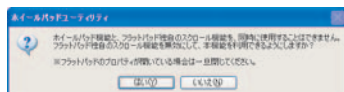
タスクトレイの が に変わります。

3 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス] - [デバイス設定]をクリックする。

4 [デバイス]内のデバイス名（例：Synaptics TouchPad）をクリックして、[設定]をクリックする。

5 [バーチャルスクロール]をクリックし、使用するスクロールの機能をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

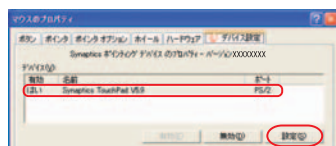
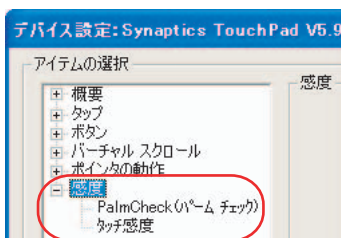
6 「マウスのプロパティ」画面で[OK]をクリックする。

お知らせ

● ホイールパッドユーティリティを再度使用するとき
① 前ページ手順*3*〜*4*を行う。
② [バーチャルスクロール]をクリックし、[垂直スクロールを使用する]と[水平スクロールを使用する]のチェックマークを外し、[OK]をクリックする。
③ 「マウスのプロパティ」画面で[OK]をクリックする。
④ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティの設定] をクリックする。
⑤ [全般設定]をクリックし、[ホイールパッド機能を使用する]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

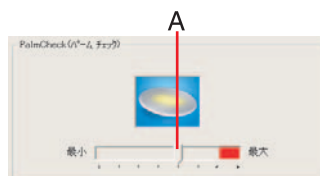
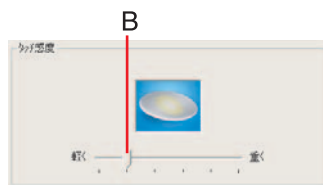
● ホイールパッドユーティリティとバーチャルスクロール機能は、同時に使用することはできません。同時に使用しようとすると、ホイールパッドユーティリティの利用を確認するメッセージが表示されます。
- ホイールパッドユーティリティを使う場合
[はい]をクリックしてください。バーチャルスクロール機能が無効になります。
- ホイールパッドユーティリティを使わず、バーチャルスクロール機能を使う場合
[いいえ]をクリックしてください。
ホイールパッドユーティリティをアンインストールすることもできます。
① 画面右下のタスクトレイの「スクロールアイコン」または をクリックし、「終了」をクリックする。
② [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]をクリックし、[ホイールパッドユーティリティ]をクリックした後、[変更と削除]をクリックしてプログラムを削除する。

ホイールパッドに触れたときの感度を調節する

以下の手順で、「PalmCheck™ （パーム チェック）」と「タッチ感度」の 2 つの感度を調節して、使いやすい設定にしてください。

1 **[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス] - [デバイス設定]をクリックする。**

2 **[デバイス]内のデバイス名（例：Synaptics TouchPad）をクリックして、[設定]をクリックする。**

3 **[感度]をダブルクリックして、[PalmCheck（パーム チェック）]または[タッチ感度]をクリックする。**

4 **調節した後、[OK]をクリックする。**

◆PalmCheck™ （パーム チェック）

- **キーボード操作時、ホイールパッドを操作するつもりがないのに手のひらがホイールパッドに触れてカーソルが動いてしまう場合に調節します。**
  - **スライドバー（A）を [最大] 側へドラッグすると、意図していないときにカーソルが動いてしまうことを防ぐことができます。**
  - **スライドバー（A）を [最小] 側へドラッグすると、手のひらがホイールパッドに軽く触れても、カーソルが動くようになります。**

◆タッチ感度

- ホイールパッドを操作するつもりがないのに指がホイールパッドに軽く触れただけでカーソルが動いてしまう場合、または、ホイールパッド上で指を動かしてもカーソルがなかなか動かない場合に調節します。
  - スライドバー（B）を [重く] 側へドラッグすると、ホイールパッドに強く触れないとカーソルが動かなくなります。
  - スライドバー（B）を [軽く] 側へドラッグすると、ホイールパッドに軽く触れただけでカーソルが動くようになります。

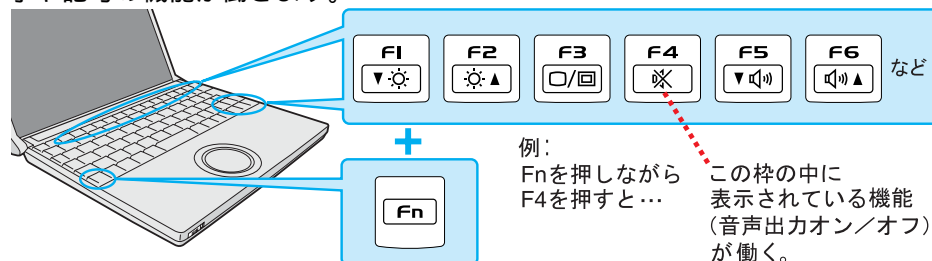
お知らせ

- [デフォルト]をクリックすると、工場出荷時の設定に戻すことができます。

ホイールパッドの取り扱い

- ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- ホイールパッドに汚れが付着した場合
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

Fnキーを使う

【Fn】を押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、枠で囲まれている文字や記号の機能が働きます。

お願い

- 繰り返し連続して押さないでください。
  【Fn】＋【F1】を押した後、【Fn】＋【F2】を押すなど、別の組み合わせのキーを押す場合でも連続して押さないでください。（組み合わせて押した操作が反映されてから次の操作を行ってください。）
- ホイールパッドや外部マウスを操作しながら押さないでください。
- 【Fn】を押しながら【F1】と【F2】または【Fn】を押しながら【F5】と【F6】を同時に押さないでください。

お知らせ

- Windows にログオンしハードディスク状態表示ランプが消灯するまでは、【Fn】と組み合わせたキー操作を行わないでください。
  ただし、セットアップユーティリティ（➔ 163ページ）の画面では、ポップアップウィンドウは表示されませんが【Fn】＋【F1】、【Fn】＋【F2】、【Fn】＋【F3】のキー操作が可能です。
- 動作中のアプリケーションソフトによっては、【Fn】と組み合わせたキー操作が機能しない場合があります。また、[コマンドプロンプト]を全画面表示しているときなど、アプリケーションソフトの状態によって、ポップアップウィンドウが表示されない場合があります。
- 【Fn】と【Ctrl】（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➔ 167ページ）：
  - 【Fn】の代わりに【Ctrl】（左側）を押してください。
  - 【Fn】と【Ctrl】（右側）のキーを押しながらもう一つのキーを押す操作はできません。
  - キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。

キー	機能	ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）
【Fn】＋【F1】 【Fn】＋【F2】	**内部 LCD の明るさの調整** 【Fn】＋【F1】（下げる）／【Fn】＋【F2】（上げる） AC アダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを別々に保持できます。 工場出荷時、AC アダプターが接続されていない状態では暗く設定されています。 **お知らせ** ● 画面の明るさに合わせて電源状態表示ランプ（→ 31ページ）の明るさも変わります。	

Fnキーを使う

<table>
<tr><th>キー</th><th>機能</th><th>ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）</th></tr>
<tr><td>【Fn】+【F3】</td><td>画面の表示先の切り替え（外部ディスプレイ接続時）
外部ディスプレイ、内部 LCD または同時表示が切り替えられます。（➔ 87 ページ）

お願い
● 画面表示が完全に切り替わるまで他のキーを押さないでください。
● 下記の場合、このキー操作を行わないでください。
• MPEGファイルの再生中
• 拡張デスクトップモードの使用時
• ピンボールなどのゲームを表示しているとき

お知らせ
● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、このキー操作が動作しなくなる場合があります。その場合は、すべてのユーザーをログオフした後、コンピューターを再起動してください。
● 外部ディスプレイを接続するときは、「外部ディスプレイを接続する」の「お知らせ」もご覧ください。（➔ 89ページ）</td><td>—</td></tr>
</table>

Fnキーを使う

キー	機能	ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）
【Fn】+【F4】	音声出力のオン／オフ 内蔵スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン／オフを切り替えます。 **お知らせ** ● 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴らなくなります。 ● USBコネクターに接続されているスピーカーなどのオーディオデバイスは、ミュートできません。	オフ（ミュート） オン
【Fn】+【F5】 【Fn】+【F6】	音量調整 【Fn】+【F5】（下げる）／【Fn】+【F6】（上げる） 内蔵スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 **お知らせ** ● USBコネクターに接続されているスピーカーなどのオーディオデバイスの音量調整はできません。	
【Fn】+【F7】	スタンバイ機能を使って電源オフ 現在のコンピューターの状態がメモリーに保存されて電源が切れます。（➔ 48 ページ）	—

キー	機能	ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）
【Fn】＋【F9】	バッテリーの残量表示	エコノミーモード (ECO) 無効 100 %　バッテリーパック装着時（表示は一例です。） -- %　バッテリーパック未装着時 エコノミーモード (ECO) 有効 ECO 79 %　バッテリーパック装着時（表示は一例です。） ECO -- %　バッテリーパック未装着時
【Fn】+【F10】	休止状態機能を使って電源オフ 現在のコンピューターの状態がハードディスクに保存されて電源が切れます。（→ 48 ページ）	—
【Fn】+【F11】	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	—
【Fn】+【F12】	画面をクリップボードにコピー（PrtSc） 画面全体をクリップボードにコピーします。 【Fn】＋【Alt】＋【F12】を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	—

キー	機能	ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）
【Fn】+【NumLk】 【Fn】＋【Ins】 【Fn】＋【Del】	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 【Fn】＋【NumLk】：ScrLk 【Fn】＋【Ins】：Pause 【Fn】＋【Del】：Break	—
【Fn】＋【←】	最初のページに移動またはカーソルを行の先頭に移動（Home）	—
【Fn】＋【→】	最後のページに移動またはカーソルを行の最後に移動（End）	—
【Fn】＋【↑】	前のページに移動（PgUp）	—
【Fn】＋【↓】	次のページに移動（PgDn）	—

Hotkey設定

Hotkey 設定では、以下の 2 つの機能を設定することができます。

- Fn キーロック機能
  【Fn】と組み合わせたキー操作を行うとき、【Fn】を押した後、他のキーを押すまで【Fn】が押された状態（ロック状態）にする機能。
  2 つのキーを同時に押すことが苦手な方に便利です。
- ポップアップウィンドウの表示／非表示

お知らせ

- Hotkey設定は、ユーザーごとに設定できます。
- 【Fn】と【Ctrl】（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➔ 167ページ）は、【Fn】と【Ctrl】を置き換えてご覧ください。

1 Hotkey設定プログラムを起動する。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey設定]をクリックする。

2 各項目を設定する。

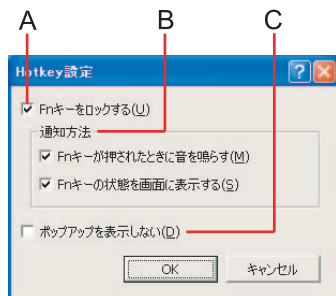
A. Fnキーをロックする
チェックマークを付けると、Fnキーロック機能を使用することができます。

- 1 回だけ【Fn】を使う場合

① 【Fn】を1回押す。（ロック状態）
② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）

- 連続して【Fn】を使う場合

① 【Fn】を2回押す。（ロック状態）
② 組み合わせる他のキーを押す。（再度【Fn】を押すまでロック状態は解除されません。）

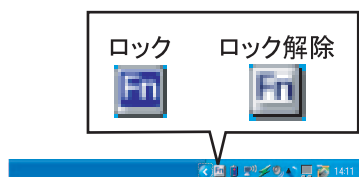
B. 通知方法
[Fnキーをロックする]にチェックマークを付けたときのみ設定できます。

[Fn キーが押されたときに音を鳴らす]

- **チェックマークを付けると、【Fn】を押してロック状態になったとき、またはロック状態が解除されたときに、そのことを音で知らせます。**
  ただし、【Fn】+【F4】を押すなどして、スピーカーをオフにしている場合、音は鳴りません。【Fn】+【F5】を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

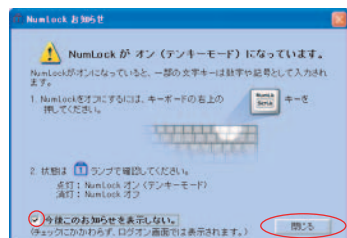
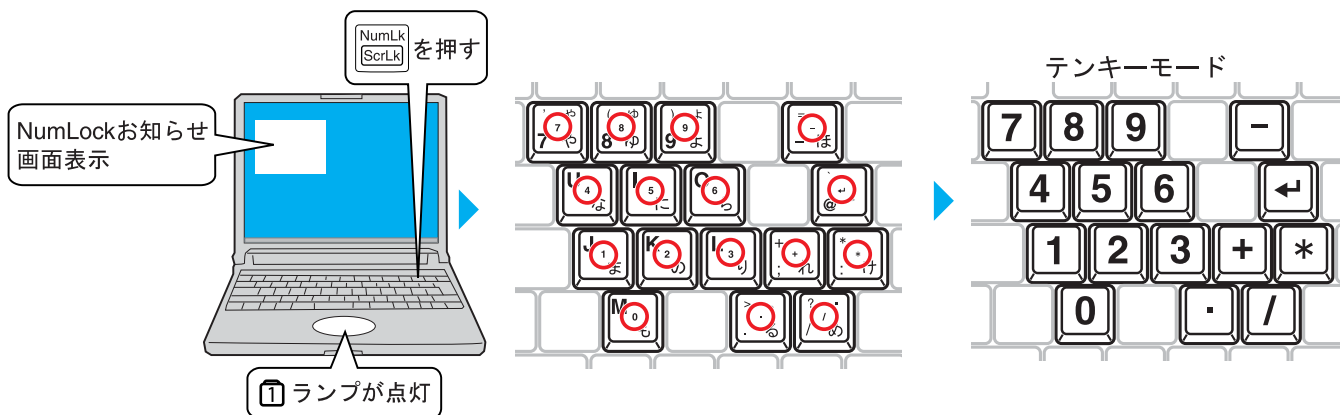
[Fn キーの状態を画面に表示する]

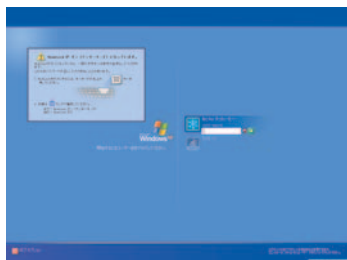
チェックマークを付けると、【Fn】のロック状態が画面右下のタスクトレイに表示されます。

C. **ポップアップを表示しない**

チェックマークを付けると、ポップアップウィンドウが表示されなくなります。
[コマンドプロンプト]やMPEGファイルの再生画面を全画面表示にしているとき、【Fn】+【F1】～【Fn】+【F10】のいずれかの組み合わせを押すとウィンドウ表示に切り替わることがあります。これを防ぐにはチェックマークを付けてください。

3 [OK]**をクリックする。**

テンキーモードを使う

【NumLk】（NumLock ／ナムロック）を押すと NumLk ランプ 1 が点灯し、キーボードの一部がテンキーとして機能するようになります。NumLk ランプ 1 点灯中はキーボード上の数字または演算記号が入力できます。【Enter】（↵）の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。解除するには、もう一度【NumLk】を押します（ランプ消灯）。

- テンキーモードにすると、「NumLockお知らせ」画面が表示されます。この画面を表示させたくない場合は、[今後このお知らせを表示しない]にチェックマークを付け、[閉じる]をクリックしてください。ただし、チェックマークを付けても、ログオン時の「NumLockお知らせ」画面は表示されます。（➔ 30ページ）
- 「NumLockお知らせ」画面を再度表示するには：
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [NumLockお知らせ]をクリックする。
  ② [NumLock状態をお知らせする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。
- 「NumLockお知らせ」画面の表示／非表示は、アカウントごとに設定できます。

◆ログオン時の「NumLockお知らせ」画面

- テンキーモードになっていると、左の画面（Windowsを起動したときなどのパスワード入力画面）で、ログオン時の「NumLockお知らせ」画面が表示されます。パスワードが正しく入力できないときは、【NumLk】を押してテンキーモードを解除してください。解除した後、「今後もログオン時には、NumLockをオフにしますか？」と表示された場合は、「はい」または「いいえ」を選んでください。
- ログオン時の「NumLockお知らせ」画面を表示させたくない場合は、「NumLockお知らせ」をアンインストールしてください。
  アンインストールすると、ログオン時だけでなくログオン後も、テンキーモードにしたときのお知らせ画面（➔ 29ページ）が表示されなくなります。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]をクリックする。
  ② [NumLockお知らせ] - [変更と削除]をクリックする。
  ③「ファイル削除の確認」画面で[OK]をクリックする。
  - [ロックされたファイルの検出]のメッセージが表示された場合は、[再起動]をクリックしてください。

  再度、「NumLockお知らせ」画面を表示する場合は、以下の手順でインストールしてください。
  ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックする。
  ②「c:¥util¥numlkntf¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックする。
  以降、画面の指示に従ってください。

状態表示ランプで状態を確認する

ランプ	ランプの名前	状態
⏻	電源状態表示ランプ	● 消灯：電源オフまたは休止状態。 ● 点灯：電源オン。 ● 点滅：スタンバイ状態。 **お知らせ** ● 内部LCDの明るさに合わせて電源状態表示ランプの明るさも変わります。
ECO	エコノミーモード (ECO) ランプ	➔ 41 ページ ● 消灯：エコノミーモード (ECO) 無効です。 ● 点灯：エコノミーモード (ECO) 有効です。 ● 点滅：エコノミーモード (ECO) 有効（放電中）です。
	バッテリー状態表示ランプ	➔ 34 ページ
A	Caps Lock ランプ（キャップスロック）	【Shift】を押しながら【Caps Lock】を押すと点灯：アルファベットが大文字で入力できる状態。 解除するには、もう一度【Shift】を押しながら【Caps Lock】を押します（ランプ消灯）。
1	NumLk ランプ（テンキーモード）	➔ 29 ページ
↑↓	ScrLk ランプ（スクロールロック）	【Fn】を押しながら【NumLk】(ScrLk) を押すと点灯：使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
	ハードディスク状態表示ランプ	点灯：ハードディスクへのアクセス中。
SD	SD メモリーカード状態表示ランプ	点灯：SD メモリーカードへのアクセス中。

バッテリーパックに関するお願い

◆取り扱い

- バッテリーパックおよびコンピューターのコネクター部分に触れないようにしてください。コネクターが汚れたり、損傷したりすると、接触が悪くなったり、十分に充電できなかったりすることがあります。
- バッテリーパックをぬらさないでください。
- 万一、破損によって電解液が流出し、目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流して医師にご相談ください。

◆充電／放電（駆動時間）

- 工場出荷時は、バッテリーパックは充電されていません。お使いになる前に、必ず充電してください。AC アダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
  充電時間は、使用条件によって異なります。
- 本機では過充電を防ぐため、満充電後はバッテリー残量が 95%*1 以上(➔ 41 ページ)の状態からは、再充電ができないようになっています。再度充電するには、バッテリー残量が 95%*1 未満になるまで放電してから充電するようにしてください。
- 通常の充電／放電時に多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- 温度が低いとバッテリーの駆動時間が短くなります。許容範囲内の温度環境でお使いください。

*1 エコノミーモード (ECO) 有効の場合：75%

◆長期間（約1か月以上）使わない場合

- バッテリーパックの性能維持のため、3 〜 4 割程度の充電状態でバッテリーパックをコンピューターから取り外し、冷暗所に保管してください。

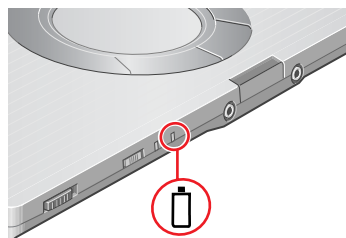
◆『バッテリー等の上手な使い方』（画面で見るマニュアル）

- バッテリーをできるだけ長持ちさせる方法や駆動時間を長くする方法などについて説明しています。
  ご覧になるには以下の方法があります。

  • デスクトップの バッテリー等の上手な使い方 をダブルクリックする。

- [スタート] メニューから見る
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] をクリックする。
  ② [オンラインマニュアル]または[バッテリー]をクリックし、[バッテリー等の上手な使い方] をクリックする。
- 画面右下のタスクトレイの「エコノミーモード (ECO) アイコン」 または を右クリックして「バッテリー等の上手な使い方」[*1] をクリックする。

*1 「バッテリー等の上手な使い方」のファイルが削除されている場合は、表示されません。

バッテリーの状態を確認する

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。
オレンジ色点灯 *1	バッテリーの充電中です。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [充電中バッテリー状態表示] を [明滅] に設定すると、点灯状態が明るくなったり少し暗くなったり（明滅）します。（➔ 167 ページ）
緑色点灯 *1	バッテリーの充電完了です。
赤色点灯	バッテリーの残量が少なくなっています。（残量約 9% 以下） AC アダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。AC アダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色点滅 *1	バッテリーパックまたは充電回路が正しく動作していません。すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックと AC アダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、ご相談窓口にご相談ください。バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。
オレンジ色点滅 *1	● バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ● アプリケーションソフトが多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトが終了し、温度が充電可能な範囲内であれば自動的に充電が始まります。

*1 AC アダプター接続時

バッテリーの残量を確認する

バッテリー残量を確認するには、以下の 3 つの方法があります。

- **【Fn】+【F9】で確認する（Windows にログオンした後）**（➔ 36 ページ）
- **Windows のバッテリーメーターで確認する（Windows にログオンした後）**（➔ 36 ページ）
- **状態表示ランプで確認する（電源オフ、スタンバイ・休止状態時）**（➔ 37 ページ）

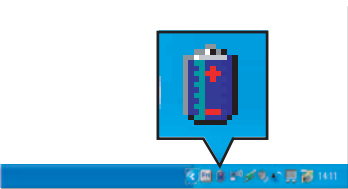
お知らせ

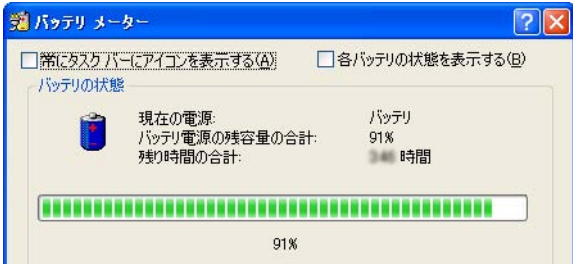
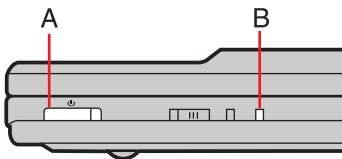
- **以下のような場合、実際のバッテリー残量と表示されるバッテリー残量との間に差が生じていることが考えられます。この場合、バッテリー残量表示の補正を行ってください。**（➔ 39ページ）
  - **バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。**
  - **バッテリー状態表示ランプのオレンジ色点灯時に「99 %」（エコノミーモード(ECO)有効の場合は「79%」）の表示が長く続く。**
  - **使用時間が短いにもかかわらずバッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。ACアダプターを接続せず、長時間スタンバイ状態にしているとこのような状態になります。**
- **Windowsのバッテリーメーター（「電源オプションのプロパティ」の[電源メーター]）で表示される残量や残時間は、その時点でのコンピューターの利用状況をもとに計算しているため、明るさや動作しているソフト等の利用状況により残量や残時間表示が変化します。（表示は目安です）**
  また、【Fn】＋【F9】で表示される残量は計算方法が異なるため、それぞれの表示が多少異なることがありますが、異常ではありません。
- **『取扱説明書』などの「仕様」に記載されているJEITAのバッテリー駆動時間は、エコノミーモード(ECO)無効（➔ 41ページ）設定時に以下の測定法で測定された数値です。バッテリーの駆動時間は使用環境によって異なります。**
  - **JEITAバッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）により測定された数値は、{(測定法a)＋（測定法b)} ÷2で算出しています。詳細な設定方法は、JEITAのホームページ（http://it.jeita.or.jp/mobile/）をご覧ください。**
    - **測定法a**
      画面輝度を20cd/㎡（目安：ACアダプターが接続されていない状態での内部LCDの工場出荷時の輝度）としMPEG1の動画ファイルをハードディスクから読み出しながら連続再生できる時間を測定。

- **測定法b**
  ディスプレイの輝度が最低の状態で、デスクトップ画面を表示し、放置できる時間を測定。

【Fn】+【F9】を押して画面上で残量を確認する（Windowsにログオンした後）

エコノミーモード (ECO) 有効	エコノミーモード (ECO) 無効
ECO 79 % バッテリーパック装着時（表示は一例です）	100 % バッテリーパック装着時（表示は一例です）
ECO - - % バッテリーパック未装着時	- - % バッテリーパック未装着時

Windowsのバッテリーメーターでバッテリーの残量や残時間を確認する（Windowsにログオンした後）

AC アダプターを接続していない状態で、画面右下のタスクトレイの「バッテリーメーターアイコン」をダブルクリックすると表示されます。

- 表示される残量や残り時間は、その時点でのコンピューターの利用状況をもとに計算しているため、利用状況により残量や残時間表示が変化します。（表示は目安です。）（➔ 35ページ）

状態表示ランプで確認する（電源オフ、スタンバイ・休止状態時）

以下の手順でバッテリー残量を確認することができます。

① ディスプレイを閉じ、ラッチがロックされていることを確認する。

② ACアダプターを外す。

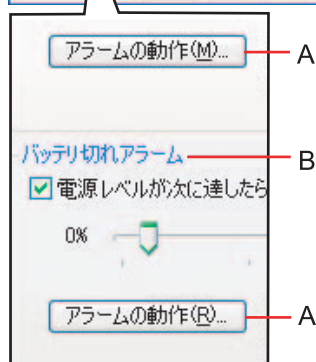
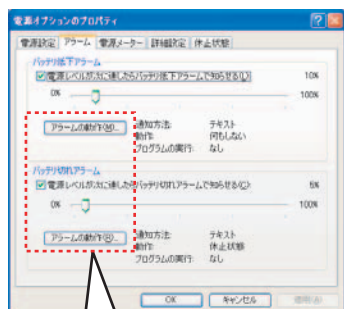
③ 電源スイッチ（A）をスライドさせ、バッテリー状態表示ランプ（B）の点灯状態でバッテリー残量を確認する。

バッテリー状態表示ランプ（B）	バッテリー残量
赤色点灯	0 % - 4 %
オレンジ色点滅	5 % - 19 %
オレンジ色点灯	20 % - 49 %
緑色点滅	50 % - 94 %
緑色点灯	95 % - 100 %

- エコノミーモード (ECO) 有効の場合は、エコノミーモード (ECO) ランプも点灯します。

残量が少なくなってきたら

工場出荷時の設定では次のようになります。

残量が 10%になったら ([バッテリ低下アラーム])	残量が 5% になったら ([バッテリ切れアラーム])
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示し、休止状態になります。 ↓
充電が必要です。	**次回、起動するときは AC アダプターを接続してください。**
● すぐに AC アダプターを接続してください。AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows も終了して電源状態表示ランプが消えていることを確認してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがあれば、電源を切り、交換してから電源を入れてください。	● AC アダプターを接続して、バッテリーパックを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがあれば、電源を切り、交換してから電源を入れてください。 バッテリー切れで休止状態になった場合、そのままリジュームすると、Windows が正常に起動しなかったり、以降、アラーム機能が正常に動作しない場合があります。
スタンバイ状態のときは、バッテリーパックの交換は行わないでください。 保存していないデータは失われます。	

上記の設定は変更することができます。

① 「アラーム」画面を表示する。
[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [アラーム]をクリックする。

② アラーム機能を動作させるバッテリー残量や警告動作の内容を設定する。
【Fn】+【F4】を押すなどしてスピーカーをオフにしている場合、アラームは鳴りません。【Fn】+【F5】を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

A. [アラームの動作]で[アラーム後のコンピュータの動作]を設定した場合、[プログラムが応答しない場合でも、スタンバイまたはシャットダウンする]をクリックしてチェックマークを付けておいてください。

B. バッテリー切れアラーム
5%以上に設定してください。
設定値が小さいと、バッテリー残量が少なくなったときにスタンバイ・休止状態機能が正常に働かなくなります。

バッテリー残量を正確に表示させるために（バッテリー残量表示補正ユーティリティ）

本機のバッテリーパックには、バッテリー容量を計測し、記憶、学習するための機能があります。バッテリー残量を正確に表示させるため、バッテリー残量表示補正機能を使ってバッテリーをいったん満充電にした後、完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後、一度は行っておいてください。また、長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合も、再度この操作を行ってください。

お知らせ

- バッテリー残量表示補正は10℃～30℃の温度環境で行ってください。
- バッテリー残量表示補正を実行中にコンピューターの電源を切ると（停電やACアダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリーの残量表示は補正されません。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正の実行に時間がかかりますが、故障ではありません。
  満充電および完全放電にかかる時間は、『取扱説明書』などの「仕様」でご確認ください。
- バッテリー残量表示補正は、バッテリーの容量を増やすものではありません。また、頻繁に行うと、バッテリーパックの劣化の原因になるおそれがあります。

1 バッテリーパック装着後、ACアダプターを接続する。

バッテリーパックとACアダプターを除くすべての周辺機器を取り外してください。

2 すべてのアプリケーションソフトを終了する。

3 「バッテリー残量表示補正」を実行する。

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ]をクリックする。

② 確認のメッセージが表示されたら[開始]をクリックする。
バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーパックが劣化する原因になります。前回の実行から約1か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。この場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsを終了するメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電状態になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了するとバッテリー残量表示補正が終了し、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、充電が始まります。

お願い

- バッテリー残量表示補正実行中は、LCDパネルを閉じないでください。また、ACアダプターを抜かないでください。

お知らせ

- 「バッテリー残量表示補正」は以下の手順でも実行できます。
  ① コンピューターを再起動する。
  ② コンピューターの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F9】を押す。
  ③ バッテリーの残量が表示されたら【Enter】を押す。
  ④ 以降、画面の指示に従って操作する。

バッテリーの長寿命／長時間駆動を切り替える（エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ）

バッテリーパックは消耗品で、使用するごとに少しずつ劣化していきます。
特に AC アダプターを長時間接続したまま繰り返し満充電にしている場合や、温度が高くなる場所での使用は、バッテリーパックの劣化が進みやすく耐久年数が短くなることがあります。本機では、バッテリーパックの劣化を抑え、バッテリーパックの耐久年数を少しでも長くするために、エコノミーモード (ECO) を有効に切り替えることができます。目的に合わせてエコノミーモード (ECO) を切り替えてお使いください。

	エコノミーモード(ECO)	
	無効	有効
おすすめの使いかた	モバイル派 持ち歩いて使う	デスク派 ACアダプターにほとんど接続して使う
駆動時間	長い	短い
耐久年数	短い	長い

- **エコノミーモード (ECO) 無効：**
  お買い上げ時はエコノミーモード (ECO) 無効に設定されています。
  バッテリーの充電を 100%（満充電）まで行います。エコノミーモード (ECO) 有効に比べバッテリー駆動時間は長くなります。本機をバッテリーパックで使うことが多く、バッテリー駆動時間をできるだけ長くしたい場合は、エコノミーモード (ECO) 無効をおすすめします。

- **エコノミーモード (ECO) 有効：**
  バッテリーの充電を満充電の 80% までで停止します。100%（満充電）にしないことでバッテリーへの負担を軽減して劣化を防ぎ、バッテリーパックの耐久年数を長くします。エコノミーモード (ECO) 無効に比べ、バッテリー駆動時間は短くなります。
  AC アダプターを接続して使用することが多く、バッテリーパックの劣化を防ぎたい場合は、エコノミーモード (ECO) 有効をおすすめします。

バッテリーについては、「バッテリー等の上手な使い方」もご覧ください。（→ 32 ページ）

エコノミーモード(ECO)を切り替える

エコノミーモード(ECO)有効(E)
✓エコノミーモード(ECO)無効(D)
バッテリー等の上手な使い方(H)
バージョン情報(V)
終了(X)

1 **コンピューターの管理者の権限でログオンする。**

2 **画面右下のタスクトレイの「エコノミーモード(ECO)アイコン」（無効）または（有効）を右クリックする。**

または が表示されていない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ]をクリックして表示させてください。

3 **[エコノミーモード(ECO)有効]または[エコノミーモード(ECO)無効]をクリックする。**

<u>[エコノミーモード(ECO)有効]に設定した場合</u>

- バッテリー残量が 81% 以上のとき
  バッテリー残量が 80% 以下になるまでバッテリーを放電します。
  放電中はエコノミーモード (ECO) ランプが点滅します。

① 放電開始の確認メッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK]をクリックする。

② バッテリー残量が80%以下になるまでACアダプターを抜いた状態で使う。
AC アダプターを抜かずにそのまま使用した場合は、バッテリー残量が80% になるまで約1 日かかる場合があります。

③ バッテリー残量が80%以下になったらバッテリーの放電を終了する。
エコノミーモード(ECO)ランプが点灯します。

④ 放電終了の確認メッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK]をクリックする。

⑤ ACアダプターを接続する。
[OK]をクリックしなかった場合は、意図せずバッテリー残量が低下するのを防ぐため約3分後に強制的にスタンバイ状態に入ります。

- アプリケーションソフト使用中やデータ送信中、またはハードディスクへのアクセス中でも強制的にスタンバイ状態に入りますので、必ず AC アダプターを接続してください。

- バッテリー残量が 80% 以下のとき
  エコノミーモード (ECO) ランプが点灯します。
  確認のメッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK] をクリックしてください。

[エコノミーモード(ECO)無効]に設定した場合
エコノミーモード(ECO)ランプが消灯します。
確認のメッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK]をクリックしてください。

お知らせ

- 「エコノミーモード(ECO)アイコン」 または 上にカーソルを移動させると、吹き出し文字で現在のエコノミーモード(ECO)が表示されます。
- 『取扱説明書』などの「仕様」に記載されているバッテリー駆動時間は、エコノミーモード(ECO)無効に設定した時の値です。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、「バッテリー残量表示補正」を実行しても回復しない場合は、新しいものと交換することをおすすめします。
バッテリーパックの品番は、付属の『ご使用の前に』の「別売り商品」をご覧ください。

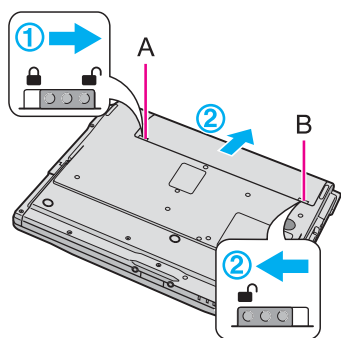
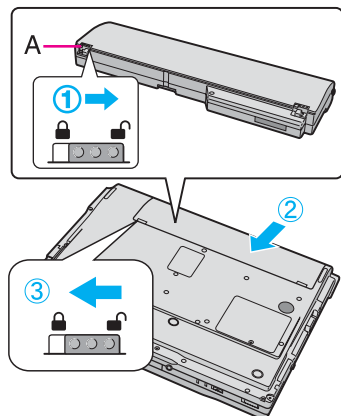
お願い

- ご使用にあたってバッテリーパックに関するお願いをよくお読みください。(➔ 32ページ、⇒『取扱説明書』「安全上のご注意」)
- スタンバイ状態のとき、バッテリーパックの取り付け／取り外しを行わないでください。メモリーに保持されていたデータが失われたり、バッテリーパックが破損したりして、正常に動作しなくなります。

1 コンピューターの電源を切る。

(⇒『取扱説明書』「電源を入れる／切る」)

2 本体を裏返し、バッテリーパックを取り外す。

① 左側のラッチ（手動：A）をロック解除の方向（🔓）にスライドする。
② 右側のラッチ（B）をロック解除の方向（🔓）にスライドした状態で、バッテリーパックの中央付近を本体と平行に外側へ押し出す。

3 バッテリーパックを取り付ける。

① バッテリーパックの左側のラッチ（手動：A）をロック解除の方向（🔓）にスライドする。

② バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせて取り付ける。

③ 左側のラッチ（手動：A）をロックの方向（🔒）にスライドし、しっかりと固定されていることを確認する。
（右側のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。）

お願い

- ラッチが正しくロックされていることを確認してください。ラッチがロックされていない状態でコンピューターを持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- ラッチがロックされた状態で、無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが破損するおそれがあります。
- バッテリーパックを取り外しているとき、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えないでください。液晶部分が破損するおそれがあります。

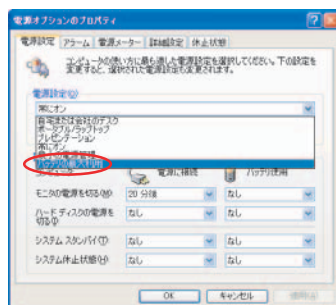
不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、社団法人電池工業会にご確認ください。
  電話：03-3434-0261
  ホームページ：http://www.baj.or.jp/ （2005 年 3 月 1 日現在）

消費電力を節約する

本機では、下記の方法で消費電力を節約できます。
バッテリーで使用する場合は、より長時間使うことができます。
AC アダプターを接続しているときでも省電力の効果があります。

◆[電源設定]を変更する

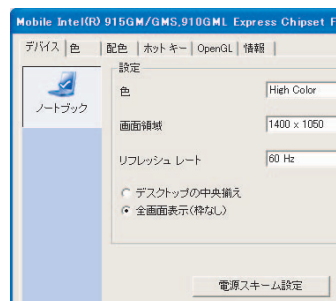
- [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックして、[電源設定] を [バッテリの最大利用] に設定します。
さらに、[モニタの電源を切る] 時間を短くするなど、詳細に設定します。

◆【Fn】+【F1】で内部LCDの明るさを暗くする（➔ 22ページ）

◆使わないときは電源を切る（⇒『取扱説明書』「電源を入れる／切る」）

◆使っていない周辺機器（USB機器、PCカード、外部マウスなど）は取り外す

◆無線LANを使わないときは無線LANの電源を切る（➔ 125ページ）

◆ディスプレイの省電力設定（電源スキーム設定）を使う

- この省電力設定を使うと、ディスプレイの消費電力を抑えることができます。ディスプレイの明るさを下げながらも、画像のコントラストや色などを調整することにより、画質をある程度保った状態にします。ただし、ごくまれに一瞬画面の描画がずれる場合がありますので、お使いの状況に合わせて設定してください。（工場出荷時は、設定されていません。）
なお、画像や色の微妙な表現力が必要な場合や画像編集用アプリケーションソフトで画像編集を行う場合は、工場出荷時のまま [インテル (R)　ディスプレイ省電テクノロジ] のチェックマークを外して使うことをおすすめします。

- **設定方法：**
  ① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックして、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile]をクリックする。
  ② [電源スキーム設定]をクリックする。
  ③ [インテル(R) ディスプレイ省電テクノロジ]をクリックしてチェックマークを付け、スライドバー（A）を[バッテリー寿命最大]側に設定して[OK]をクリックする。
  [バッテリー寿命最大]から[クオリティ最高]まで5段階の調整が可能です。

◆スタンバイ状態または休止状態にしてから席を外す。（➔ 24 ページ）

- 長時間席を外すときは、なるべくスタンバイ状態または休止状態にし、消費電力を抑えることをおすすめします。

◆バッテリーだけで使う場合：

- CPU に大きな負荷のかかるアプリケーションは使用しないことをおすすめします。
  スクリーンセーバーの種類によっては、コンピューターを操作していないときでもCPU に大きな負荷がかかるものがあります。
  スクリーンセーバーは使用しないことをおすすめします。
- あらかじめ満充電にしておくことをおすすめします。
- 「バッテリー等の上手な使い方」もご覧ください。（➔ 32 ページ）

バッテリーの残量が少なくなってからあわてないために

バッテリー残量の確認方法（➔ 35 ページ）や、バッテリー残量が少ないことを知らせるアラームの設定内容（➔ 38 ページ）をあらかじめ確認しておくことをおすすめします。
アラームの設定内容などは変更することができます。

お知らせ

- コンピューターを持ち運んで使用する場合でも、ACアダプターを常に携帯されることをおすすめします。

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使って終了すると、アプリケーションソフトを終了することなく、電源を切ることができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示される（これを「リジューム」といいます）ので、すぐに操作を始めることができます。

スタンバイ機能と休止状態機能の違い

機能	状態の保存先	リジュームするまでの時間	AC アダプターまたはバッテリーパックの接続
スタンバイ	メモリー	短い	必要 （スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや長い	不要 *1

*1 休止状態ではデータ保持のために電力は必要ありません。しかし、本体は電力を消費します。

お知らせ

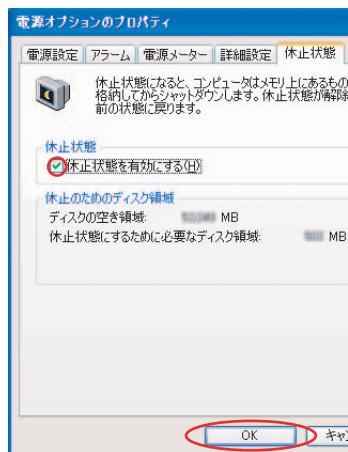
- 長時間スタンバイ機能を使う場合はACアダプターを接続しておいてください。ACアダプターが接続できない場合は休止状態にしておくことをおすすめします。
- 持ち運ぶ際は、電源を切ってください。工場出荷時の設定ではスタンバイ後一定時間経過した際、自動的に休止状態へ移行するため一時的に電源が入ります。
- コンピューターの動作を安定させるため、定期的に（1週間に1回程度）、スタンバイ・休止状態機能を使わないでWindowsを終了してください。

スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わる

スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わるには、以下の方法があります。
休止状態機能を使用するには、「休止状態を使用するための設定」（下記）が必要です。

- 【Fn】+【F7】を押してスタンバイ状態（➔ 24 ページ）、【Fn】+【F10】を押して休止状態（➔ 25 ページ）にする
- 電源スイッチを使う（➔ 51 ページ）
- ディスプレイを閉じる（➔ 53 ページ）
- 終了画面を使う
  - スタンバイ機能の場合
    [スタート] - [終了オプション] をクリックして、[スタンバイ] をクリックする。
  - 休止状態機能の場合
    [スタート] - [終了オプション] をクリックして、【Shift】を押しながら [休止状態] をクリックする。

休止状態を使用するための設定

工場出荷時は休止状態が使用できるように設定されています。

1 [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション]をクリックする。

2 [休止状態]をクリックし、[休止状態を有効にする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

使用上のお願い

◆スタンバイ・休止状態に入る前に

- 保存していないデータや編集中のファイルを保存してください。
- SD メモリーカード、外付けの CD ドライブ、ハードディスク、ATA カードなどの外部装置のファイルを開いているときは、ファイルを閉じてください。
- リジューム時にはセットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は要求されません。
  セキュリティのため、パスワード入力画面を表示したい場合は、Windows のログオンパスワードを設定し（➔ 64 ページ）、[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] の [詳細設定] で [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める] にチェックマークを付けてください。（工場出荷時の設定ではチェックマークが付いています。）また、データの盗難防止や機密保護などセキュリティを重視される場合は、スタンバイ・休止状態を使用せずに電源を切ることをおすすめします。
- 以下の場合、スタンバイ・休止状態に入らないでください。
  実行中のファイルやデータが壊れたり、これらの機能や周辺機器および Windows が正常に動作しなくなることがあります。
  - ハードディスクドライブ、SD メモリーカードのランプ点灯中（ドライブやカードへのアクセス中）
  - オーディオの録音／再生中や MPEG ファイルの再生中
  - DVD ビデオの再生中
  - CD-R/RW ディスクの書き込み中
  - 通信ソフトやネットワーク機能使用時（LAN Wake Up 機能を使わない場合）
    リジュームした後、ネットワーク接続ができなかったり、コンピューターが正常に動作しなくなることがあります。
  - 周辺機器を使っている場合
    スタンバイ・休止状態機能を使ってこれらの機器が正常に動かなくなったときは、コンピューターを再起動してください。

◆スタンバイ・休止状態処理中

スタンバイの場合：電源状態表示ランプが点滅するまで
休止状態の場合　：電源状態表示ランプが消灯するまで

- 以下のことを行わないでください。
  - キーボード、ホイールパッド、電源スイッチの操作
  - 外部マウスなど、周辺機器の操作
  - AC アダプターの抜き挿し
  - ディスプレイの開閉
  - 無線 LAN 切り替えスイッチの操作
  - SD メモリーカードの抜き挿し
- スタンバイ・休止状態に入るとき、1 ～ 2 分程度かかる場合がありますが、そのままお待ちください。

◆スタンバイ・休止状態のとき

- 周辺機器の取り付け／取り外しを行わないでください。
- スタンバイ状態のときは、電力が消費されています。特に、通信用の PC カードをセットしたままの場合、消費電力が増えることがあります。電力の供給がなくなると保持されていたデータが失われますので、AC アダプターを接続しておいてください。

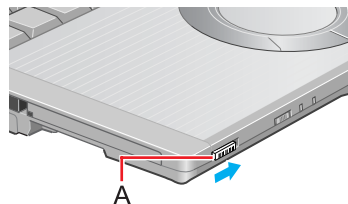
電源スイッチを使う

工場出荷時は休止状態になるように設定されています。

◆設定する

1 [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックする。

2 [コンピュータの電源ボタンを押したとき]を[スタンバイ]または[休止状態]に設定し、[OK]をクリックする。

◆スタンバイまたは休止状態にする

1 電源スイッチ（A）をスライドし、ビープ音[*1]が鳴ったら手を離す。

設定に従って休止状態またはスタンバイ状態に入ります。

お願い

- 電源スイッチから手を離した後、電源状態表示ランプが消灯または点滅するまで電源スイッチを操作しないでください。
- ピッというビープ音[*1]が鳴ったら、すぐに電源スイッチから手を離してください。
  電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、ピーという長いビープ音[*1]の後、スタンバイ・休止状態機能が働かず電源が切れます（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックして、[コンピュータの電源ボタンを押したとき]を[シャットダウン]に設定していても、電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、ピーという長いビープ音[*1]が鳴って強制的に電源が切れる場合があります（強制終了）。この場合も、保存していないデータは失われます。

[*1] 【Fn】+【F4】を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。【Fn】+【F5】を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

ディスプレイを閉じる

工場出荷時はスタンバイ状態になるように設定されています。

◆設定する

1 [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックする。

2 「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を[スタンバイ]または[休止状態]に設定して、[OK]をクリックする。

◆スタンバイ・休止状態に入る

1 ディスプレイを閉じる。

設定に従ってスタンバイ状態または休止状態に入ります。

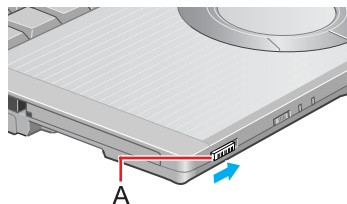
- きちんとディスプレイを閉じてください。ディスプレイを閉じた後すぐにディスプレイを開けた場合など、スタンバイ・休止状態に入らないことがあります。

リジューム する（スタンバイ・休止状態からの復帰）

お願い

- Windowsの画面が完全に復帰して初期化などが完了するまで（画面が復帰して約15秒後／ネットワークに接続している場合は約60秒後）、以下のことを行わないでください。
  - キーボード（パスワードの入力は除く）、ホイールパッド、電源スイッチの操作
  - 外部マウスなど、周辺機器の操作
  - ACアダプターの抜き挿し
  - ディスプレイの開閉
  - Windowsの終了や再起動
  - スタンバイ・休止状態機能の使用
  - 無線LAN切り替えスイッチの操作
  - SDメモリーカードの抜き挿し

電源スイッチを使う

スタンバイ・休止状態に入った場合は、下記の手順でリジュームしてください。

1 電源スイッチ（A）をスライドする。

ディスプレイを開ける

「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を [スタンバイ] または [休止状態] に設定している場合（➔ 53 ページ）は、下記の手順でリジュームできます。

1 ディスプレイを開ける。

スタンバイ・休止状態に入ってからディスプレイを閉じた場合でも、ディスプレイを開けるとリジュームします。ディスプレイを開けてもリジュームしない場合は、電源スイッチをスライドしてください。

パスワードを設定する

データの盗難防止や機密保護のために、パスワードを設定することができます。

こんなときは	この機能を使う
● セットアップユーティリティの設定を変更されたくないとき	● スーパーバイザーパスワード（➔ 58 ページ） ● ユーザーパスワード [*1]（➔ 60 ページ）
● コンピューターを起動されたくないとき	● 起動時のパスワード [*1]（➔ 62 ページ）
● Windows を使用されたくないとき ● スタンバイ・休止状態からリジュームされたくないとき	● Windows のログオンパスワード（➔ 64 ページ）

[*1] あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。
  - スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合
    有償での修理が必要となります。この場合は、お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。ご相談窓口にご相談ください。
  - ユーザーパスワードを忘れてしまった場合
    スーパーバイザーパスワードを知っている人にご相談ください。
  - Windowsのログオンパスワードを忘れてしまった場合
    コンピューターの管理者のパスワード：
    パスワードリセットディスク（⇒『取扱説明書』「はじめて使うとき」）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。
    パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。
    制限ユーザーのパスワード：
    コンピューターの管理者にご相談ください。
- スーパーバイザーパスワードおよびユーザーパスワードを無断で設定（変更／無効）されないよう、セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

◆パスワード入力について

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- スーパーバイザーパスワードおよびユーザーパスワードに使える文字は、半角の英数字で最大 32 文字です。
  - 大文字、小文字の区別はありません。
  - 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
  - 【Shift】や【Ctrl】などのキーと組み合わせて入力することはできません。

◆パスワード入力の代わりにSDメモリーカードを使う

市販の SD メモリーカードに初期設定（SD カード設定）を行うと、パスワード入力の代わりに、設定した SD メモリーカードをセットすることでコンピューターを起動したり、Windows にログオンしたりすることができます。（➔ 77 ページ）

スーパーバイザーパスワードを設定する（変更または無効にする）

スーパーバイザーパスワードだけを設定した場合は、セットアップユーティリティの設定を他の人が変更できません。他の人がコンピューターを起動できないようにしたい場合は、パスワードを設定した後、[起動時のパスワード] を [有効] に設定してください。（➔ 62ページ）

1 セットアップユーティリティを起動する。（➔ 163ページ）

2 【➔】【←】で[セキュリティ]を選ぶ。

3 【↑】【↓】で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、【Enter】を押す。

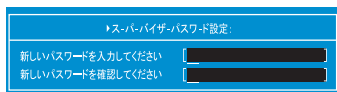
4 すでにスーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ[現在のパスワードを入力してください]の[　]にパスワードを入力し、【Enter】を押す。

スーパーバイザーパスワードが設定されていない場合の画面

5 [新しいパスワードを入力してください]の[　]に新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

- スーパーバイザーパスワードを無効にするとき何も入力しないで【Enter】を押す。

6 [新しいパスワードを確認してください]の[　]に手順**5**で入力したパスワードを再度入力し、【Enter】を押す。

- スーパーバイザーパスワードを無効にするとき何も入力しないで【Enter】を押す。

7 確認の画面で【Enter】を押す。

8 【F10】を押し、[はい]を選んで【Enter】を押す。

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードの設定も無効になります。

ユーザーパスワードを設定する（変更または無効にする）

本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。
例えば、コンピューターを管理する人がスーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定し、他の利用者へはユーザーパスワードだけを知らせておくようにします。こうすることにより、他の利用者に対して、セットアップユーティリティの変更を制限することができます。

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードを設定しておいてください。（➔ 58ページ）
- 無効にする場合は、スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。

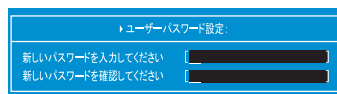
1 セットアップユーティリティを起動する。（➔ 163ページ）

2 【➔】【←】で[セキュリティ]を選ぶ。

3 【↑】【↓】で[ユーザーパスワード設定]を選び、【Enter】を押す。

4 すでにユーザーパスワードが設定されているときのみ
[現在のパスワードを入力してください]の[　]にパスワードを入力し、【Enter】を押す。

5 [新しいパスワードを入力してください]の[　]に新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

- ユーザーパスワードを無効にするとき
  何も入力しないで【Enter】を押す。

ユーザーパスワードが設定されていない場合の画面

6 [新しいパスワードを確認してください]の[　]に手順5で入力したパスワードを再度入力し、【Enter】を押す。

- ユーザーパスワードを無効にするとき
  何も入力しないで【Enter】を押す。

7 確認の画面で【Enter】を押す。

- ユーザーパスワードを無断で変更されたくないとき
  以下の手順で、[ユーザーパスワード保護] を設定してください。

① 【↑】【↓】で[ユーザーパスワード保護]を選び、【Enter】を押す。
② 【↑】【↓】で[保護する]を選び、【Enter】を押す。

8 【F10】を押し、[はい]を選んで【Enter】を押す。

コンピューターを無断で使用されたくないとき

[起動時のパスワード] を [有効] に設定している場合、パスワードを知らないとコンピューターを起動することができません。

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は設定してください。（➔ 58 ページ）
- セットアップユーティリティを起動したときは、[起動時のパスワード]が[無効]に設定されていても、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを設定しているとパスワード入力画面が表示されます。

[起動時のパスワード]を設定する

1 セットアップユーティリティを起動する。（➔ 163ページ）

2 【➔】【←】で[セキュリティ]を選ぶ。

3 【↑】【↓】で[起動時のパスワード]を選び、【Enter】を押す。

4 設定する。

- [有効] にするとき：【↑】【↓】で [有効] を選び、【Enter】を押す。
- [無効] にするとき：【↑】【↓】で [無効] を選び、【Enter】を押す。

5 【F10】を押し、[はい]を選んで【Enter】を押す。

[起動時のパスワード]を[有効]にして起動すると...

左の画面が表示されます。
スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力し【Enter】を押してください。

- 正しく入力すると起動します。
- 3 回間違えるかパスワードを入力せずに約 1 分経過すると、電源が切れます。

Windowsのログオンパスワードを設定する

Windows のログオンパスワードを設定すると、Windows にログオンするとき、パスワード入力画面が表示されます。
パスワードを設定するには、まずログオンユーザーを作成する必要があります。
ログオンユーザーは作成済みで、パスワードだけを設定する場合、手順 *2* のあと、手順 *6* ～ *8* を行ってください。（手順 *1* と *3* ～ *5* は不要です。）

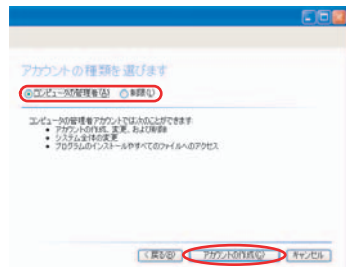
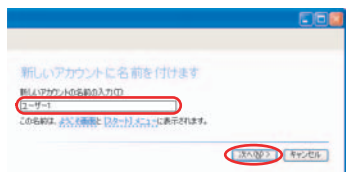
1 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

2 [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント][*1]をクリックする。

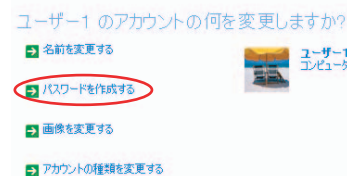
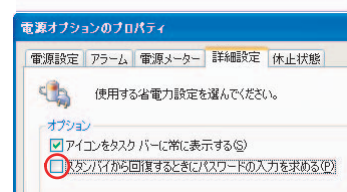
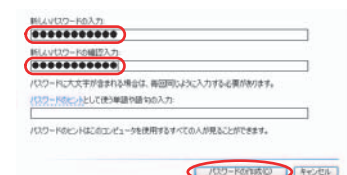
[*1] お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント] を再度クリックする操作が必要です。

3 [新しいアカウントを作成する]をクリックする。

4 アカウントの名前を入力して、[次へ]をクリックする。

5 アカウントの種類を選択し、[アカウントの作成]をクリックする。

6 パスワードを設定するアカウントをクリックする。

- 制限ユーザーでログオンした場合、この手順は不要です。手順 **7** へ進んでください。

7 [パスワードを作成する]をクリックする。

8 画面に従ってパスワードを2か所入力して、[パスワードの作成]をクリックする。

お知らせ

- [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] の[詳細設定]で、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]のチェックマークが外れている場合、スタンバイ状態からのリジューム時にパスワードの入力は要求されません。

「ハードディスク保護」ご使用時のお願い

- 「ハードディスク保護」を設定するには、セットアップユーティリティでスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。(➔ 58 ページ)設定したスーパーバイザーパスワードは忘れないようにしてください。メモに残すなどの場合は、第三者に知られないよう、厳重に管理してください。
  「ハードディスク保護」が有効のままスーパーバイザーパスワードを忘れてしまうと、「ハードディスク保護」を無効にすることができません。保護がかかったままになり、アクセスできなくなります。ハードディスク保護がかかった状態で修理を依頼された場合、ハードディスクのデータが読み書きできず、ハードディスクドライブを修理することができません。また、修理でハードディスク保護を解除することもできません。あらかじめご了承ください。

[ハードディスク保護] を [有効] に設定するとハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じに設定しておいてください。
セキュリティのためには、[起動時のパスワード] を [有効] に設定しておくことをおすすめします。
(ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。)

お知らせ

- 工場出荷時の設定では、「ハードディスク保護」は「無効」に設定されています。
- ハードディスク保護の機能は、内蔵ハードディスクのみに働きます。外付けのハードディスクには、この機能は働きません。

[ハードディスク保護]を設定する（[有効]または[無効]にする）

1 セットアップユーティリティを起動する。（➔ 163ページ）

2 スーパーバイザーパスワードを入力する。

（パスワードに使える文字は、半角の英数字で最大32文字です。）

- スーパーバイザーパスワードを設定している場合
  スーパーバイザーパスワードを入力して [OK] をクリックする。
- スーパーバイザーパスワードを設定していない場合
  スーパーバイザーパスワードを設定します。

① 【←】【→】で[セキュリティ]を選ぶ。
② 【↑】【↓】で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、【Enter】を押す。
③ [新しいパスワードを入力してください]の[ ]に新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。
④ [新しいパスワードを確認してください]の[ ]に手順③で入力したパスワードを再度入力し、【Enter】を押す。
⑤ 確認の画面で【Enter】を押す。

3 【↑】【↓】で[ハードディスク保護]を選び、【Enter】を押す。

4 有効にするとき

「有効」を選んで【Enter】を押す。
「[重要]お知らせ」の画面が表示されたらよく読んで【Enter】を押してください。

無効にするとき

「無効」を選んで【Enter】を押す。

5 【F10】を押し、「はい」を選んで【Enter】を押す。

お願い

- 本機の修理を依頼される場合：[ハードディスク保護]が[無効]になっていることを確認してください。
- コンピューター起動時、「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」が表示された場合、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定しなおしてください。

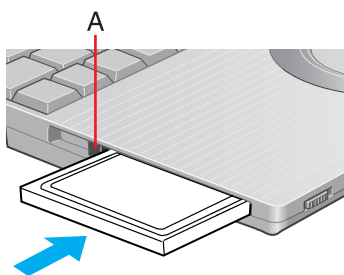
PCカードを使う

PC Card Standard 規格に準拠した PC カードを使うことにより、通信機能を活用したり SCSI 機器などの周辺機器を接続することができます。
カードは厚みによってタイプⅠ（3.3 mm）、タイプⅡ（5.0 mm）、タイプⅢ（10.5 mm）の 3 つのタイプがあります。本機で取り付けることができるのは、タイプⅠまたはタイプⅡのカードです。

お願い

- PCカードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  許容電流→3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
- SRAMカード、FLASHカード（ATAインターフェースを除く）、ZVカードおよび動作電圧が12 Vのカードは使用できません。
- PCカードの取り付け／取り外しを繰り返していると、カードによっては、認識されなくなることがあります。この場合、コンピューターを再起動してください。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後にコンピューターが動作しなくなったときは、PCカードを取り出し、取り付け直してください。それでも動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。

PCカードの取り付け／取り外し

取り付ける

1 カードの表を上にして、しっかりと奥まで挿し込む。

取り付け方法については、PCカードに付属の取扱説明書をお読みください。

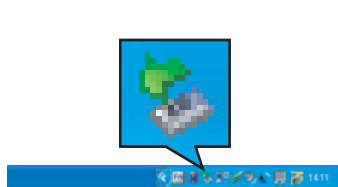
2 カードを挿し込んだら、取り出しボタン（A）を折り曲げる。

お願い

- 周辺機器を接続するタイプのPCカード（SCSI、IEEE1394など）を使う場合は、次の手順で取り付けてください。（一例）
  ① カードに周辺機器を接続する。
  ② 周辺機器の電源を入れる。
  ③ カードをしっかりと奥まで挿し込む。
- カードが入りにくい場合は、無理に挿し込まないでください。またカードの形状によっては、装着後、外に突き出たままになるものもあります。無理に押さないよう注意してください。PCカードスロットが破損したり、カードが取り出せなくなったりします。
- 本機を持ち運ぶときは、本機から突き出たPCカードは取り外してください。

取り外す

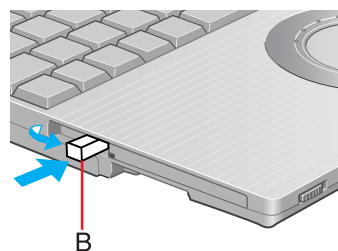
お願い

- スタンバイ・休止状態のとき、PCカードを取り外さないでください。
- SCSIカードを使ってハードディスクを接続している場合など、PCカードやPCカードに接続した機器の状態によっては停止処理が正常に完了しないことがあります。この場合は、[スタート]メニューを使って電源を切ってからカードを取り外してください。

1 カードの停止処理を行う。

（コンピューター本体の電源を切った状態で取り外す場合、この手順は不要です。）

① 画面右下のタスクトレイの「ハードウェア取り外しアイコン」をダブルクリックし、取り外すカードをクリックして、[停止]をクリックする。

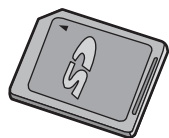
② 「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]をクリックする。

2 取り出しボタン（B）の折れ曲がり部分を起こす。

3 取り出しボタン（B）を押し、そのままカードを引き出す。

SDメモリーカードを使う

本機の SD メモリーカードスロットは、SD メモリーカード専用です。マルチメディアカードには対応していませんので、取り付けないでください。
マルチメディアカードをご利用になる場合は、マルチメディアカードに対応した別売りの PC カードアダプターまたは USB リーダーライターなどが必要です。

SDメモリーカード

◆活用方法

- ファイルなどを保存する。
- SD メモリーカードのカードスロット搭載機器（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラなど）とのデータの交換に使う。
- 音楽データを書き込み（チェックアウト）、別売りの SD オーディオプレーヤーで聞く。
  - SD メモリーカードは、インターネットなどのコンテンツ配信サービスに対応した、著作権保護機能を備えています（セキュア対応）。
  - 別売りのアプリケーションソフト「SD-Jukebox」で音楽データを録音した SD メモリーカードをコンピューターにセットしても、直接再生することはできません。詳しくは「SD-Jukebox」の説明書をご覧ください。（本機の SD メモリーカードスロットは、セキュア対応（著作権保護機能付き）です。）
- パスワード入力の代わりに使う。（➔ 77 ページ）
  コンピューターの起動時や Windows へのログオン時に、パスワードを入力する代わりに SD メモリーカードをセットします。

◆フォーマットについて

- 市販の SD メモリーカードはフォーマット済みですが、再フォーマットする場合は、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを下記ホームページからダウンロードしてお使いください。（Windows の「フォーマット」は使わないでください。）
  アドレス：http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html
  （2005 年 3 月 1 日現在）
- オーディオプレーヤーやデジタルカメラなど、コンピューター以外の周辺機器で SD メモリーカードを使う場合は、周辺機器を使って SD メモリーカードをフォーマットしてください。詳しくは周辺機器の説明書をご覧ください。

◆mini SDメモリーカード

- 本機の SD メモリーカードスロットで、mini SD メモリーカードを使用する場合は、必ず専用の mini SD メモリーカードアダプターに装着してください。
  装着後は、SD メモリーカードと同様に使用することができます。
- カードは、必ずアダプターごと抜き挿しし、スロット内にアダプターを残さないでください。

◆転送速度について

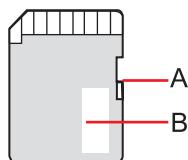
- 本機の SD メモリーカードスロットによる転送速度は 8 MB/ 秒 [*1] です。高速な転送速度に対応した SD メモリーカードをお使いの場合でも転送速度は 8 MB/ 秒 [*1] になります。

*1 理論値であり、実効速度とは異なります。

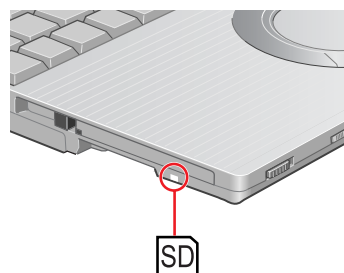
◆取り扱い上および保管上のお願い

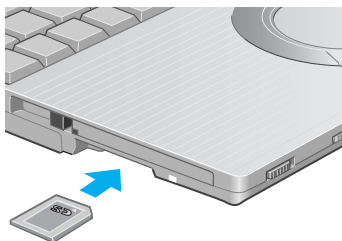
- 使用後、保管するときは、必ずケースに収納してください。
- 以下のことをしないでください。
  - 分解や改造
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水にぬらす
  - 金属端子部を手や金属で触れる
  - 貼られているラベルをはがす、新たにラベルやシールを貼る
- 以下のような場所には置かないでください。
  - 温度が高くなるところ（閉めきった車内や直射日光の当たるところなど）
  - 湿度の高いところまたはほこりの多いところ
  - 腐食性のガスなどが発生するところ

◆Windowsログオン時／スタンバイ・休止状態からのリジューム時

- Windows のログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまで、SD メモリーカードを抜き挿ししないでください。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後、約 30 秒間は SD メモリーカードにアクセスしないでください。

◆データを保護するために

- カード裏面の書き込み禁止スイッチ（A）を「LOCK」にします。新たに録音（チェックアウト）／編集／ファイルの保存をするときは解除してください。
- メモスペース（B）に文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは使用しないでください。カード本体に損傷を与えたり、データを破壊したりすることがあります。
- SD メモリーカードを取り外すときは、必ず本書に記載の方法（➔ 76 ページ「取り外す」）で取り外してください。
  特に以下の場合、カードを抜いたり、電源を切らないでください。データが破壊されることがあります。
  - データの読み出し中
  - データの書き込み中および書き込み操作後しばらくの間
  - SD メモリーカード状態表示ランプ[SD]の点灯時

  （お客様の記録されたデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 廃棄するときは、個人データなどの流出を防ぐために金槌などで物理的に破壊することをおすすめします。

SDメモリーカードの取り付け／取り外し

取り付ける

1

カードの表を上にして、角が欠けた方からしっかりと挿し込む。

- カードは向きに注意してセットしてください。間違った方向にセットすると故障の原因になります。

2

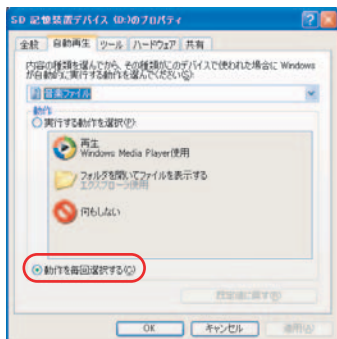
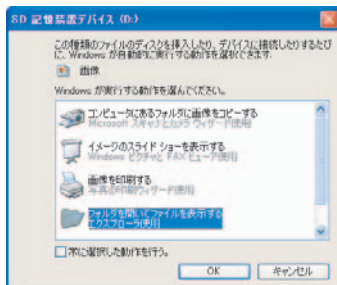
Windowsが実行する動作をクリックして選び、操作を進める。

- 左の画面は一例です。
- マイコンピュータに「SD 記憶装置デバイス」が表示されます。
- 左の画面が表示されないときは、以下の操作で表示させることができるようになります。

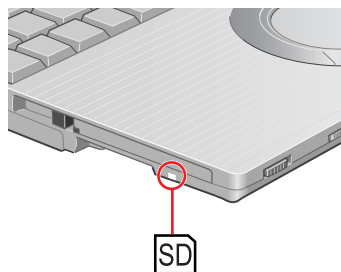
① [スタート] - [マイコンピュータ]をクリックする。

② SDメモリーカードの[SD 記憶装置デバイス]を右クリックして[プロパティ]をクリックする。

③ [自動再生]をクリックする。

④ ファイルの種類を選び、[動作を毎回選択する]をクリックして選んで[OK]をクリックする。

取り外す

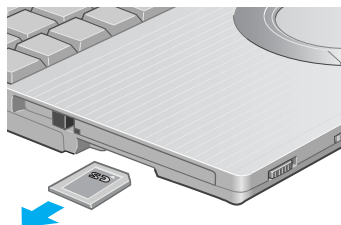
お願い

- SDメモリーカードを取り外すときは、必ずSDカードの停止処理を行ってください。

1 SDメモリーカード状態表示ランプ[SD]が完全に消えていることを確認する。

- データの読み出し中や書き込み中は取り出さないでください。
- 書き込みなどの操作の後、しばらく断続的にアクセスすることがあります。処理が完了する前に取り出すと、大切なデータが壊れたり、次回取り付けたときに正しくアクセスできないことがあります。

2 SDメモリーカードの停止処理を行う。

(コンピューター本体の電源を切った状態で取り外す場合や が表示されていない場合、または下記の手順①で「Secure Digital Storage Device」が一覧にない場合、この手順は不要です。)

① 画面右下のタスクトレイの「ハードウェア取り外しアイコン」 をダブルクリックし、「Secure Digital Storage Device」をクリックして、[停止]をクリックする。
② 「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]をクリックする。

3 カードを押すと、カードが少し出てくるのでそのまま引き出す。

- カードを挿し込んだ状態から無理に引き抜くと故障の原因になります。

市販の SD **メモリーカードに初期設定（**SD **カード設定）を行うと、次のような場合、パスワード入力の代わりに** SD **メモリーカードを使うことができます。**

● **コンピューターの起動時**	● Windows **へのログオン時／スタンバイ・休止状態やスクリーンセーバーからのリジューム時**
パスワードを入力してください [ ] ↓ SD **メモリーカードをセットする。** ↓ Windows **のログオン画面が表示**	[Windows **のログオン画面**] ↓ SD **メモリーカードをセットする。** ↓ Windows **のデスクトップ画面が表示**

お知らせ

- SD**メモリーカードを使わずにパスワードを入力して起動することもできます。**
- **このセキュリティ機能が使えるのは、**SD**メモリーカードのみです。**

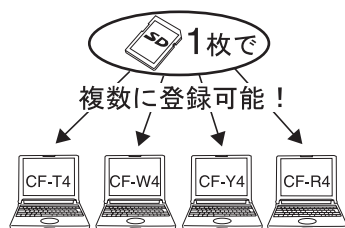
初期設定（SDカード設定）を行う前に

- **コンピューターの起動時に使う場合**
  セットアップユーティリティでスーパーバイザーパスワードを設定してください（➔ 58 ページ**）。初期設定時に設定することもできます。**

- Windows **へのログオン時、スタンバイ・休止状態やスクリーンセーバーからのリジューム時に使う場合**
  [**コントロールパネル**] **で** Windows **のログオンパスワードを設定してください。（**➔ 64 ページ**）**

お知らせ

- **フォーマットされたSDメモリーカードをお使いください（**➔ 72ページ**）。**
- **このセキュリティ機能は、内蔵SDメモリーカードスロットのみで使用できます。**
  USBリーダーライターなどでは、この機能は使用できません。
- **設定を行ったSDメモリーカードは、通常のメモリーカードとして他の機器でも使用できます。**
- **1枚のSDメモリーカードを複数のコンピューターに対して設定しておくことができます。CF-W4/CF-T4/CF-R4/CF-Y4の各モデルで利用可能です。これ以外の機種では利用できません。**
  ただし、Windowsへのログオン時に使用する場合、どのコンピューターにもSDメモリーカードと同じログオンユーザーとパスワードが作成されている必要があります。

SDメモリーカードによるセキュリティ機能

初期設定（SDカード設定）を行う

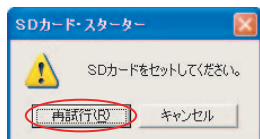
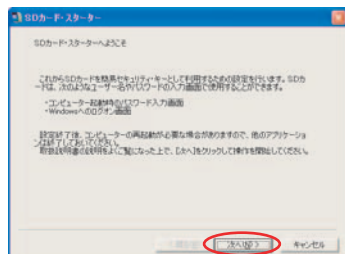
1 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

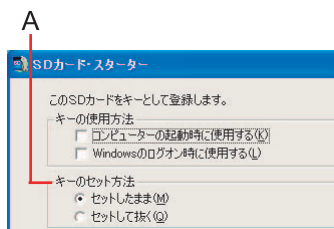
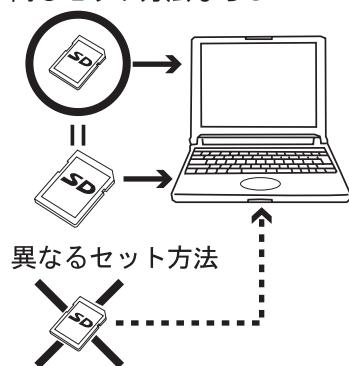
2 SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにセットする。

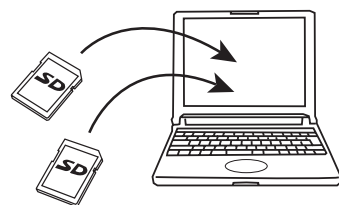
「SD記憶装置デバイス」画面が表示された場合は、[何もしない]をクリックして、[OK]をクリックしてください。

3 SDカード設定プログラムを起動する。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [SDカード設定]をクリックする。

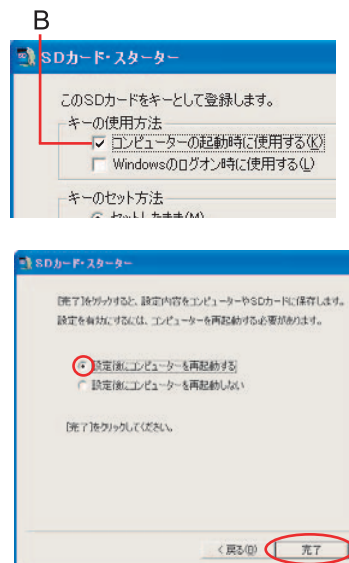
- SD メモリーカードをセットしていない場合：
  左の画面が表示されます。SD メモリーカードをセットして、[再試行] をクリックしてください。

4 「SDカード・スターターへようこそ」画面で[次へ]をクリックする。

5 キー（カード）のセット方法（A）を選ぶ。

- [セットしたまま]
  SD メモリーカードをセットして取り外さずにおくと、パスワード入力の代わりになります。
  スタンバイ・休止状態からのリジューム時にパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
  （コンピューターや Windows 起動後に、カードを取り外すことができます。）
- [セットして抜く]
  SD メモリーカードをセットした後、取り外すと、パスワード入力の代わりになります。

SDメモリーカードによるセキュリティ機能

セット方法はコンピューターごとに設定されます。1台のコンピューターに対してはSDメモリーカードごとにセット方法を変更することはできません。

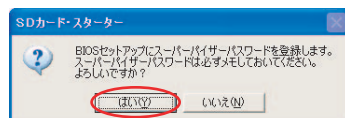
コンピューターの起動時とWindows のログオン時で、セット方法を変更する場合：
この設定画面では、Windowsのログオン時のセット方法を設定します。コンピューター起動時のセット方法は、SDカード設定終了後、セットアップユーティリティを起動し、「セキュリティ」メニューの[SDのセット方法]で変更してください。(➔ 169ページ)

6 使用する場面に合わせてキー（カード）の使用方法を選ぶ。

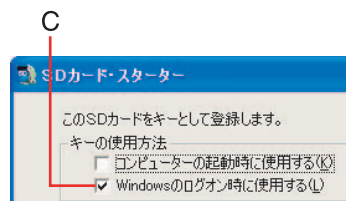
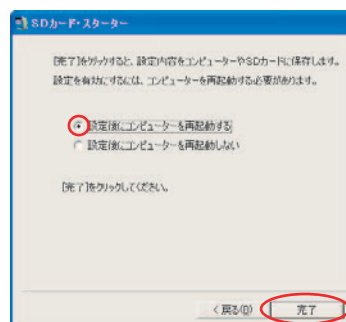
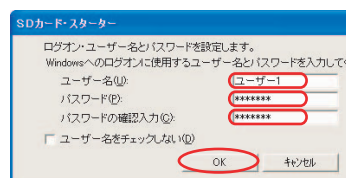
- **コンピューターの起動時に使う場合**
  SD メモリーカードをコンピューターに登録します（2 枚まで可能）。

① **[コンピューターの起動時に使用する]（B）をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。**

② **[設定後にコンピューターを再起動する]をクリックして、[完了]をクリックする。**

③ スーパーバイザーパスワードを入力する。
(パスワードに使える文字は、半角の英数字で最大32文字です。)

- スーパーバイザーパスワードを設定している場合
  スーパーバイザーパスワードを入力して [OK] をクリックする。

- スーパーバイザーパスワードを設定していない場合
  ここで、スーパーバイザーパスワードを設定します。
  スーパーバイザーパスワードを入力して【Tab】を押す。
  ↓
  再度スーパーバイザーパスワードを入力して [OK] をクリックする。
  ↓
  確認の画面で [はい] をクリックする。
  セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューの [スーパーバイザーパスワード]（→ 170 ページ）と [起動時のパスワード]（→ 169 ページ）が有効に設定されます。

- Windows へのログオン時に使う場合
  [コントロールパネル] で設定した Windows のログオン時に使用するユーザー名とパスワードを SD メモリーカードに登録します。
  設定すると、以下の機能が使えなくなります。
  - 「ようこそ」画面の表示
  - ユーザーの簡易切り替え機能
  - リモートデスクトップの機能

① [Windowsのログオン時に使用する]（C）をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。

② [設定後にコンピューターを再起動する]をクリックして、[完了]をクリックする。

③ Windows のログオン時に使用するユーザー名とパスワードを設定する。
ユーザー名を入力して【Tab】を押す。

↓

パスワードを入力して【Tab】を押す。

↓

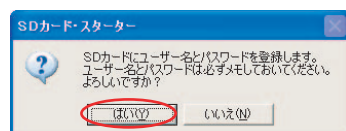
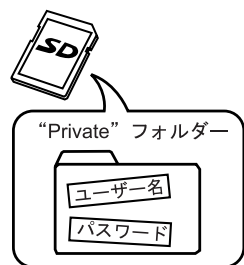
再度パスワードを入力する。

- [ユーザー名をチェックしない]
  チェックマークを付けると、入力したユーザー名が本機に設定されているかどうかチェックせずに SD メモリーカードに登録します。
  例えば、会社など、複数のコンピューターにそれぞれ異なるユーザー名を設定している場合、コンピューターごとに 1 枚 1 枚 SD メモリーカードに登録していくのは大変な作業です。
  チェックマークを付けていれば、他のコンピューターのユーザー名を SD メモリーカードに登録できます。
  - 他のコンピューターのユーザー名を登録した場合：
    設定終了後の再起動時には、SD メモリーカードを使わずに、本機に設定されている Windows のユーザー名とパスワードを入力してログオンしてください。

↓

[OK]をクリックする。

↓

確認の画面で[はい]をクリックする。

SDメモリーカードに「Private」フォルダーが作成され、Windowsのユーザー名とパスワードが暗号化された状態で登録されます。
この「Private」フォルダーは削除しないでください。Windowsのログオン時に使用できなくなります。

- **コンピューターの起動時と Windows のログオン時の両方に使う場合**
  [コンピューターの起動時に使用する] と [Windows のログオン時に使用する] をクリックしてチェックマークを付け、画面に従って、スーパーバイザーパスワードおよびユーザー名などを入力してください。（**➔ 80 ページ****）**

こんなときは...

- **SD メモリーカードをセットしても正常に動作しない。**
  一度取り出して数秒待った後、SD メモリーカードをセットし直すか、キーボードでパスワードを入力してください。
- **SD メモリーカード状態表示ランプ🄳が点滅している。**
  SD メモリーカードを抜かず、キーボードでパスワードを入力してください。
  アプリケーションソフトなどが SD メモリーカードにアクセスしている場合があります。
- **パスワード入力画面や Windows へのログオン画面が表示されない。**
  セット方法を [セットしたまま] に設定した場合：
  - **コンピューター起動時、すでに SD メモリーカードをセットしていると各画面は表示されません。**
  - **スタンバイ・休止状態やスクリーンセーバーからのリジューム時、すでに SD メモリーカードをセットしているときは、セットし直してください。**

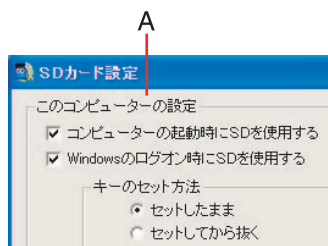
Windowsへのログオン時／スタンバイ・休止状態やスクリーンセーバーからのリジューム時

- セット方法を [セットして抜く] に設定した場合
  SD メモリーカードをセットした後、「ピッ」というカードを認識する音が鳴ってから取り外してください。(【Fn】+【F4】を押すなどしてスピーカーをオフにしている場合、「ピッ」という音は鳴りません。【Fn】+【F5】を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。)
- セット方法を [セットしたまま] に設定した場合
  パスワード入力画面が表示されることがあります。この場合は、パスワードを入力してください。

設定内容を変更する

初めて SD カード設定プログラムを実行したときと 2 回目以降で、設定画面は異なります。

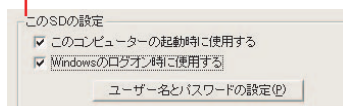
1 「SDカード設定」画面を表示する。(➔ 79ページ 手順1〜3)

現在の設定内容が表示されます。

2 必要な設定を行う。

A. このコンピューターの設定
コンピューターに登録されている設定を変更できます。

- 「コンピューターの起動時に SD を使用する」
  この設定は、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでも変更することができます。(➔ 169 ページ)
  - チェックマークを付けると
    コンピューター起動時に SD メモリーカードが使用できるようになります。
  - チェックマークを外すと
    現在登録されているすべての SD メモリーカードが、このコンピューターの起動時に使用できなくなります。SD メモリーカードを紛失した場合など、他人にカードを悪用される可能性がある場合は、チェックマークを外してください。
    再度、SD メモリーカードを使用する場合は、[この SD の設定] (➔ 85

ページ）の [このコンピューターの起動時に使用する] にチェックマークを付けてください。コンピューターに再登録されます。

- 「Windows のログオン時に SD を使用する」
  - チェックマークを付けると
    Windows のログオン時に SD メモリーカードを使用できるようになります。
  - チェックマークを外すと
    パスワードが設定済みの SD メモリーカードをセットしても、Windows にログオンできなくなります。

B. **このSDの設定**

現在セットしているSDメモリーカードに初期設定を行ったり、設定を変更したりできます。SD メモリーカードがセットされていない場合には選択できません。

- 「このコンピューターの起動時に使用する」
  - チェックマークを付けると
    コンピューター起動時にこの SD メモリーカードを使用できるようになります。
    [コンピューターの起動時に SD を使用する]（➔ 84 ページ）にも自動的にチェックマークが付きます。
  - チェックマークを外すと
    現在登録されているすべての SD メモリーカードが、このコンピューターの起動時に使用できなくなります。
- 「Windows のログオン時に使用する」
  - チェックマークを付けると
    Windows のログオン時にこの SD メモリーカードを使用できるようになります。
  - チェックマークを外すと
    ユーザー名とパスワードが SD メモリーカードから消去され、Windows のログオン時に使用できなくなります。
- 「ユーザー名とパスワードの設定」
  - SD メモリーカードに設定されている Windows ログオン時のユーザー名とパスワードを変更します。
  - メニューを選ぶと設定済みのユーザー名が表示されます。パスワードを入力して [OK] をクリックし、その後新しいユーザー名とパスワードを設定します。
  - [Windows のログオン時に使用する] にチェックマークを付けていない場合は選択できません。

3 [OK]をクリックする。

設定した内容により、以降の手順が異なります。

● [コンピューターの起動時に SD を使用する] にチェックマークを付けた場合：

➔ 81 ページ手順 6 の「コンピューターの起動時に使う場合」の手順 ③

● [コンピューターの起動時に SD を使用する] のチェックマークを外した場合：

① パスワードを入力して[OK]をクリックする。

② 「BIOSセットアップに登録されているSDカード情報を消去します...」という画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

● [Windows のログオン時に使用する] にチェックマークを付けた場合：

➔ 82 ページ手順 6 の「Windows へのログオン時に使う場合」の手順 ③

● [Windows のログオン時に使用する] のチェックマークを外した場合：

① パスワードを入力して[OK]をクリックする。

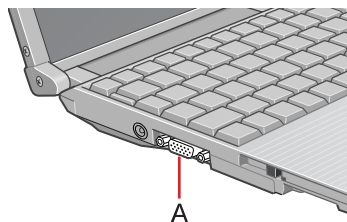
② 「SDカードに登録されているユーザー名とパスワードを消去します...」という画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

4 コンピューターを再起動する。

外部ディスプレイを接続する

外部ディスプレイを接続して大きな画面で使ったり、液晶プロジェクターを接続してプレゼンテーションを行うことができます。
ディスプレイ（表示モード）の用語については、「ディスプレイ（表示モード）について」をご覧ください。（ 3 ページ）

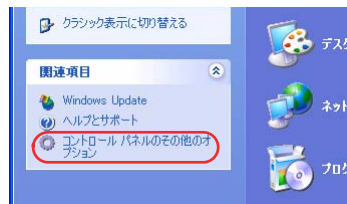
1 コンピューターの電源を切る。

（⇒『取扱説明書』「電源を入れる／切る」）
- スタンバイ・休止状態のとき、取り付け／取り外しを行わないでください。

2 外部ディスプレイを本機の外部ディスプレイコネクター（A）に接続する。

3 外部ディスプレイ、本機の順に電源を入れる。

4 表示先を切り替える。

2つの方法があります。
他の方法（画面のプロパティなど）では切り替えないでください。
- 【Fn】+【F3】を押す。（ 23 ページ）
  - 拡張デスクトップモードには切り替えられません。
  - 表示先が完全に切り替わるまでキーを押したり、電源スイッチをスライドしたりしないでください。
- [Mobile Intel(R) 915GM/GMS. 910GML Express Chipset Family のプロパティ] 画面を使う。

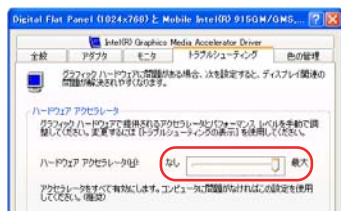
① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックし、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション]をクリックする。

② [Intel(R) GMA Driver for Mobile] - [デバイス]をクリックする。

③ 表示先をクリックし、[適用]をクリックする。
- 外部ディスプレイに表示する場合：[PC モニタ]
- 内部 LCD に表示する場合：[ノートブック]
- 同時表示する場合：[Intel(R) Dual Display Clone]
- 拡張デスクトップモードにする場合：[拡張デスクトップ]（「拡張デスクトップモードについて」もご覧ください。➔ 90 ページ）

5 色数や画面領域などを設定する。

同時表示または拡張デスクトップを選んでいる場合は、[デバイス設定]をクリックして設定してください。

お知らせ

- 休止状態からリジュームしたときや再起動後の表示先は、休止状態に入る前や再起動前とは表示先が異なる場合があります。
- Windowsが起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。【Fn】+【F3】を押すと、外部ディスプレイまたは内部LCDに切り替わります。
- [コマンドプロンプト]を全画面表示しているときは、同時表示および表示先の切り替えはできません。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみまたは同時表示を使用する場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、画面領域（解像度）、リフレッシュレートを設定してください。ただし、お使いの外部ディスプレイによっては設定により画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されない場合があります。
  その場合は色数、画面領域（解像度）、リフレッシュレートを小さめに設定してみてください。
- 内部LCDと外部ディスプレイに同時表示しているとき、MPEGファイルを再生すると、スムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイに付属の取扱説明書も、よくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していないディスプレイを接続している場合は、お使いのディスプレイ用のドライバーに変更してください。
  ①「画面のプロパティ」画面を表示する。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面]をクリックします。
  ② [設定] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ] - [ドライバ] - [ドライバの更新]をクリックする。
- 画像が正しく表示されない場合：
  ①「画面のプロパティ」画面を表示する（上記手順①）。
  ② [設定] - [詳細設定] - [トラブルシューティング]をクリックし、[ハードウェアアクセラレータ]の値を下げる。

拡張デスクトップモードについて

接続方法の手順 *4* の ③（➔ 88 ページ）で [拡張デスクトップ] をクリックしたあと、「プライマリデバイス」と「セカンダリデバイス」の設定が変更できます。
▼をクリックして、メニューからディスプレイを選び、[OK] をクリックします。

- 【Fn】との組み合わせによる操作で表示されるポップアップウィンドウは、プライマリデバイス側に表示されます。
- 拡張デスクトップモード使用時は、【Fn】+【F3】を押して画面の表示先の切り替えを行わないでください。
- 他の方法（画面のプロパティなど）ではこの設定を変更しないでください。ウィンドウが正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンを選ぶと、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。
- 最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。

使用上のお願い

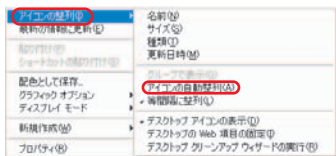
◆起動したアプリケーションソフトが画面に表示されないとき

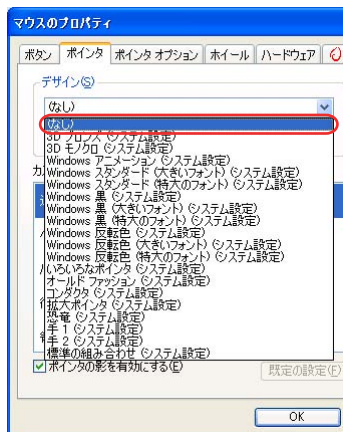
- アプリケーションソフトが外部ディスプレイにある状態、または外部ディスプレイでそのアプリケーションソフトを終了した後で、拡張表示位置を変更したり拡張デスクトップモードを終了したりすると、次に起動したときにアプリケーションソフトが画面に表示されない場合があります。
  この場合は、拡張表示位置を変更前の状態に戻すか、再度拡張デスクトップモードに設定するなどして、アプリケーションソフトを内部 LCD に移動した後、拡張表示位置を変更、または拡張デスクトップモードを終了してください。

◆イメージの焼き付き防止

- イメージが外部ディスプレイに焼き付くことを避けるため、外部ディスプレイを使わないときはディスプレイの電源を切ってください。

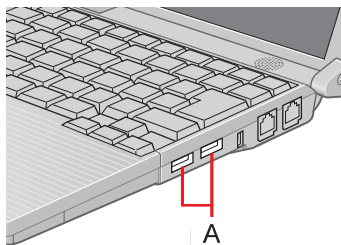
◆壁紙、アイコン位置がずれるとき

- 壁紙
  壁紙を設定し直してください。
- アイコン
  デスクトップ上で右クリックし、[アイコンの整列] - [アイコンの自動整列] をクリックして、アイコンを整列してください。

◆マウスポインターにアニメーションポインターを使うとき

- スタンバイ・休止状態からリジュームしたときにエラーが発生することがあります。この場合は、次の手順でマウスポインターを標準のポインターに変更してください。
  ① 「マウスのプロパティ」画面を表示する。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス]をクリックする。
  ② [ポインタ]をクリックする。
  ③ [デザイン]の中から[（なし）]をクリックして、[OK]をクリックする。

USB機器を接続する（外部マウスなど）

フロッピーディスクドライブや外部マウス、プリンター、イメージスキャナーなど USB 対応のいろいろな周辺機器を使用することができます。

USB機器の取り付け／取り外し

USB機器を取り付ける

1 USB機器を本機のUSB コネクター（A）に接続する。

USB機器について、詳しくはUSB機器に付属の取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- USB機器は本体の電源を切らなくても取り付け／取り外しができます。
- USB機器を接続した状態では、スタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合があります。「電源オプションのプロパティ」の[電源設定]でシステムスタンバイ・システム休止状態を[なし]に設定してください。また、【Fn】+【F7】（スタンバイ状態）や【Fn】+【F10】（休止状態）を押して設定する場合はUSB機器を取り外してから行ってください。また、コンピューターが正常に起動しなくなった場合はUSB機器を取り外し、再起動してください。
- 接続するUSB機器によっては、USBハブ（市販）に接続するのではなく、本機のUSBコネクターに直接接続しないと動作しないものがあります。
- USB機器を抜き挿しすると、デバイスマネージャに ! が表示されて、正しく認識されないことがあります。その場合は、再度抜き挿ししてください。
- USB機器を接続していると、電力の消費が多くなります。特にバッテリーのみで操作する場合は、使用していないUSB機器を取り外してください。
- 一方のコネクターにUSB機器を接続してドライバーをインストールした後、もう一方のコネクターに接続すると、再度ドライバーのインストールが必要となる場合があります。

USB機器を取り外す

お願い

- スタンバイ・休止状態のとき、USB機器を取り外さないでください。
- 開いているファイルなどはすべて閉じてください。

1 デバイスの停止処理を行う。

（コンピューター本体の電源を切った状態で取り外す場合やが表示されていない場合、または手順①で取り外すデバイス（機器）が一覧にない場合、この手順は不要です。）

① 画面右下のタスクトレイの「ハードウェア取り外しアイコン」をダブルクリックし、取り外すデバイス（機器）をクリックして、[停止]をクリックする。

②「ハードウェアデバイスの停止」画面で、取り外す機器を確認して[OK]をクリックする。

2 USB 機器を取り外す。

外部マウスをお使いになるとき

外部マウスのドライバーをインストールする場合は、内蔵ホイールパッドのドライバーをアンインストールしてからお使いになる外部マウスのドライバーをインストールしてください。この場合、内蔵ホイールパッドのスクロール機能は使えなくなります。

お願い

- ドライバーをアンインストールする前に、開いているファイルなどはすべて閉じてください。

1 画面右下のタスクトレイの「スクロールアイコン」をクリックし、[終了] をクリックする。

2 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]をクリックし、[ホイールパッドユーティリティ]をクリックした後、[変更と削除]をクリックしてプログラムを削除する。

- 画面のメッセージに従って削除を行ってください。
- [ロックされたファイルの検出]のメッセージが表示された場合は、[再起動]をクリックしてください。

3 「InstallShield ウィザードの完了」が表示されたら、[はい、今すぐコンピュータを再起動します」をクリックして、[完了]をクリックする。

4 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]をクリックし、「Synaptics Pointing Device Driver」をクリックした後、[変更と削除]をクリックしてドライバーを削除する。

5 画面のメッセージに従って削除を行った後、[スタート] - [終了オプション] - [電源を切る]をクリックしてコンピューターの電源を切る。

6 コンピューターの電源を入れ、Windowsを起動する。

7 マウスに付属の説明書に従ってマウスドライバーをインストールする。

お知らせ

- 前ページからの手順を行うと、内蔵ホイールパッドのスクロール機能が使えなくなります。外部マウスを使用せず、内蔵ホイールパッドのスクロール機能を使用する場合は、以下の「内蔵ホイールパッドをお使いになる場合」の手順で元に戻してください。

◆内蔵ホイールパッドをお使いになる場合

1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]をクリックし、外付けのマウスドライバーを削除する。

- お使いの外付けのマウスドライバーによっては方法が異なる場合があります。詳しくは、マウスドライバーに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 削除後、Windowsを終了しコンピューターの電源を切る。

- 外部マウスを接続している場合は、電源が切れた状態でマウスを取り外してください。

3 コンピューターの電源を入れ、Windowsを起動する。

4 [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、[c:¥util¥drivers¥mouse¥setup.exe]を入力し[OK]をクリックする。

5 「ようこそ」画面が表示されたら[次へ]をクリックする。

6 「重要なお知らせ」画面が表示されたら[次へ]をクリックする。

7 「ファイル コピーの開始」画面が表示されたら[次へ]をクリックする。
ドライバーのインストールが実行されます。

8 「セットアップの完了」画面が表示されたら[はい、今すぐコンピュータを再起動します]が選択されていることを確認して[完了]をクリックする。

9 Windowsの再起動後「Synaptics ポインティングデバイスの設定」画面が表示されたら、[起動時にこの画面を表示]のチェックマークを外して[閉じる]をクリックする。

10 [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、[c:¥util¥wheelpad¥setup.exe]を入力し[OK]をクリックする。

11 「ホイールパッドユーティリティ セットアップ」画面が表示されたら[次へ]をクリックする。
- ホイールパッドユーティリティのインストールが行われます。

12 [完了]をクリックして画面を閉じる。

- インストール完了後、「ホイールパッド機能と、フラットパッド独自のスクロール機能を、同時に使用することはできません。」が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

USBフロッピーディスクドライブについて

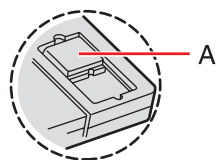
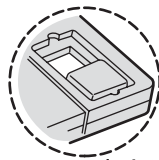
別売りのフロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03J）を使うときは、以下のことに注意してください。

- フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中は、以下のことを行わないでください。フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
  - 電源を切る
  - フロッピーディスクドライブを取り外す
  - フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れる
- フロッピーディスクの取り扱いには注意してください。
  データの破損やフロッピーディスクがドライブから取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
  - シャッターを手で開けない
  - 磁気を帯びたものを近づけない
  - 高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
  - ラベルを重ねて貼らない
- 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認してください。
  フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
- 必要に応じて、書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ：A）を使うことをおすすめします。
  書き込み禁止の状態にすると、データの削除や上書き保存を禁止することができます。重要なデータを保存している場合におすすめします。

書き込み可能な状態

書き込み禁止の状態

- 他のフロッピーディスクドライブと同時に使用することはできません。
- フロッピーディスクに保存しているMicrosoft WordやMicrosoft Excelなどのファイルは、フロッピーディスクから直接開かないでください。
  ファイルをハードディスクにコピーし、コピーしたファイルを開くようにしてください。
- フロッピーディスクドライブに付属の「外部FDD用ドライバーディスク」は、Windows 98用です。本機では使用しないでください。

プリンターで印刷する

USB コネクターにプリンターを接続して、『操作マニュアル』やインターネットで見つけたホームページなどを印刷することができます。

- プリンタードライバーのインストール方法や各種設定、操作方法などの詳細は、プリンターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 『操作マニュアル』の印刷方法：➔ 7 ページ

1 プリンターおよびコンピューターの電源を切る。

（コンピューターの電源　⇒『取扱説明書』「電源を入れる／切る」）

- スタンバイ・休止状態のとき、取り付け／取り外しを行わないでください。

2 プリンターにUSBケーブル（プリンターに付属または別途購入）を接続し、ケーブルのもう一方を本機のUSBコネクターに接続する。

3 プリンターと本機の電源を入れる。

インターネットに接続する

インターネットとは？

インターネットは、世界的な規模でコンピューターどうしがつながったネットワークです。世界中のさまざまな情報の中から、知りたい情報を探し出したり、情報をやりとりしたりすることができます。

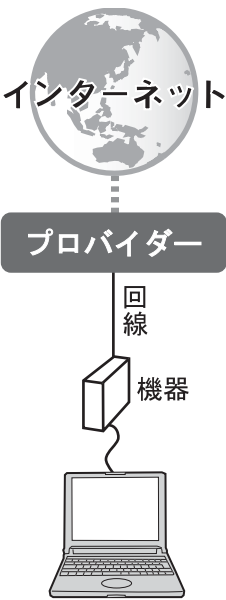
◆インターネットでできること

- 欲しい情報を手に入れる。
  明日の天気やニュース、話題のお店など、インターネットにはたくさんの情報があります。画像やプログラムなどをダウンロードして利用することもできます。*1
- 予約や買い物をする。*1
  電車やホテルの空き状況を確認して予約したり、オンラインショッピングを行ったりすることができます。
- コミュニケーションの場として活用する。
  電子メールなどで、遠くの友人や海外の人といろいろな情報をやりとりすることができます。
- 自分が情報の発信源になる。
  ホームページ（掲示板など）に投稿したり、自分でホームページを開設*2したりできます。

*1 サービスによっては、会員登録や会費など別途料金が必要になる場合があります。
*2 別途アプリケーションソフトおよび手続きなどが必要です。

インターネットに接続するには

インターネットに接続するには、いくつかの準備が必要です。
ここでは、一般の家庭からインターネットに接続する場合の一例を紹介します。

◆インターネットに接続するまでの大きな流れ

Step1 インターネットに接続する回線とプロバイダー（➔ 247 ページ）を決める（料金やサービスなどを検討）。	➔ 102 ページ

↓

Step2 回線の契約とプロバイダーへの入会手続きを行う。 （回線によっては工事が必要です。）	➔ 107 ページ

↓

Step3 回線／機器（専用モデムなど）／本機を接続する。	➔ 108 ページ

↓

Step4 インターネットに接続する。	➔ 109 ページ

Step1　インターネットに接続する回線とプロバイダーを決める

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続口を提供しているプロバイダーと、プロバイダーへ接続するための回線を決める必要があります。回線の接続会社によって、契約できるプロバイダーが決められている場合があります。また、同じ回線を利用しても、プロバイダーによって料金体系やサービス内容などが違ってきます。
インターネットに接続する目的や頻度などを考え、最適な回線とプロバイダーを選びましょう。

◆ブロードバンドとは

大量の情報を高速で送受信できるインターネット回線のことです。
ブロードバンドを利用すると、容量の大きな動画や音楽なども快適にインターネットで楽しむことができます。また、ほとんどが定額制なので、長時間利用しても料金を気にする必要がありません。

- ブロードバンドの代表的なものとして、ADSL、光ファイバー、ケーブルテレビがあります。（➔ 103 ページの緑色の項目）

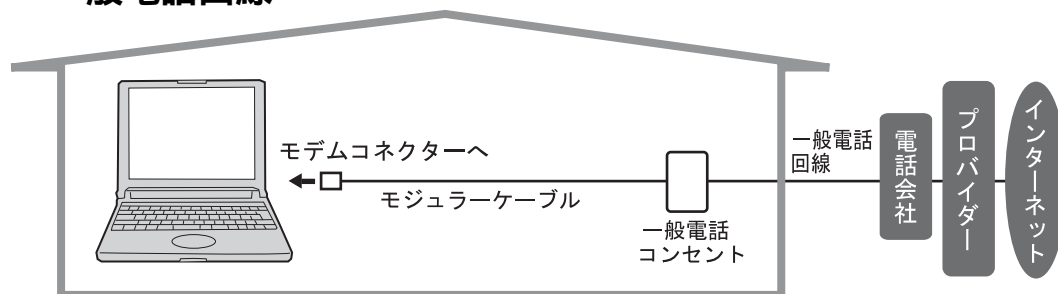
回線の種類

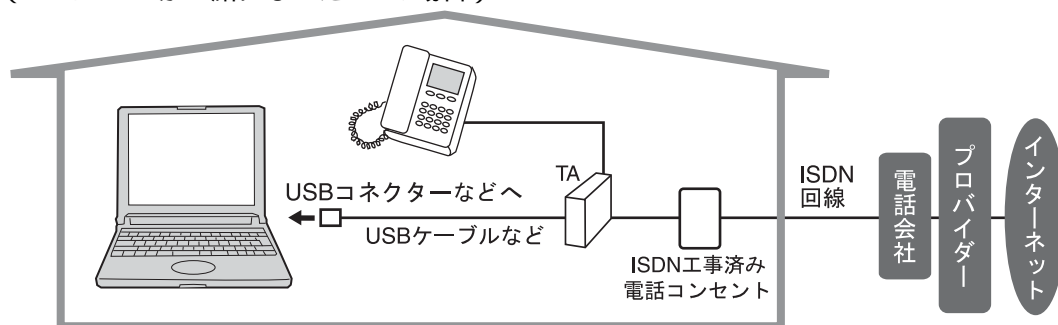
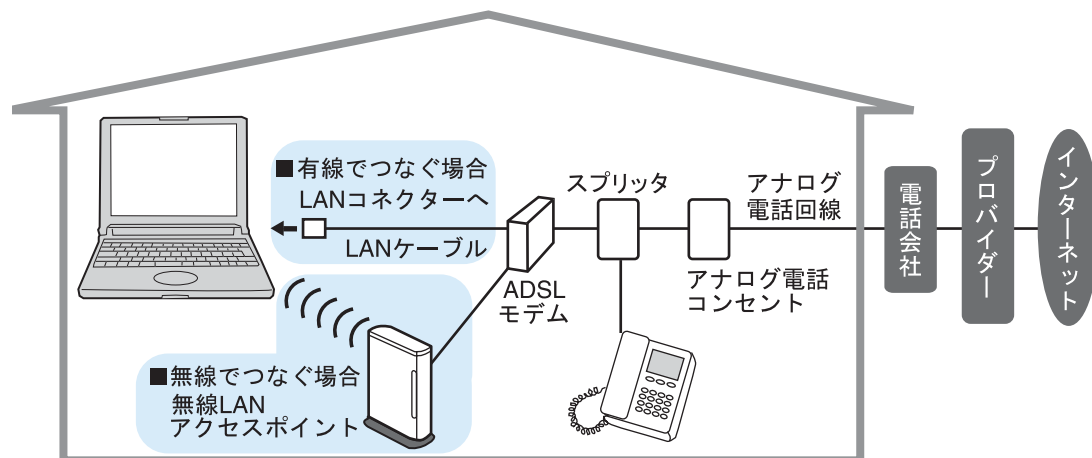
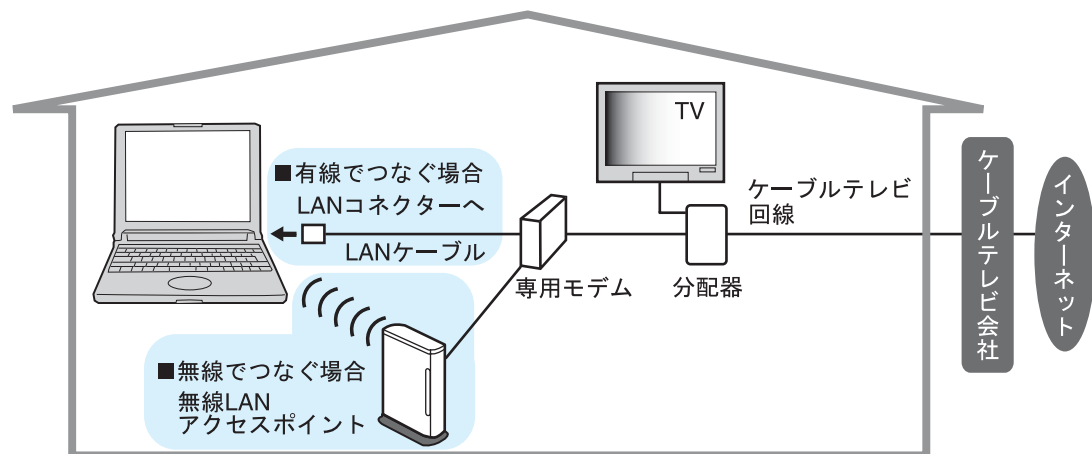
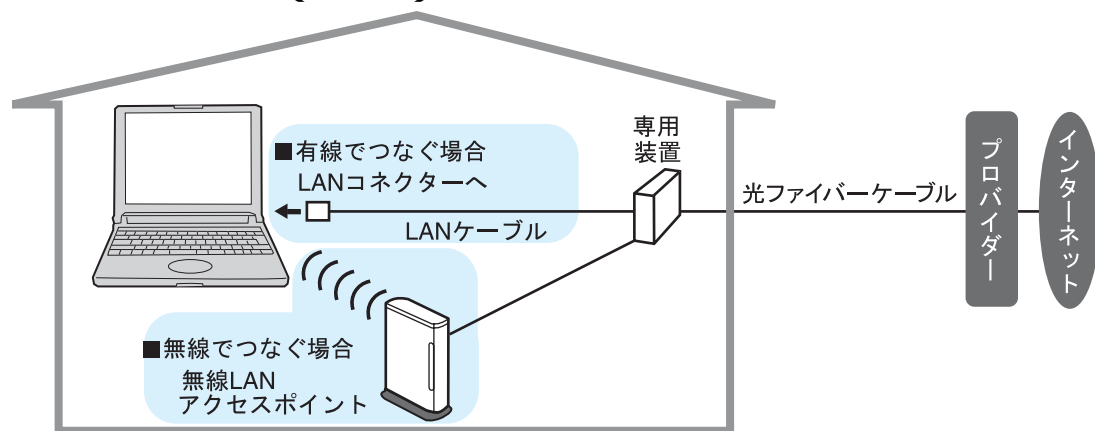
種類	説明	通信速度	必要な機器
一般電話回線	一般電話回線（アナログ電話回線）を使います。 ● インターネットに接続中は、同じ回線に接続された電話やファクスが使えません。 ● アクセスポイントが遠いと、電話代が高くなることがあります。	低速	● モデム（本機に内蔵）
ISDN	NTT のデジタル通信網を使って、容量の大きい情報をデジタル信号でやりとりします。 ● 電話やファクスと同時に使えます。 ● アクセスポイントが遠いと、電話代が高くなることがあります。 ● ISDN 回線の契約と導入工事が必要です。 ● サービス対応エリア内であることを確認してください。 ● 詳しくは、NTT のサポート窓口にご相談ください。	一般電話回線よりも高速	● DSU ● TA Windows XP 対応のものをご用意ください。

種類	説明	通信速度	必要な機器
ADSL	一般電話回線を利用し、電話では使わない高い周波数でデータ通信を行います。常時接続したい方に適しています。 ● 電話やファクスと同時に使えます。 ● 回線の契約と工事（NTT 交換機の設定）が必要です。 ● サービス対応エリア内であること、プロバイダーが対応していることを確認してください。 ● 電話の収容局からの距離によって通信速度が異なります。（回線提供会社にご確認ください） ● 詳しくは、ADSL サービス会社のサポート窓口にご相談ください。	一般電話回線や ISDN よりも高速	● ADSL モデム ● スプリッター（必要な場合のみ）
ケーブルテレビ（CATV）	ケーブルテレビの専用回線を利用します。常時接続したい方に適しています。 ● 回線の契約と工事が必要です。 ● 詳しくは、お住まいの地域で加入可能なケーブルテレビまたはすでに加入されているケーブルテレビのサポート窓口にご相談ください。 （ケーブルテレビ会社によっては、インターネットをサポートしていない場合もあります。）	一般電話回線や ISDN よりも高速	● 専用モデム ● 分配器
光ファイバー（FTTH）	光ファイバーケーブルの中に光信号を流します。常時接続したい方に適しています。 ● 光ファイバーを家庭に引き込む工事と契約が必要です。マンションなどの場合、管理組合（またはマンションの所有者）などにご相談ください。 ● サービス対応エリア内であること、プロバイダーが対応していることを確認してください。 ● 詳しくは、光ファイバーサービス会社のサポート窓口にご相談ください。	ADSL やケーブルテレビよりも高速	● 専用モデム
携帯電話 PHS 電話 データ通信専用端末	お手持ちの携帯電話や PHS 電話を利用し、外出先でもインターネットに接続したり、電子メールを送受信したりできます。 また、データ通信専用端末（PC カードタイプや USB タイプなど）の場合は、本機のスロットに端末を直接つないで通信することができます。	携帯／ PHS 電話や端末によって異なります。	● 専用通信アダプターやデータ通信専用端末

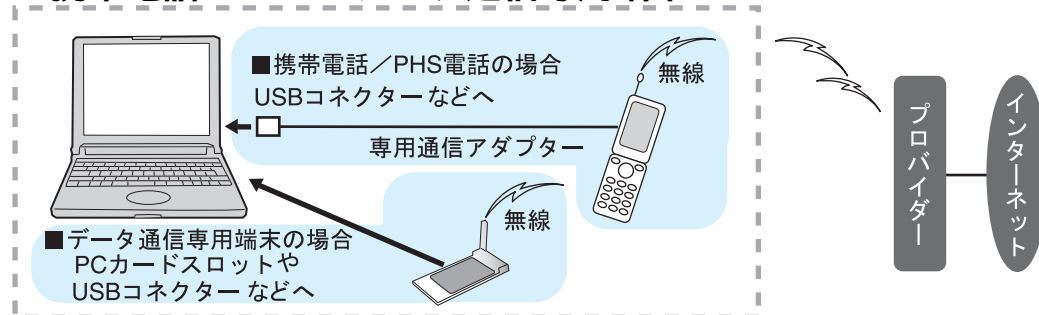
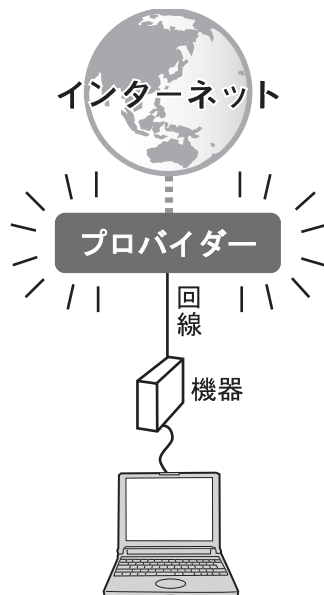
回線接続のイメージ図（一例）

- **ケーブルや接続機器は本機に付属していません。別途、購入する必要があります。（機器によってはレンタルされている場合があります。）機器の名称は、機器のメーカーにより異なる場合があります。**
- **回線工事や設置方法については、回線接続会社の各窓口などにお問い合わせください。**

◆一般電話回線

◆ISDN

（TA と DSU が一緒になった TA の場合）

◆ADSL

◆ケーブルテレビ（CATV）

◆光ファイバー（FTTH）

（図は戸建住宅などの場合の一例です。マンションなどの集合住宅では接続方法が異なる場合があります。）

◆携帯電話／PHS／データ通信専用端末

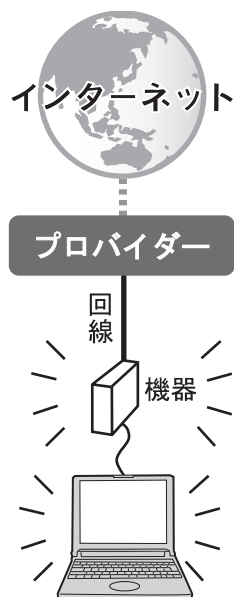
■携帯電話／PHS電話の場合
USBコネクター などへ
専用通信アダプター
無線
■データ通信専用端末の場合
PCカードスロットや
USBコネクター などへ
無線
プロバイダー
インターネット

Step2　回線の契約とプロバイダーへの入会手続きを行う

回線の契約とプロバイダーへの入会は、別々に申し込みをする場合と、同時に申し込みをする場合があります。申し込み時に十分ご確認ください。
プロバイダーに入会する方法は、主に次の 2 通りがあります。

- 書類に必要事項を記入して申し込む。
- オンラインサインアップで申し込む（下記は電話回線を使用する場合の一例）。

  - オンラインサインアップは、書類を送ってもらう必要がないので便利ですが、オンラインサインアップを始める前に以下のものを用意しておく必要があります。
    - モジュラーケーブル（別売り）
    - クレジットカード
    - 筆記道具
      オンラインサインアップの途中で登録情報が表示されますので、必ずメモしてください。

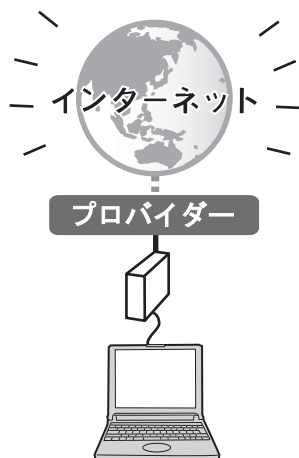
  - オンラインサインアップの方法（一例）
    下記手順は、デスクトップにオンラインサインアップ用のアイコンが用意されているモデルの場合です。アイコンがない場合は、各プロバイダーに書類などを請求してください。

    ① モジュラーケーブル（市販品）の突起部をモデムコネクター（）の向きに合わせて挿し込む。（➔ 113ページ）
    ② モジュラーケーブルのもう一方を電話コンセントに挿し込む。
    ③ デスクトップに表示されている各プロバイダーのアイコンから入会するプロバイダーのアイコンをダブルクリックする。
    ④ 画面に従って必要事項を入力し、入会する。
    （操作は各プロバイダーによって異なります。）

Step3　回線／機器（専用モデムなど）／本機を接続する

使用する回線によって、コンピューターと回線の間に、専用モデムや ADSL モデム、ターミナルアダプターなどが必要となります。
また、コンピューターをプロバイダーに接続するときに必要な情報を設定する必要があります。必要な情報は、プロバイダーによって異なります。

回線への接続方法、ドライバーやユーティリティのインストール、必要な情報の設定は機器やプロバイダーによって異なりますので、機器やプロバイダーへの接続についての説明書をご覧ください。

無線 LAN を使って接続する場合は、「無線 LAN で通信する」（➔　123 ページ）も参照してください。

Step4　インターネットに接続する

◆セキュリティ対策

インターネットに接続すると、さまざまなコンピューターと情報がやりとりできる代わりに、悪質なウィルスがあなたのコンピューターに侵入することがあります。
Windows ファイアウォールの設定（➔　227 ページ）を確認した後、Windows Update を実行して Windows を最新の状態にしたりウィルス対策ソフトを使用したりするなど（➔　225 ページ）、セキュリティ対策を行ってください。

◆インターネットによるトラブル

世界につながるインターネットが便利になる一方で、個人情報の流出によるプライバシーの侵害や悪用など、さまざまなトラブルが発生しています。
送信する電子メールの内容、ダウンロードするソフトウェア、オンラインショッピング業者の信用度など、十分に注意して快適なインターネットライフを楽しむようにしてください。

Webページを見る

1 デスクトップの Internet Explorer をダブルクリックして、Internet Explorerを起動する。

- 一般電話回線を使用している場合：
  ダイヤルアップ接続の画面が表示されます。ユーザー名やパスワードを入力してください。
- ご使用の設定や環境によっては、ユーザー名やパスワードの入力が必要となる場合があります。
- Internet Explorer を終了するには、画面右上の☒をクリックします。

◆Webページを活用する

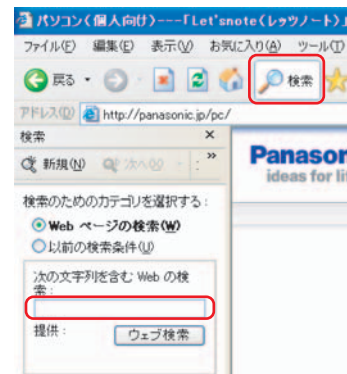
「Internet Explorer」を起動して、他のホームページにアクセスしてみましょう。

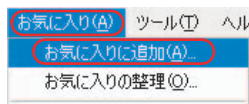
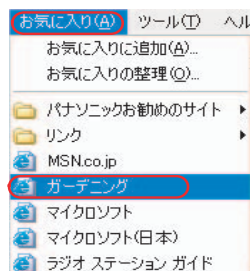
- Web ページを見るとき、インターネットへ情報を送信しますので、いくつかの警告メッセージが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。
- Web ページを見ているとき、「Windows セキュリティセンター」機能の 1 つである「ポップアップブロック」機能が働いて、Web ページが表示されなくなる場合があります。「ポップアップブロック」機能については「使用中の操作に関する Q&A」(➔ 190 ページ)をご覧ください。
- 以降に記載の Web ページ画面は一例です。内容は変更される場合があります。

◆雑誌でみつけたWebページを見る

① URLを入力し、[移動]をクリックする。

◆Webページを探す

① [検索]をクリックする。
② キーワードを入力して、[ウェブ検索]をクリックする。

◆よく見るWebページを登録する(お気に入りに追加)

① 登録するWebページを表示する。
② [お気に入り]をクリックする。
③ [お気に入りに追加]をクリックする。
④ 名前を入力し、[OK]をクリックする。

- 登録した Web ページの表示

① [お気に入り]をクリックする。
② 登録した名前をクリックする。

電子メールを送受信する

電子メールを使うには、メールアカウントとパスワード（メール用）の設定が必要です。
また、オンラインサインアップで入会申し込みをした場合、入会手続き後、メールが使用できるようになるまでに数時間かかる場合があります。
ここでは、メールソフト「Outlook Express」を使って電子メールを送る方法を紹介します。

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Outlook Express]をクリックする。

2 送信形式を設定する。

コンピューターウィルスなどから守るため、または受信する相手が一般電話回線を使用していて、画像などがたくさん含まれているHTMLメールを受信すると時間がかかったりするのを防ぐために、以下の設定を行うことをおすすめします。

① [ツール] - [オプション]をクリックする。
② [送信]をクリックする。
③ [受信したメッセージと同じ形式で返信する]をクリックしてチェックマークを外す。
④ [テキスト形式]をクリックし、[OK]をクリックする。

3 メールを作成する。

① [メールの作成]をクリックする。
② 宛先／件名／本文を入力する。

4 [送信]をクリックする。

◆メールを受信するには

① [送受信]をクリックする。
② [受信トレイ]をクリックする。
③ 読みたいメールをダブルクリックする。

お知らせ

- コンピューターウィルスによっては、メールを表示しただけでウィルスに感染してしまうものもあります。差し出し人や件名などを確認するようにしましょう。

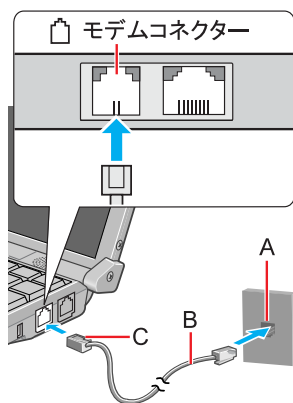
◆Outlook Express を終了するには

① 画面右上の☒をクリックする。

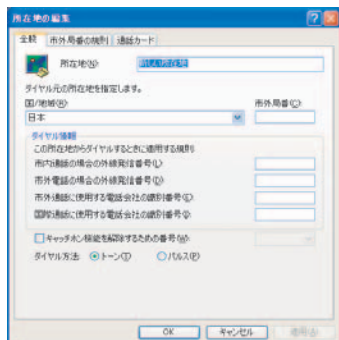
電話回線に接続する

コンピューターと電話コンセントを接続する

お願い

- モデムコネクターであることを確認して挿し込んでください。
  モジュラーケーブルは、LANコネクターには接続しないでください。

1 モジュラーケーブル（市販品：B）の突起部（C）をモデムコネクター（）の向きに合わせて挿し込む。

2 モジュラーケーブルのもう一方を電話コンセント（A）に挿し込む。

電話コンセントの種類や使用上の注意については、次のページをご覧ください。

3 モデムの設定を行う。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション]をクリックする。

- 国や回線を入力する画面が表示された場合は、入力して [OK] をクリックしてください。

② [ダイヤル情報]をクリックし、[編集]をクリックする。

③ ダイヤル発信する場所や回線に合わせて、所在地情報を設定し、[OK]をクリックする。

お知らせ

- モジュラーケーブルを取り外すときは、突起部を押さえながら引き抜いてください。
- 通信中は、スタンバイ・休止状態機能を使用しないでください。
- モデムは、一般電話回線で使用してください。
  - 会社、事務所等の内線電話回線等には、接続しないでください。
  - 特性が異なる以下の回線に接続すると、本機が故障するおそれがあります。
    NTTのピンク電話の回線
    ホームテレホン（接続ボックス）
    玄関ドアホン等
- 電話コンセントの種類は、モジュラージャック、ローゼット、3端子（または4端子）ジャックなどがあります。電話回線とのつなぎかたは、端子の種類によって異なります。モジュラージャックの場合、モジュラーケーブルをそのままつなぎます。

A

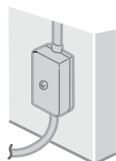
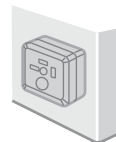
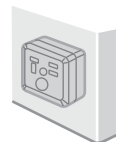
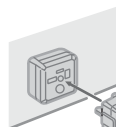
  ローゼット（A）の場合
  最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。

B

C

  3端子（B）（または4端子（C））ジャックの場合
  以下の2とおりの方法があります。
  - 最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。
  - 一方がモジュラープラグで、他方が3端子（または4端子）プラグのケーブル（市販品:D）を用意し、図のようにつなぎます。

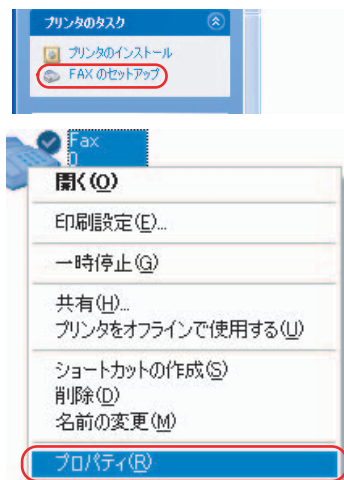
D

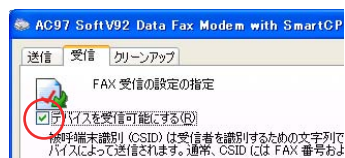
- 本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

モデムによるリジューム機能（モデムリングリジューム機能）

スタンバイ状態のときに内蔵モデムに接続した回線に電話がかかると、リジュームする機能のことです。
不在時のファクス自動受信などを活用する際に便利です。
この機能を使用する場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアを起動し、待ち受け状態にしておく必要があります。

モデムリングリジューム機能を有効にする

① [スタート] - [プリンタとFAX]をクリックする。
② 左側の[プリンタのタスク]の[FAXのセットアップ]をクリックする。
- 「コンポーネントの構成」画面が表示された後、FAX のアイコンが表示されます。
- 2 回目以降は、この操作は不要です。

③ FAXのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

④ [デバイス] - [プロパティ]をクリックする。

電話回線に接続する

⑤ [受信]をクリックし、[デバイスを受信可能にする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

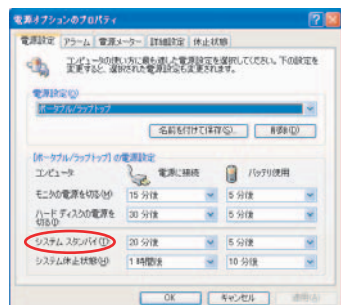
⑥ [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。

⑦ [モデム]をダブルクリックして、内蔵のモデムをダブルクリックする。

⑧ [電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

上記手順①～⑤を設定した場合、バッテリーでの駆動時間が多少短くなります。
モデムリングリジューム機能を使用しない場合は、手順⑤の設定で、[デバイスを受信可能にする]のチェックマークを外しておくことをおすすめします。

お願い

- この機能を使用する場合は、ACアダプターを接続しておくことをおすすめします。
- [システムスタンバイ][*1]の設定について
  - [システムスタンバイ]は、おおよその通信時間を考慮して設定してください。
    通信中でも設定時間になるとスタンバイ状態に入り、通信が中断されることがあります。
  - [なし]に設定しておくと、通信の途中でスタンバイ状態に入ることはありませんが、リジュームした後、長期不在の場合でも電源が入ったままになります。
- モデムリングリジューム機能を使用している場合、電話がつながるまでに時間がかかります（リジュームで起動する時間相当）。リジュームを行うには通常の電話呼び出しよりも長く呼び出しを行ってください。
  送信側の呼び出しを長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアで着信までのベル回数を少なく設定してください。

*1 [システムスタンバイ] の設定画面を表示するには：
[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックする。

お知らせ

- 電源オフ時および休止状態からはリジュームできません。
- スタンバイ状態からリジュームした後は、画面は消えたままです。キーボードまたはホイールパッドを操作すると元の画面が表示されます。
- 内蔵モデム以外のモデム（PCカードモデムなど）の回線に電話がかかってもリジュームしません。

ATコマンドでモデムの設定を変更する

通信を行う際に、毎回、AT コマンドでモデムの設定をする必要がある場合は、以下の手順で設定できます。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション] - [モデム]をクリックし、変更したいモデムをクリックして、[プロパティ]をクリックする。

② [詳細設定]をクリックする。

③ [追加設定]にATコマンドを入力する。
（例）スピーカーを常時オフにするには、「ATM0」と入力する。（「0」は数字）

④ [OK]をクリックして、再度[OK]をクリックする。

お知らせ

- ATコマンドについては、下記の項目をご覧ください。
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [内蔵モデムコマンド一覧]

LANでネットワークに接続する

ケーブルテレビ、ADSL、光ファイバーなどを利用してインターネット接続を行う場合には、LAN を使用します。ここでは、接続サービス会社（プロバイダー）に申し込んで回線工事などが終わった後、必要となる設定について説明します。
また、家庭や会社にある複数のコンピューターや周辺機器などをネットワークで結ぶと、複数のコンピューター間でファイルやプリンターなどを共有することができます。

接続する

お願い

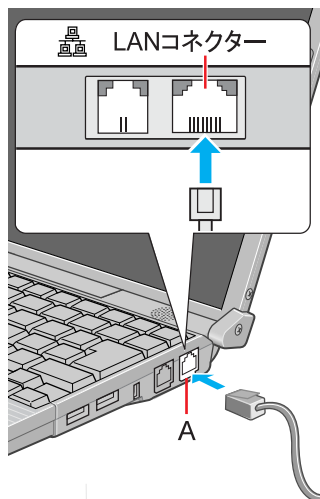
- LANコネクターにモジュラーケーブルを接続しないでください。
- ネットワークを正常に動作させるために100 m未満でカテゴリー 5以上のツイストペアケーブルを使用してください。
- コネクター部分にカバーが付いているLANケーブルは、接続できない場合があります。事前にご確認ください。

1 コンピューターの電源を切る。

(⇒『取扱説明書』「電源を入れる／切る」)

- スタンバイ・休止状態のとき、取り付け／取り外しを行わないでください。

2 ケーブルを接続する。

市販のLANケーブルで本機のLANコネクター（A）とネットワークシステム（サーバー、ハブ、ADSLモデム、ブロードバンドルーターなど）を接続します。

3 コンピューターの電源を入れる。

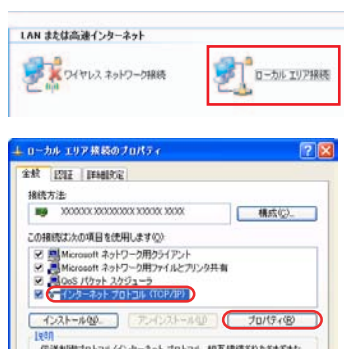
4 プロトコル等の各種設定を行う。

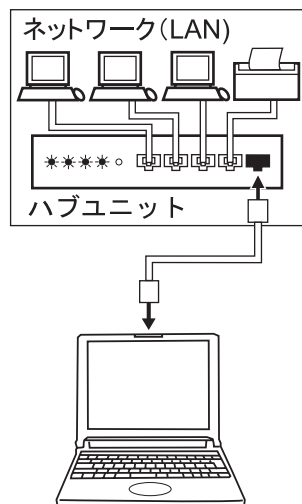
接続サービス会社（プロバイダー）または、会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

① [スタート] - [接続] - [すべての接続の表示]をクリックする。

② [ローカルエリア接続]をダブルクリックする。

③ [インターネットプロトコル（TCP/IP）]をクリックして、[プロパティ]をクリックする。

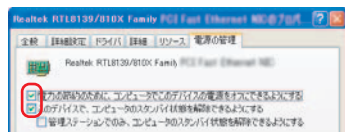
④ 接続サービス会社（プロバイダー）またはネットワーク担当のシステム管理者の指示に従って設定し、[OK]をクリックする。

お願い

- LAN Wake Up機能を使用せずにネットワーク機能をお使いになる場合は、スタンバイ・休止状態機能を使用しないでください。データが正しく送受信できないことがあります。データの転送中などでも[システムスタンバイ]や[システム休止状態]が働き、自動的にスタンバイまたは休止状態に入ることがありますので、LAN Wake Up機能を使用しないときは、下記の項目で各機能を[なし]に設定しておくことをおすすめします。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定]
- ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

お知らせ

- **ハブユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワーク機能が使えない場合：**
  ① [**デバイスマネージャ**]**画面を表示する。**
  [**スタート**] - [**コントロールパネル**] - [**パフォーマンスとメンテナンス**] - [**システム**] - [**ハードウェア**] - [**デバイスマネージャ**]**をクリックする。**
  ② [**ネットワークアダプタ**]**をダブルクリックして、お使いのネットワークアダプターをダブルクリックする。**
  ③ [**詳細設定**]**をクリックする。**
  ④ [**プロパティ**]**の**[Link Speed/Duplex Mode]**をクリックして、**[**値**]**をお使いのネットワーク環境にあった通信速度に設定する。**
  ⑤ [OK]**をクリックし、「デバイスマネージャ」画面で右上の**×**をクリックして閉じる。**

LAN Wake Up機能

内蔵 LAN の LAN Wake Up 機能により、ネットワーク上のコンピューターを使ってスタンバイ・休止状態からリジュームすることができます。

LAN Wake Up機能を有効にする

① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。

② [ネットワークアダプタ]をダブルクリックして、内蔵のネットワークアダプターをダブルクリックする。

③ [電源の管理]をクリックし、[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]および[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックし、「デバイスマネージャ」画面で右上の❎をクリックして閉じる。

お願い

- 必ずACアダプターを接続して電力の供給が可能な状態にしてください。

お知らせ

- セットアップユーティリティでパスワードを設定して[起動時のパスワード]を[有効]に設定している場合でも、スタンバイ・休止状態からリジュームする際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は必要ありません。
- LAN Wake Up機能は、以下の場合は動作しません。
  - Windowsの終了画面から電源を切った場合
  - 電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った場合（コンピューターがハングアップしたときなど）
  - ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直した場合
- スタンバイ状態からリジュームした後は、画面は消えたままです。キーボードまたはホイールパッドを操作すると元の画面が表示されます。

- **ネットワーク上の意図しないコンピューターからアクセスがあると起動する場合があります。**
  次の手順で、意図しないコンピューターからのアクセスによる起動を防ぐことができます。
  ① [**スタート**] - [**コントロールパネル**] - [**パフォーマンスとメンテナンス**] - [**システム**] - [**ハードウェア**] - [**デバイスマネージャ**]**をクリックする。**
  ② [**ネットワークアダプタ**]**をダブルクリックし、内蔵のネットワークアダプターをダブルクリックして、**[**電源の管理**]**をクリックする。**
  ③ [**管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする**]**をクリックしてチェックマークを付け、**[OK]**をクリックし、「デバイスマネージャ」画面で右上の**☒**をクリックして閉じる。**

無線LANで通信する

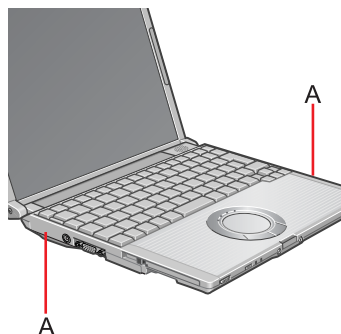
無線 LAN を使うと、ケーブル配線の心配なくネットワークが利用できます。たとえば、無線 LAN アクセスポイントまたは無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（以降、無線 LAN アクセスポイントと表記）を設置している部屋から離れた場所でも、本機でホームページの閲覧や、メールのチェックができます。また、無線 LAN 内蔵のコンピューターどうしでデータのやりとりを行ったり（➔ 141 ページ）、プリンターを共用したりできます。

- 通信モードの種類
  - インフラストラクチャ通信モード
    無線 LAN アクセスポイントを使って無線 LAN 機能を持った 2 台以上のコンピューターでデータのやりとりを行うモード。無線 LAN アクセスポイントを通じてインターネットに接続する場合は、この通信モードを使用します。
  - ad hoc 通信モード
    無線 LAN 機能を持った 2 台のコンピューターが、無線 LAN アクセスポイントを使わずに直接データのやりとりを行うモード。
- 本機では、IEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11g の 3 種類の規格に対応しています。
  - IEEE802.11a：5 GHz 帯の電波を使用している高速無線 LAN 規格。
  - IEEE802.11b：2.4 GHz 帯の電波を使用している無線 LAN 規格。
  - IEEE802.11g：802.11b の拡張タイプで、互換性や安定性が高い規格。

お願い

- 無線LAN用アンテナ（A）を経由して通信が行われます。
  アンテナ部を手でふさぐなど、電波の妨げになるようなことはしないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能は使用しないでください。この機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線LANが使えなくなる場合があります。

お知らせ

- 通信速度や通信距離は、無線LAN対応機器や設置する環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が長くなるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。無線LAN対応の機器どうしは近い距離で使用することをおすすめします。
- 電子レンジなどを使用中に、通信速度が低下する場合があります。
- IEEE802.11gとIEEE802.11bが混在する環境で使用した場合、IEEE802.11gでの通信速度が低下する場合があります。

使用上のお願い

◆航空機内や病院内、その他の場所で無線LANの電源を切る必要がある場合

- あらかじめ無線 LAN 切り替えスイッチ（A）を左（OFF 側）にスライドしてください。また、無線 LAN 機能を使わないときは、無線 LAN 切り替えスイッチをオフにして、電源を切っておくことをおすすめします。無線 LAN の電源が入っていると、バッテリーでの駆動時間が短くなります。

◆屋外で使用できない無線LANの規格

- IEEE802.11a（5 GHz の無線 LAN）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。（➔ 125 ページ）

◆無線LANによるデータの盗聴やハードディスク内への侵入を防止するために

- 無線 LAN 機能をお使いの場合、ネットワークを経由して、ハードディスク内のデータを盗聴されたり、共有しているファイルなどにアクセスされるおそれがあります。
無線 LAN 機能をお使いになる際は、セキュリティに関する設定を行ってからお使いいただくことをおすすめします。（➔ 136 ページ）

無線LANの電源を入れる／切る

無線 LAN 切り替えスイッチ（A）をスライドし、無線 LAN の電源のオン／オフを切り替えます。

- 電源を入れるときは、右（ON 側）にスライドします。画面右下のタスクトレイの「無線 LAN アイコン」が になります。
- 電源を切るときは、左（OFF 側）にスライドします。画面右下のタスクトレイの「無線 LAN アイコン」が になります。

お知らせ

- 無線LANをお使いになる前に、無線LANの電源を入れてください。
- 無線LAN切り替えスイッチを操作してから、「ワイヤレスネットワーク接続」画面の表示が更新されるまで、多少時間がかかる場合があります。

無線LANの規格IEEE802.11a（802.11a）の有効／無効を切り替える

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（5 GHz の無線 LAN）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN 切り替えスイッチがオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。

1 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

制限ユーザーでは、802.11aの有効／無効を切り替えることができません。

2 画面右下のタスクトレイの「無線LANアイコン」 または をクリックする。

✔ 802.11a 有効(E)
802.11a 無効(D)
バージョン情報(V)
終了(X)

3

802.11aを無効にする場合：
- [802.11a 無効] をクリックする。

802.11aを有効にする場合：
- [802.11a 有効] をクリックする。

- 802.11a を有効または無効に設定しても、「無線 LAN アイコン」 または は変わりません。
- 802.11b/g の無線 LAN アクセスポイントに接続中、802.11a の有効／無効を切り替えると、無線 LAN アクセスポイントとの接続が一時的に切断されます。

お知らせ

- 「デバイスマネージャ」やセットアップユーティリティで無線LANを無効にしている場合や、「ネットセレクター」（➔ 147ページ）でLANを選択している場合は、 および は表示されません。
- 「デバイスマネージャ」で802.11b/gの設定を変えている場合、タスクトレイの「無線LANアイコン」で802.11aの有効／無効を切り替えると、以下の規格での通信が可能になります。

デバイスマネージャでの設定	「無線 LAN アイコン」での設定	
	802.11a が有効のとき	802.11a が無効のとき
[802.11a、802.11b、802.11g] または [802.11b および 802.11g]	a+b+g が有効	b+g が有効
[802.11g のみ] または [802.11a および 802.11g]	a+g が有効	g が有効
[802.11a のみ] または [802.11b のみ]	a が有効	b が有効

- 「デバイスマネージャ」で802.11b/gの設定を変える場合：
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。

② [ネットワークアダプタ]をダブルクリックして、[Intel(R) PRO/Wireless...]をダブルクリックする。

③ [詳細設定]をクリックし、[プロパティ]の中の[ワイヤレスモード]をクリックする。

④ [デフォルト値使用]のチェックマークを外し、設定内容を選ぶ。([802.11aおよび802.11g]など)

⑤ [OK]をクリックする。

- 802.11aを有効に設定していても、無線LAN切り替えスイッチをオフにしているときは、802.11aは使用できません。
- 画面右下のタスクトレイの または 上にカーソルを移動させると、吹き出し文字で現在の無線LANと802.11aの状態が表示されます。

無線LANを使うまでの大きな流れ

コンピューター 1 台を初めて無線 LAN アクセスポイントに接続する場合の流れです。無線 LAN アクセスポイントにセキュリティなどの設定をすでに行っている場合や複数のコンピューターを接続する場合は手順が異なります。お使いの無線 LAN アクセスポイントの説明書をご覧になり、接続してください。

Step1　準備 • 必要な機器を準備する • 無線 LAN のセキュリティについて検討する	➔ 129 ページ

Step2　無線 LAN アクセスポイントの接続	無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

↓

Step3　本機のネットワークの設定 • 無線 LAN を有効にする • Windows で無線 LAN を設定する	➔ 132 ページ

↓

Step4　無線 LAN アクセスポイントの設定	無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

↓

Step5　セキュリティの設定 • 無線 LAN アクセスポイントに暗号化を設定する • 本機に暗号化を設定する	➔ 136 ページ

Step1　準備

◆必要な機器を準備する

- 無線 LAN アクセスポイント
  推奨品：株式会社バッファロー製　品番：WHR3-AG54

- ADSL モデムや専用モデムなど、回線に接続するための機器（➔　102 ページ）

◆無線LANのセキュリティについて検討する

- 無線 LAN は配線の手間がいらない反面、電波が届く範囲内であれば通信内容を傍受、あるいはネットワークに侵入されるおそれがあります。無線 LAN には有線 LAN 以上にセキュリティ対策が必要です。セキュリティ機能には第三者が簡単に盗聴・侵入できないようにする効果があります。
  無線 LAN 機能をお使いになる際は、セキュリティに関する設定を行ってお使いいただくことをおすすめします。（➔　136 ページ）
  セキュリティ機能については用語集（➔　234 ページ）の中でも紹介しています。

- 無線 LAN で使われるセキュリティ機能
  - WEP
  - TKIP*1
  - AES*1
  - MAC アドレスフィルタリング
  - ESS-ID（SSID）のステルス機能 *1
  - ANY 接続拒否機能 *1
  - WPA*1

*1　無線 LAN アクセスポイントの種類によっては、設定できない場合があります。

◆本機のMACアドレスについて

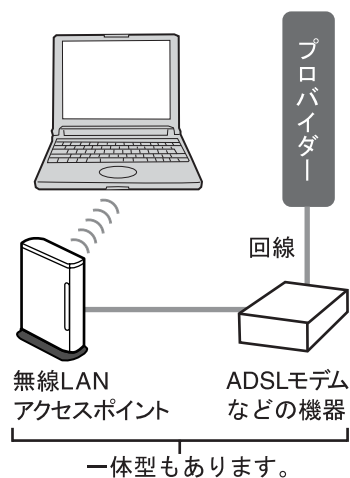
- 無線 LAN アクセスポイントの機種や設定によっては、あらかじめ本機の MAC アドレスを登録しておかないとアクセスを受け付けない場合があります。
  この場合は、次の手順で本機の MAC アドレスを確認し、無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書に従ってアクセスを受け付けるように登録してください。
  - MAC アドレスの確認方法

    ①「コマンドプロンプト」画面を表示する。
    [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]をクリックする。

    ②「ipconfig /all」と入力し【Enter】を押す。
    ワイヤレスネットワーク接続側の「Physical Address」と表示された行の12桁の英数字がMACアドレスです。

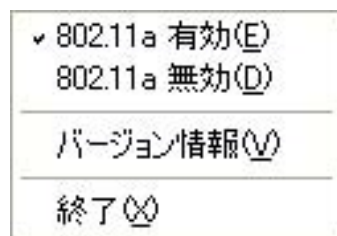
    ③ MACアドレスをメモしてから、「exit」と入力し、【Enter】を押す。

準備が終わったら、「*Step2*　無線 LAN アクセスポイントの接続」を行ってください。

Step2　無線LANアクセスポイントの接続

無線 LAN アクセスポイントと ADSL モデムなどの機器を接続します。無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

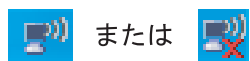
接続が終わったら、「*Step3*　本機のネットワークの設定」を行ってください。

Step3　本機のネットワークの設定

✓ 802.11a 有効(E)
802.11a 無効(D)
バージョン情報(V)
終了(X)

1 無線LAN切り替えスイッチ（A）を右（ON側）にスライドする。

- 802.11a を使う場合は、画面右下のタスクトレイの「無線 LAN アイコン」 または をクリックし、[802.11a 有効] をクリックする。

 および が表示されていない場合：
下記の設定を確認してください。

- [ワイヤレスネットワーク接続]が[無効にする]に設定されている場合があります。下記の手順で、[有効にする] に設定してください。
  ① [スタート] - [接続] - [すべての接続の表示]をクリックする。
  ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、[有効にする]をクリックする。
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの [無線 LAN] が [無効] に設定されている場合があります。下記の手順で、[有効] に設定してください。
  ① Windowsを終了し、コンピューターを再起動する。
  ② コンピューターの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押す。
  パスワードを設定している場合は「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
  ③「詳細」メニューで[無線LAN]を選んで【Enter】を押し、表示されたメニューから[有効]を選んで【Enter】を押す。
  ④【F10】を押し、確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、【Enter】を押す。
  セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。
  手順**2**から始めてください。

2 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」または をクリックする。

● をクリックして[ワイヤレスネットワーク接続の状態]画面が表示された場合は、[ワイヤレスネットワークの表示] をクリックしてください。

3 無線LANアクセスポイントに接続する。

① [ワイヤレスネットワークの選択]から接続する無線LANアクセスポイントをクリックする。

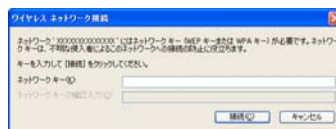
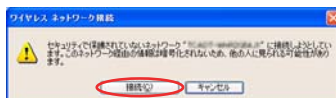
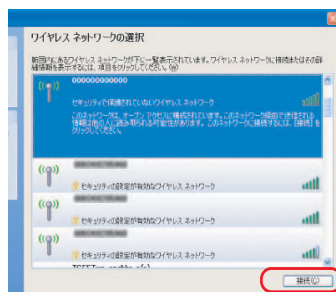
● 推奨の無線 LAN アクセスポイント（品番：WHR3-AG54）をお使いの場合初期設定では無線 LAN アクセスポイント名が、無線 LAN アクセスポイントの LAN MAC アドレス（12 文字）で表示されます。無線 LAN アクセスポイント底面の ESS-ID （SSID）初期値 LAN MAC アドレスに記載されている番号（例えば、000740 や 000D0B で始まる 12 文字）をクリックしてください。

● 接続する無線 LAN アクセスポイント名が表示されない場合
[ネットワークの一覧を最新の情報に更新] をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、「無線 LAN の Q&A」（➔ 215 ページ）をご覧ください。

② [接続]をクリックする。

● 「セキュリティで保護されていない ....」と表示された場合は、[接続] をクリックします。無線 LAN アクセスポイントによっては表示されない場合もあります。

● すでに暗号化が設定されている無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、ネットワークキーの入力画面が表示されます。ネットワークキーを入力して [接続] をクリックしてください。

● 接続できると、選択した無線 LAN アクセスポイントの枠の右上に「接続☆」と表示されます。

お知らせ

- が表示されているときは、接続中です。そのまましばらくお待ちください。
  の表示が長く続く場合は、「無線LANのQ&A」(➔ 218ページ) をご覧ください。

Step3 の設定はこれで完了です。「*Step4*　無線 LAN アクセスポイントの設定」を行ってください。

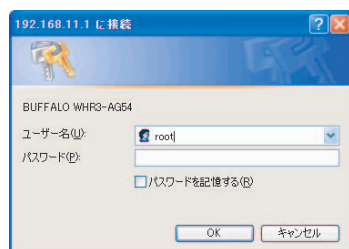
Step4　無線LANアクセスポイントの設定

使用する無線 LAN アクセスポイントによって異なります。無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

◆推奨無線LANアクセスポイント（品番：WHR3-AG54）の場合

1　デスクトップの をダブルクリックし、Internet Explorerを起動する。

2　アドレスに、無線LANアクセスポイントのLAN側IPアドレスを入力し、【Enter】を押す。

LAN側IPアドレスは、無線LANアクセスポイントに付属の説明書に記載されていますのでそちらをご覧ください。（LAN側IPアドレスは、「192.168.11.1」のような数字の組み合わせです。）

3　無線LANアクセスポイントの接続画面でユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

- 初期設定時は「root」と入力し、パスワードは空欄にします。

4　設定画面が表示されますので、画面に従って設定する。

- 無線 LAN の規格（無線チャンネルのモード）を切り替える場合（2005 年 3 月 1 日現在）

① [無線チャンネル設定]欄から[802.11aモード]または[802.11gモード]（802.11b/gモード）をクリックして選択する。

② [設定]をクリックする。

- ADSL で接続する場合の一例（2005 年 3 月 1 日現在）

① 「TOP」ページ（回線を選ぶ画面）で、[ADSL]をクリックする。

② ADSL会社を選ぶ画面で、お使いの接続会社をクリックする。

③ 必要に応じてプロバイダーから提供される接続ユーザー名や接続パスワードを入力する。
   - プロバイダーによっては、サービス名や DNS サーバーアドレスの入力が必要となる場合があります。
   - 画面に従って [進む] をクリックしていくと、接続成功の画面が表示されます。この画面を表示したまま *Step5* に進んでください。

Step4 の設定はこれで完了です。「*Step5*　セキュリティの設定」を行ってください。

Step5　セキュリティの設定

セキュリティのために、データの暗号化（WEP ／ TKIP ／ AES）を設定しておくことをおすすめします。
無線 LAN アクセスポイントの暗号化を設定した場合、コンピューター側も同じ暗号化を設定する必要があります。
暗号化の設定は、後で変更することもできます。無線 LAN アクセスポイントの暗号化の設定を変更した場合は、必ずコンピューター側も同じ設定になるように変更してください。

無線LANアクセスポイントに暗号化を設定する

設定方法は、無線 LAN アクセスポイントによって異なります。無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

◆推奨無線LANアクセスポイント（品番：WHR3-AG54）の場合

1 「*Step4*　無線LANアクセスポイントの設定」の手順4が完了した後、接続確認の画面で[機能設定][*1]をクリックし、暗号化を設定する。

*1 [機能設定] は予告なしに変更になる場合があります。

① [無線の信号を暗号化する（WEP/TKIP/AES）]をクリックする。
② 暗号化の種類を[WEP]、[TKIP]、[AES]の中から選んでクリックし、[進む]をクリックする。
③ 画面に従って無線の信号を暗号化し、設定が完了したら[設定完了]をクリックする。

2 コンピューターに暗号化を設定する。

次の「本機に暗号化を設定する」をご覧ください。

お知らせ

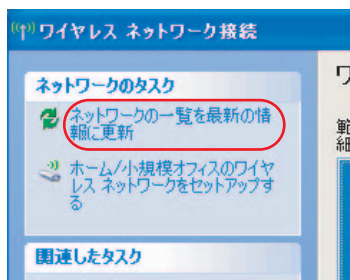
- 設定するESS-ID（SSID）やWEPなどは、本機に暗号化を設定するときにも使用しますので、必ずメモをとってください。また、設定内容は、第三者に見られたりしないよう大切に保管してください。

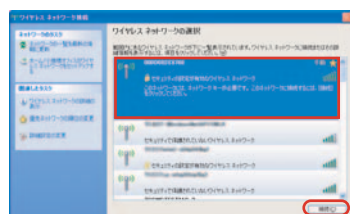
本機に暗号化を設定する

お知らせ

- 基本的な暗号化の設定は、「◆基本的な暗号化の設定」をご覧ください。（下記）
- 設定についての詳細は、「◆さらに暗号化の設定を変えたいとき」をご覧ください。（➔ 138ページ）

◆基本的な暗号化の設定

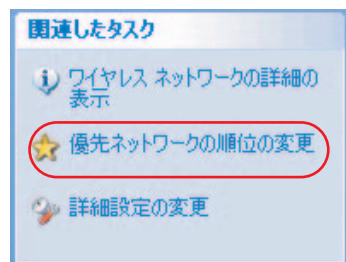
1 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」またはを右クリックして、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする。

2 「ネットワークのタスク」の[ネットワークの一覧を最新の情報に更新]をクリックする。

- 無線 LAN アクセスポイント側の設定が完了するまで、しばらく時間がかかる場合があります。しばらくしても表示されないときは再度 [ネットワークの一覧を最新の情報に更新] をクリックしてください。

3 ☆印の付いている無線LANアクセスポイントをクリックし、[接続]をクリックする。

- 無線 LAN アクセスポイントの欄に、[セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク] と表示されていることを確認してください。

4 ネットワークキーの入力画面で無線LANアクセスポイントに設定したネットワークキーを入力して、[接続]をクリックする。

暗号化が設定されました。

◆さらに暗号化の設定を変えたいとき

1 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」またはを右クリックして、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする。

2 [ワイヤレスネットワーク接続]の「関連したタスク」から[優先ネットワークの順位の変更]をクリックする。

3 [優先ネットワーク]から無線LANアクセスポイントのネットワーク名をクリックし、[プロパティ]をクリックする。

4 **無線LANアクセスポイントに設定した内容に従って暗号化などを設定する。**

A. **[ネットワーク認証]**
[オープンシステム]、[共有キー]、[WPA]、[WPA-PSK]から、無線LANアクセスポイントに設定されている認証を選択します。

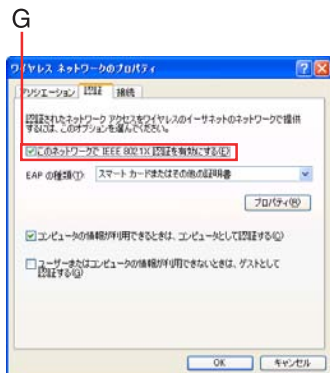
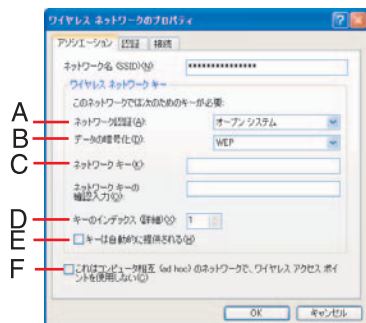
B. **[データの暗号化]**
[無効]、[WEP]、[TKIP]、[AES]から、無線LANアクセスポイントに設定されている暗号化を設定します。

C. **[ネットワークキー]**
無線LANアクセスポイントに設定されているネットワークキーを入力します。グレー表示となり入力できない場合は、[キーは自動的に提供される]のチェックマークをクリックして外してください。
- **[データの暗号化] が WEP の場合：**
  文字入力（5 文字または 13 文字）か 16 進数（10 桁または 26 桁）
- **[データの暗号化] が TKIP ／ AES の場合：**
  文字入力（8 文字から 63 文字）か 16 進数（64 桁）

D. **[キーのインデックス]（データの暗号化が[WEP]に設定されているときのみ設定）**
無線LANアクセスポイントに設定されているインデックスを1～ 4の範囲で指定します。（通常は1を指定します。）グレー表示となり入力できない場合は、[キーは自動的に提供される]をクリックしてチェックマークを外してください。

E. **[キーは自動的に提供される]**
ネットワークキーが提供される環境の場合、クリックしてチェックマークを付けます。
推奨無線LANアクセスポイント（品番：WHR3-AG54）の場合は、チェックマークを外します。

F. **[これはコンピュータ相互（ad hoc）のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない]**
コンピューターどうしで接続する場合、クリックしてチェックマークを付けます。

G. **[このネットワークでIEEE 802.1X認証を有効にする]**
IEEE 802.1X規格の認証システムを採用されている無線LANアクセスポイントで、IEEE 802.1X規格の認証システムを設定した場合は、クリックしてチェックマークを付けます。

IEEE 802.1X規格の認証システムを採用していない無線LANアクセスポイントの場合、チェックマークを付けると、無線LANアクセスポイントに正しく接続できないことがあります。
使用する無線LANアクセスポイントの仕様をよくお確かめください。

H. [このネットワークが範囲内にあるとき接続する]
このネットワークが検出されたとき、常に自動的に接続する場合、クリックしてチェックマークを付けます。

5 [OK]をクリックする。

無線 LAN の設定はこれで完了です。

インターネットに接続する

無線 LAN を使って、無線 LAN アクセスポイント経由でインターネットに接続するように設定します。

1 「インターネットオプション」画面を表示する。
[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [インターネットオプション]をクリックする。

2 [接続]をクリックして、[ダイヤルしない]をクリックする。
[ダイヤルしない]がグレー表示になっているときは、次の手順に進みます。

3 [LANの設定]をクリックし、プロバイダーなどの指示に従って設定して、[OK]をクリックする。

4 [OK]をクリックする。

5 デスクトップの Internet Explorer をダブルクリックして、インターネットに接続する。

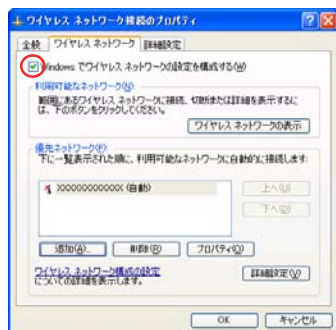
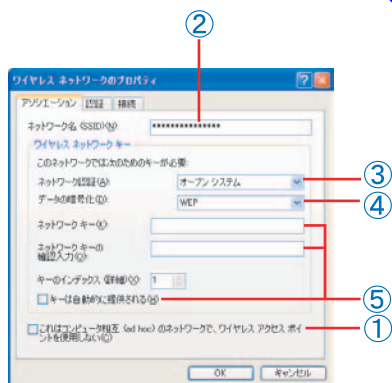
無線LAN対応のコンピューター間でデータをやりとりする

無線 LAN アクセスポイントを経由しないでコンピューターどうしで無線 LAN を使って通信をするときは、それぞれのコンピューターで以下の設定を行ってください。

- IP アドレスとサブネットマスクの設定
- アクセスするネットワークを [コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ] に設定
- ネットワーク名を同じ名前に設定
- ネットワークの認証と同じ認証に設定
- 暗号化する場合は、同じ暗号化、同じネットワークキーを設定

1 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」または を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。

2 [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックして選び、[ワイヤレスネットワーク]をクリックする。

3 [Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する]にチェックマークが付いていることを確認し、[追加]をクリックする。

4 **必要に応じて設定する。**

① [これはコンピュータ相互（ad hoc）のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない]をクリックしてチェックマークを付ける。

② 同じネットワーク名を入力する。

③ 同じネットワーク認証を選ぶ。（オープンシステムのみサポート）

④ [データの暗号化]で、同じ暗号化を選ぶ。（暗号化はWEPのみサポート）

⑤ [キーは自動的に提供される]をクリックしてチェックマークを外し、同じネットワークキーを入力して、ネットワークキーの確認入力を行う。

- ネットワークキー：
  文字入力（5 文字または 13 文字）か 16 進数（10 桁または 26 桁）

5 [OK]をクリックする。

無線LAN の状態を確認する

◆無線LANの電源のオン／オフを確認する

- 無線 LAN 切り替えスイッチ（A）で確認できます。

  無線 LAN 切り替えスイッチに連動して「無線 LAN アイコン」は、（オン時）／（オフ時）に切り替わります。

◆IEEE802.11aの有効／無効を確認する

- 画面右下のタスクトレイの「無線 LAN アイコン」または をクリックし、有効／無効を確認できます。
- 「デバイスマネージャ」で設定を変更している場合は、通信可能な規格も変わります。（➔ 126 ページ）

お知らせ

- 「デバイスマネージャ」やセットアップユーティリティで無線LANを無効にしている場合や、「ネットセレクター」（➔ 147ページ）でLANを選択している場合は、 および は表示されません。

◆通信の状態を確認する

本機で無線 LAN アクセスポイントに接続できるか、通信の状態を確認します。
無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書に従って、次の操作をしてください。

- 無線 LAN アクセスポイントを設定してください。
- 無線 LAN アクセスポイントの電源を入れてください。

↓

- 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」 をクリックして確認します。

FREESPOTで使う

FREESPOT とは、無線 LAN でインターネットにアクセスできる環境を開放し、誰でもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです。
FREESPOT を利用するためには、無線 LAN の設定を FREESPOT 用に設定する必要があります。本機では、FREESPOT を簡単に利用できるようあらかじめ FREESPOT 用の設定が登録されています。
FREESPOT の設定場所や設定方法については、http://www.freespot.net/ をご覧ください。

お願い

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の[ワイヤレスネットワーク]の[プロパティ]では、[キーは自動的に提供される]のチェックマークを外し、[データの暗号化]、[ネットワーク認証]は設定しないでください。
- 屋外でFREESPOTを利用する場合は、802.11aを無効に設定してください。(➔ 125 ページ)

1 FREESPOTの設定を選択する。

① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」 または を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。
② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックして選び、[ワイヤレスネットワーク]をクリックする。
③ [Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する]をクリックしてチェックマークを付ける。
④ [ワイヤレスネットワークの表示]をクリックし、[ワイヤレスネットワークの選択]の中から[FREESPOT]をクリックする。
⑤ [接続]をクリックする。

2 画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」を右クリックしてネットセレクターのメニューを表示させ、[FREESPOT]をクリックする。

お知らせ

- [FREESPOT]をクリックすると、自動的にWindowsファイアウォールが有効になります。

プロジェクターとワイヤレス接続する

パナソニック液晶プロジェクター TH-LB10NT/TH-LB20NT とワイヤレス接続して使う場合、プロジェクターに付属の CD-ROM を使わずに、ワイヤレス投写用アプリケーションソフト Wireless Manager mobile edition 2.0 を使うことができます。
Wireless Manager mobile edition 2.0 は、無線 LAN でコンピューターからプロジェクターに画面を送るためのアプリケーションソフトです。

- アプリケーションソフトの使いかたについては「オンラインマニュアルの見かた」(➔ 146 ページ) の手順で、本機のハードディスクにインストールされている Wireless Manager mobile edition 2.0 のオンラインマニュアルをご覧ください。

◆起動のしかた

1 プロジェクターの電源を入れる。

2 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

3 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic Wireless Display] - [Wireless Manager mobile edition 2.0]をクリックする。

4 「Windowsセキュリティの重要な警告」画面で[ブロックを解除する]をクリックする。

5 接続するプロジェクターを選んで[OK]をクリックする。
表示された画面から、使用したい機能を選択してください。

◆オンラインマニュアルの見かた

1 [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックする。

2 「c:\util\wlprjct\jpn_network.pdf」と入力して、[OK]をクリックする。
あわせて「c:\util\wlprjct\hosoku.pdf」(補足説明)もご覧ください。

◆ワイヤレスプロジェクターサポートセンター

パナソニック液晶プロジェクターおよび Wireless Manager mobile edition に関するお問い合わせは下記 E-mail アドレスをご利用ください。

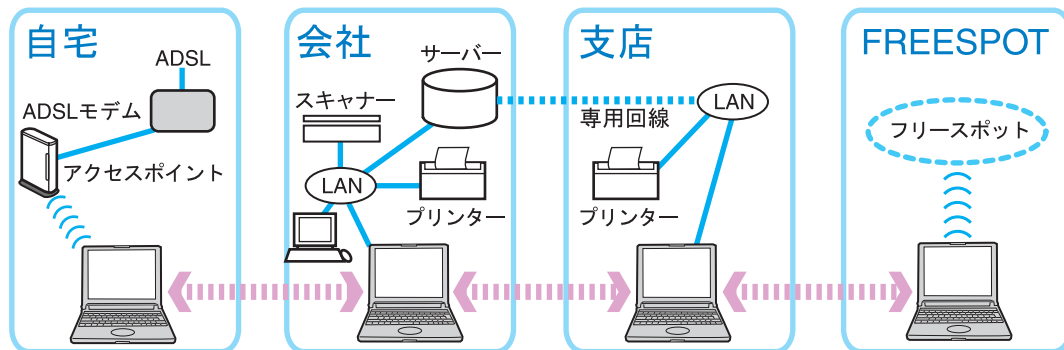
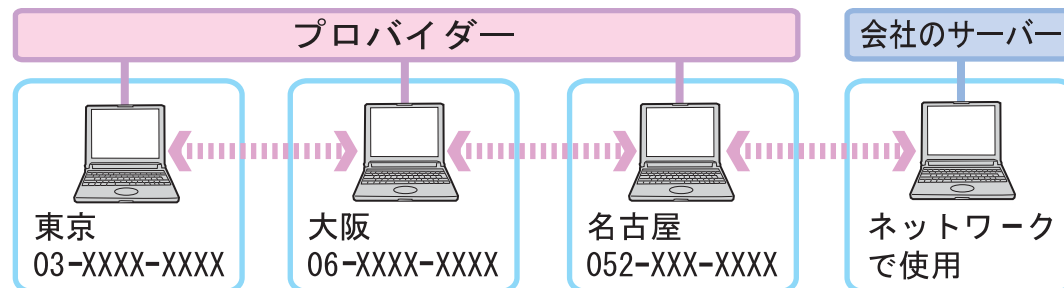
ワイヤレスプロジェクターサポートセンター
projector.support@ml.jp.panasonic.com

2005 年 3 月 1 日現在

いろいろな場所でネットワークに接続

自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合、本機にインストールされているネットセレクターが便利です。

◆ネットセレクターはこんなときに使う

- **ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える**
  例えば、自宅では ADSL、会社では LAN、出張先では別の LAN を使っている場合でも、ネットワークの設定（ネットワークプリンターを含む）を簡単に切り替えられます。

- **プロバイダーやアクセスポイントなどの接続先を頻繁に切り替える**
  例えば、プロバイダーは 1 つだが、出張が多くてその都度アクセスポイントを選択する場合でも、簡単にアクセスポイントの選択ができます。

◆ネットセレクターでできること

ダイヤルアップ	● ダイヤルアップ登録したインターネット接続設定などがネットセレクターの画面から使えます。
ネットワーク設定	● 会社などで使われているネットワークの設定を9件まで登録することができます。 • 現在使用中の設定内容をそのまま登録することができます。 • 通常使うプリンターに設定されているプリンターも、そのまま登録することができます。 ● ネットセレクターの画面からネットワークの設定や登録もできます。
接続方法	● LAN、無線 LAN、LAN ＋無線 LAN の 3 種類から選ぶことができます。

ネットワークへの接続方法や接続先を切り替える

あらかじめ、モデム、LAN または無線 LAN など、ネットワークに接続できる設定にしておいてください。

- モデム：➔ 113 ページ
- LAN：➔ 118 ページ
- 無線 LAN：➔ 123 ページ
- 通常使うプリンター：⇒『Windows ヘルプ』

1 ネットセレクターを表示する。

画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」をクリックします。

- ネットワーク関係の情報を収集するのに時間がかかり、ネットセレクターの起動が遅くなることがあります。
- コンピューターを起動した後、はじめてネットセレクターを起動した場合は、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。2 回目以降は、前回使用していた画面（[接続方法] または [ネットワーク設定]）が表示されます。

「ネットワーク設定」画面

「接続方法」画面

2 [接続方法]または[ネットワーク設定]をクリックする。

- クリックすると画面が切り替わります。
- 左の画面は、ネットワークの接続設定をネットセレクターに登録した後の画面（一例）です。登録していない場合、A の項目と [FREESPOT] のみ表示されます。接続設定の登録方法は、「ネットワークへの接続設定を登録する」（➔ 154 ページ）をご覧ください。
- 接続アイテムについて

A　有線LAN／無線LANを有効にします。
　　クリックすると、背景が青色で表示されます。

をクリックすると、有線LANのみが有効になります。

をクリックすると、無線LANのみが有効になります。

をクリックすると、有線LANと無線LANの両方が有効になります。

B　接続を切り替えます。
　　接続できるアイテムをクリックすると、背景がオレンジ色で表示されます。

をクリックすると、FREESPOTへ接続します。（➔ 144ページ）

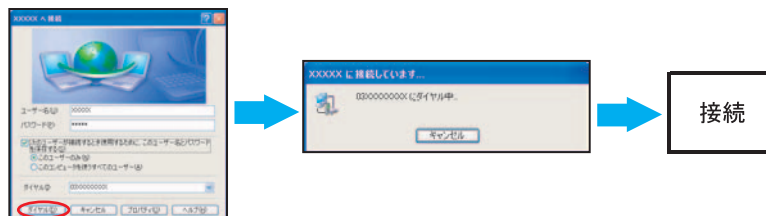
をダブルクリックすると、ネットセレクターに登録されている接続方法が切り替わります。

3 接続アイテム（C）をクリックし、 をクリックする。

接続（または切り替え）が始まります。

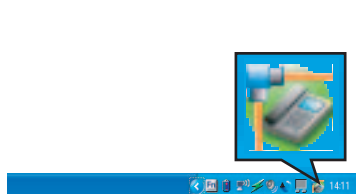
- 接続できるアイテムをクリックした場合は、背景がオレンジ色で表示されます。（指定されたネットワークの接続方法が有効になります。）
  接続できないアイテムを選択した場合は、背景が青色で表示されます。
- 接続アイテムをダブルクリックしても、接続（または切り替え）を始めることができます。

いろいろな場所でネットワークに接続

- ダイヤルアップ接続の場合
  - [ダイヤル]（または [接続]）をクリックすると接続中の画面が表示された後、接続されます。

  - ADSL でダイヤルアップする場合は、ダイヤルアップ時に使用する有線 LAN または無線 LAN をあらかじめ有効にしておく必要があります。「接続方法」画面で、有効にする接続（[LAN]、[無線 LAN]、[LAN+ 無線 LAN] のいずれか）をクリックしてから、ダイヤルアップの接続アイテム（電話機のアイテム）をクリックしてください。
- ネットワーク接続の場合
  「ネットワーク設定を更新しています…」が表示された後、接続されます。
- 以降、Internet Explorer や Outlook Express で通信を行う場合、ここで選択した接続アイテムを使って接続されます。

4 インターネットやメール、ネットワークなどを利用する。

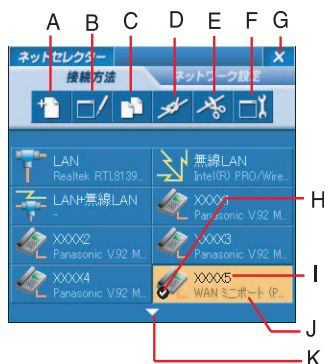
- ダイヤルアップ接続を切断するときは

① 画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」をクリックする。

② 「接続方法」画面のメニューボタンからをクリックする。

お知らせ

- 全機能を利用できるのは、Internet Explorer 5.5/6.0、Outlook Express 5.5/6.0に限ります。
- Internet ExplorerやOutlook Expressでダイヤルアップ接続の既定値を変更した場合は、その設定が有効になります。
- ネットセレクターのウィンドウサイズを変更することはできません。
- Outlook Expressの[ツール] - [アカウント] - [メール] - [プロパティ]をクリックし、[接続]の[このアカウントには次の接続を使用する]にチェックマークを付けている場合は、その接続が有効になります。
- コンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合
  - 「ネットワーク設定」画面は表示されません。
  - 「接続方法」画面の場合：
    - [LAN] と [無線 LAN] を統一して [LAN] と表示されます。[LAN] と [無線 LAN] を切り替えることはできません。また、LAN のデバイス名は表示されません。
    - ドメインの設定を行っていない場合、ダイヤルアップ接続の既定の接続アイテムを切り替えることはできません。

画面各部の名称と機能

接続方法画面

（左の画面は、登録済み画面の一例です。）

◆接続方法画面

A. [新しい接続]：新しいダイヤルアップネットワークを作成します。
コンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合、この機能は使用できません。

B. [接続のプロパティ]：選択している接続アイテムのプロパティを表示します。

C. [接続のコピー]：接続アイテムをコピーします。

D. [ダイヤルアップを接続する]：選択した接続アイテムによる接続開始画面を表示します。（ダイヤルアップの接続アイテムをダブルクリックしても接続開始画面を表示することができます。）

E. [ダイヤルアップをすべて切断する]：すべてのダイヤルアップ接続を切断します。

F. [ネットワーク接続ウィンドウを開く]：ネットワーク接続画面を表示します。

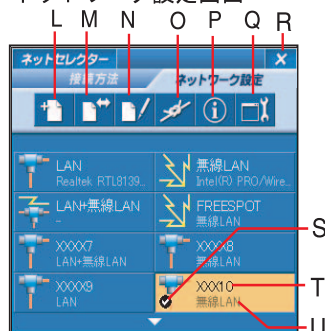
G. [閉じる]：ネットセレクター画面を閉じます。

H. 現在規定の接続に設定されている接続アイテムにこのマークが付きます。

I. ダイヤルアップ名を表示します。

J. モデム名を表示します。（内蔵モデムまたは外付けのモデム）

K. 登録されている接続アイテムが8個を超える場合に表示されます。
▼を選ぶと次の画面が表示され、▲が表示されます。
▲を選ぶと前の画面が表示されます。

ネットワーク設定画面

◆ネットワーク設定画面

コンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合、ネットワーク設定画面は表示されません。

L. [ネットワーク設定を登録する]：新しいネットワーク設定を登録します。

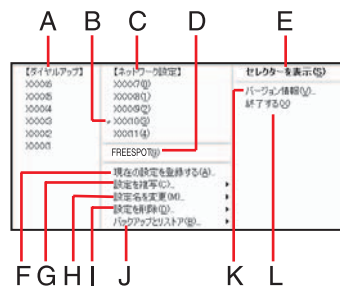
M. [ネットワーク設定のバックアップとリストア]：登録済みのネットワーク設定内容をバックアップ／リストアします。（➔ 161ページ）

N. [ネットワークアイテムを編集する]：登録済みのネットワーク設定の複写／削除やネットワーク設定名の変更を行います。（➔ 161ページ）

O. [ネットワーク接続を切り替える]：選択した接続アイテムによる接続に切り替えます。（ネットワークの接続アイテムをダブルクリックしても接続を切り替えることができます。）
P. [バージョン情報を表示する]：ネットセレクターのバージョン情報を表示します。
Q. [ネットワーク接続ウィンドウを開く]：ネットワーク接続画面を表示します。
R. [閉じる]：ネットセレクターの画面を閉じます。
S. 現在設定されている接続アイテムにこのマークが付きます。
T. ネットワーク名を表示します。
U. 接続可能なデバイス名を表示します。

◆タスクトレイからのメニュー

画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」を右クリックすると、メニューが表示されます。

（左の画面は、ネットワークの接続設定をネットセレクターに登録した後の画面の一例です。）

A. ダイヤルアップ接続を選びます。（ネットセレクター画面から選んだ場合と同じです）
B. 有効になっているLANの設定にチェックマークが付きます。*1*2
C. あらかじめ登録したLANなどのネットワーク設定を切り替えるときに選びます。*2
D. FREESPOTへ接続します。*2（➔ 144ページ）
E. ネットセレクター画面を表示します。
F. 現在のネットワーク設定を登録（最大9件）します。*2
G. 登録済みのネットワーク設定内容を複写します。*2（➔ 161ページ）
H. ネットワーク設定名を変更します。*2
I. 登録済みのネットワーク設定内容を削除します。*2
J. 登録済みのネットワーク設定内容をバックアップ／リストアします。*2（➔ 161ページ）
K. ネットセレクターのバージョン情報を表示します。
L. ネットセレクターを終了します。

[*1] ネットセレクターで LAN 環境を切り替えた後、TCP/IP や LAN の接続設定を個別に変更した場合でもチェックマークは消えません。
[*2] コンピューターの管理者の権限でログオンした場合のみ表示されます。

ネットワークへの接続設定を登録する

会社では LAN、出張先では別の LAN を使うなど、ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える必要がある場合、各ネットワークの接続方法をネットセレクターに登録しておくことができます。
登録しておけば、接続アイテムを選ぶだけで設定が切り替わります。

お知らせ

- モデムによるダイヤルアップの場合、Windowsで新しい接続を追加すれば、ネットセレクターで接続先を切り替えることができます。
- ネットワークへの接続設定の登録／変更／削除は、コンピューターの管理者の権限でログオンして、行ってください。
- ネットセレクターに登録される設定内容は以下のとおりです。これ以外の設定が必要なネットワークの場合は、「ネットセレクターに登録される項目／されない項目」(➔ 157ページ）を参考に設定してください。
  - IPアドレス
  - DNSアドレス
  - WINSアドレス
  - ゲートウェイ
  - ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定
  - LANおよび無線 LANの有効／無効
  - 通常使うプリンターの設定
  - Windowsファイアウォールの状態
  - 通常使う接続の設定
- ネットワーク設定には、ネットワークに関する高度な知識が必要です。Windowsのネットワークに関する用語や意味を十分理解したうえで本機能を使用してください。

◆未接続のネットワークを新規登録する場合

1 画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」をクリックし、[ネットワーク設定]をクリックする。

2 をクリックし、[入力した設定を登録する]をクリックする。

「ネットセレクター（ネットワーク簡易設定）」画面が表示されます。

3 画面に従ってネットワーク設定を登録する。

お知らせ

- このネットワーク簡易設定では、LANのプロキシ設定やTCP/IPなど、画面に表示される項目のみ設定できます。ネットワークによっては、この簡易設定で設定できる項目以外に別途設定が必要になる場合があります（例：DNSやWINSなどの詳細設定）。
  その場合は、設定できない項目のうちどの項目が必要かをご利用のネットワークのシステム管理者に確認し、[コントロールパネル]などで設定してください。

◆接続設定済みのネットワークを登録する場合

1 ネットワークに接続する。

2 画面右下のタスクトレイの「ネットワークセレクターアイコン」をクリックし、[ネットワーク設定]をクリックする。

3 をクリックし、[現在の設定を登録する]をクリックする。

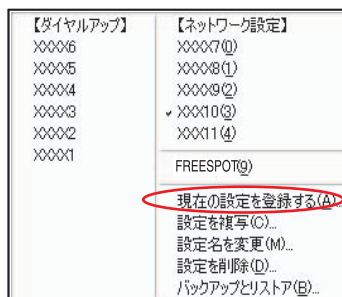
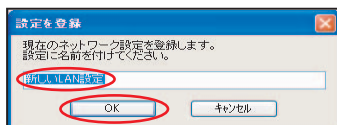
4 ネットワーク設定の名前を入力し、[OK]をクリックする。

LANまたは無線LANで設定されている現在の設定内容が登録されます。
登録された設定内容は、接続アイテムに表示されます。

お知らせ

- タスクトレイのメニューからでも、現在のネットワーク設定を登録することができます。

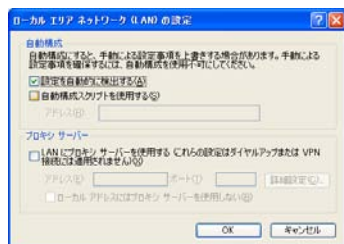
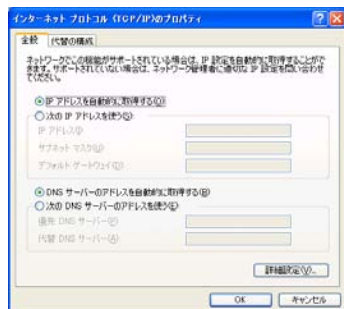
  ① 画面右下のタスクトレイの「ネットワークセレクターアイコン」を右クリックする。
  ② [現在の設定を登録する]をクリックする。
  以降の手順は上記手順*4*と同じです。登録された設定内容は、メニューの[ネットワーク設定]の下に表示されます。

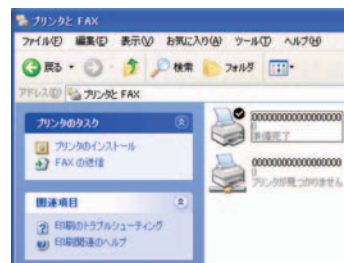
- ネットセレクターに登録される項目、されない項目があります。（➔ 157ページ）

ネットセレクターに登録される項目／されない項目

ネットワークによっては、ネットセレクターに登録されない項目の設定が必要になる場合があります。ネットセレクターに登録される項目と登録されない項目は以下のとおりです。登録されない項目のうちのどの設定が必要かは、ご利用のネットワークのシステム管理者にお問い合わせください。

各画面の表示手順 ➔ 159 ページ

画面	登録される項目	登録されない項目
「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面	● [自動構成]のすべての項目 ● [プロキシサーバー]のすべての項目	なし
「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面	● [詳細設定]以外のすべての項目	● [代替の構成]のすべての項目
「TCP/IP 詳細設定」画面： ● 「IP 設定」	● IP アドレス（DHCP 有効／無効、サブネットマスク） ● デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイ、メトリック）	● [自動メトリック] ● [インターフェイス メトリック]
「TCP/IP 詳細設定」画面： ● 「DNS」	● DNS サーバーアドレス ● [この接続のアドレスを DNS に登録する] ● [この接続の DNS サフィックスを DNS 登録に使う]	● [プライマリおよび接続専用の DNS サフィックスを追加する] および [プライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する] ● [以下の DNS サフィックスを順に追加する] ● [この接続の DNS サフィックス]
「TCP/IP 詳細設定」画面： ● 「WINS」	● WINS アドレス	● WINS アドレス以外のすべての項目

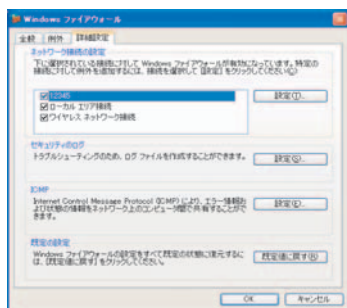
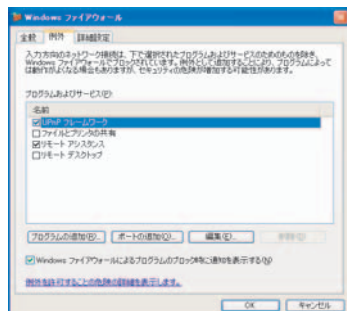
画面	登録される項目	登録されない項目
「TCP/IP 詳細設定」画面： ● 「オプション」	なし	● すべての項目が登録されません。
「プリンタと FAX」画面	● 通常使うプリンタの設定	● 通常使うプリンタ以外の設定
「Windows ファイアウォール」画面	● [全般] のすべての項目	● [例外] のすべての項目 ● [詳細設定] のすべての項目

- 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面
  - ① [スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [インターネットオプション]をクリックする。
  - ② [接続] - [LANの設定]をクリックする。

- 「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面
  - ① [スタート] - [接続] - [すべての接続の表示]をクリックする。
  - ② [ローカルエリア接続]をダブルクリックして、[インターネットプロトコル（TCP/IP）] - [プロパティ]をクリックする。

- 「TCP/IP 詳細設定」画面
  - ① [スタート] - [接続] - [すべての接続の表示]をクリックする。
  - ② [ローカルエリア接続]をダブルクリックして、[インターネットプロトコル（TCP/IP）] - [プロパティ] - [全般] - [詳細設定]をクリックする。

- 「プリンタと FAX」画面
  - ① [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX]をクリックする。
    （通常使うプリンターに設定するときは、プリンターのアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定]をクリックして✔を表示させます。）

● 「Windows ファイアウォール」画面

① [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター]をクリックする。

② [Windowsファイアウォール]をクリックする。

③ [例外]または[詳細設定]をクリックする。

ネットセレクターのその他の機能

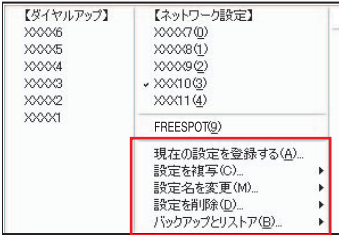
◆ネットワーク設定内容のバックアップ／リストア

をクリックし、[ネットワーク設定をバックアップする] または [ネットワーク設定をリストアする] をクリックしてください。
バックアップ／リストアしたデータは、本機以外では使用しないでください。

- バックアップ
  - 現在登録されているネットワーク設定の内容は、C:¥Program Files¥Panasonic ¥NSelect¥Backup（フォルダー内）に保存されます。ここで保存したバックアップ用データ以外の Program Files 内にあるフォルダーおよびファイルを移動したり削除したりしないでください。
  - Backup フォルダーには TCP/IP 設定ファイル、LAN 設定ファイルが作成されます。Backup フォルダーにバックアップファイルがある場合は、現在登録されているネットワーク設定の内容で上書きされます。
- リストア
  - バックアップ時の内容を取り込みます。
  - リストアすると、現在登録されているネットワーク設定の内容は上書きされ、バックアップしたときの状態になります。

◆ネットワーク設定の編集

をクリックし、表示されるメニューから編集項目をクリックしてください。

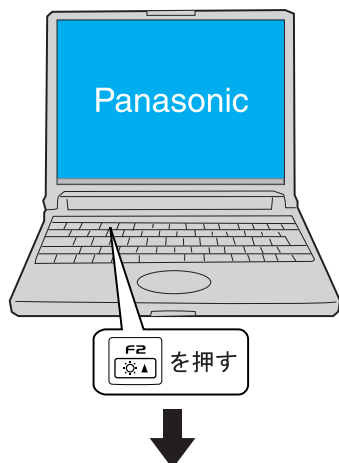
- ネットワーク設定を複写する
  - 登録済みのネットワークの設定内容を複写します。
- ネットワーク設定名を変更する
  - 登録済みのネットワークの設定名を変更します。
- ネットワーク設定を削除する
  - 登録したネットワークの設定を削除します。
  - ネットセレクターへの登録だけが削除されます。他のソフトウェアによる接続や通信には影響ありません。

お知らせ

- **タスクトレイのメニューからでも、バックアップ／リストアやネットワーク設定の編集ができます。(➔ 153ページ)**
  メニューの項目をクリックしてください。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、コンピューターの動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の 6 メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「セキュリティ」、「起動」、「終了」

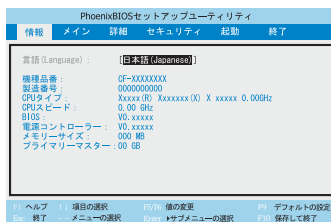
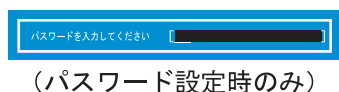
セットアップユーティリティを起動する

（パスワード設定時のみ）

1 コンピューターの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 コンピューターの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押す。

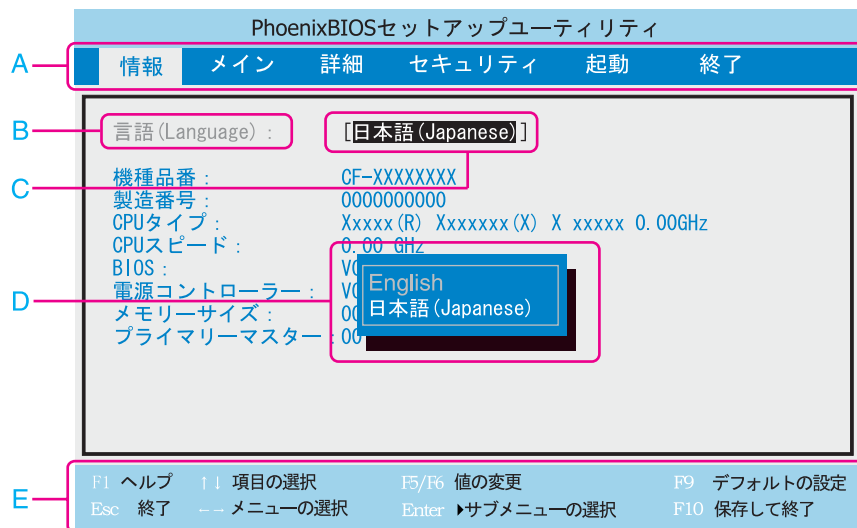
パスワードを設定している場合は、左の画面が表示されます。パスワードを入力し、【Enter】を押してください。

スーパーバイザーパスワードを入力すると
- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードを入力すると
- 「詳細」メニューと「起動」メニューでは：
  - 設定を参照することはできますが、変更はできません。
- 「セキュリティ」メニューでは：
  - [登録された SD の解除]、[スーパーバイザーパスワード設定]、[ハードディスク保護]、[内蔵セキュリティ（TPM）設定]（[設定サブメニュー保護] を [保護する] に設定している場合）は表示されません。
  - [データ実行防止機能]、[起動時のパスワード]、[SD による起動]、[SD のセット方法]、[Setup Utility 表示]、[Boot First Menu]、[ユーザーパスワード保護] は表示されますが、設定はできません。
  - [ユーザーパスワード保護] が [保護しない] に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更ができます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。
- 「終了」メニューでは：
  - [デフォルト設定] と [ハードディスクリカバリー／消去] が表示されません。

- 【F9】は使えません。

お知らせ

- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に同時表示にすることはできません。
  【Fn】+【F3】を押して表示先を切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
- パスワードを設定していて[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合
  - コンピューター起動時：パスワードの入力は不要
  - セットアップユーティリティ起動時：パスワードの入力が必要。これにより、セットアップユーティリティの内容が変更されるのを防ぐことができます。
- 【F2】を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。その場合、Windowsを終了して起動し直してください。
- セットアップユーティリティを終了するとき
  ①【Esc】を押す。
  ② 終了方法の項目を選んで 【Enter】を押す。
  ③ [はい]を選んで 【Enter】を押す。

画面の見かたと使いかた

A. 【←】【→】を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。
B. 選択できる項目が複数ある場合は【↑】【↓】を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。
C. 反転表示されている項目は【Enter】を押してサブメニューを表示させることができます。
D. サブメニューが表示されているときは【↑】【↓】を押して項目を選ぶことができます。
E. セットアップユーティリティの画面で、設定に使えるキーを表示しています。

設定に使うキー

- 【F1】：ヘルプを表示。（【↑】【↓】でヘルプの画面を 1 行ずつスクロールする。【F1】を再度押すと元の画面に戻る）
- 【Esc】：「終了」メニューを表示。

- 【↑】【↓】：カーソルを上下に移動。（項目を選ぶときに使用）
- 【←】【→】：カーソルを左右に移動。（「情報」「メイン」「詳細」「セキュリティ」「起動」「終了」の各メニューを選ぶときに使用）
- 【F5】：各項目の前候補を選択。（設定値の変更時に使用）
- 【F6】：各項目の次候補を選択。（設定値の変更時に使用）
- 【Enter】：各設定項目のサブメニューを表示。（【↑】【↓】で項目を選んだ後に使用。【Esc】でサブメニューを閉じる）
- 【F9】：各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す。
- 【F10】：設定を保存して終了。

情報メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

言語（Language） • セットアップユーティリティの言語を選択します。	English 日本語（Japanese）
機種品番 製造番号 CPU タイプ CPU スピード BIOS 電源コントローラー メモリーサイズ プライマリー マスター	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更することはできません。

メインメニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
システム時間 • 24 時間制です。 • 【Tab】でカーソルの移動ができます。【F5】【F6】で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]
システム日付 • 【Tab】でカーソルの移動ができます。【F5】【F6】で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx]
フラットパッド • ホイールパッドを使う（有効）／使わない（無効）を設定します。	無効 有効 (underlined)
Fn/ 左 Ctrl キー • 内部キーボードの【Fn】と【Ctrl】（左側）の機能を入れ換えず工場出荷時のまま使う（標準）／入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 • 入れ換えた場合、【Fn】と【Ctrl】（右側）のキーを押しながらもう一つのキーを押す操作はできません。 • キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 (underlined) 入れ換え
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。 • 外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ] を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。Windows 起動後は、次の項目で設定した内容が有効になります。 [スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile] - [デバイス]	外部ディスプレイ (underlined) 内部 LCD
拡張表示 • Windows が起動するまでの表示を拡張表示にする（有効）／しない（無効）を設定します。	無効 有効 (underlined)
充電中バッテリー状態表示 • バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する／明滅するを設定します。	点灯 (underlined) 明滅

詳細メニュー

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したとき、「詳細」メニューは変更できません。

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
モデム • 内蔵モデムの機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けのモデムには働きません。）	無効 有効
LAN • 内蔵 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの LAN カードには働きません。）	無効 有効
無線 LAN • 内蔵無線 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの無線 LAN カードには働きません。）	無効 有効
レガシー USB • Windows が起動する前に、USB キーボード、USB CD/DVD ドライブおよび USB フロッピーディスクドライブをコンピューターに認識させる機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

セキュリティメニュー

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、表示および設定できる項目が制限されます。（➔ 163ページ）
- [SDによる起動]、[SDのセット方法]、[登録されたSDの解除]は、SDメモリーカードが登録されているときのみ表示されます。（➔ 79ページ）
- コンピューター起動時、「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」が表示された場合、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定しなおしてください。

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
データ実行防止機能 • バッファーオーバーフローを利用した外部からの不正アクセス [*1] を防止する（有効）／防止しない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
起動時のパスワード • コンピューター起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）／必要としない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
SD による起動 • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う（許可）／使わない（禁止）を設定します。 • SD メモリーカードを登録すると、[許可] に設定されます。 • [起動時のパスワード] が [無効] に設定されているときは設定できません。	<u>禁止</u> 許可
SD のセット方法 • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う場合、カードのセット方法を [セットしたまま] または [セットして抜く] に設定します。 • [SD による起動] が [許可] に設定されているときのみ設定できます。 • [起動時のパスワード] が [無効] に設定されているときは設定できません。	<u>セットしたまま</u> セットして抜く

[*1] ウィルスプログラムなどが大量のデータをコンピューターに送り、プログラムのメモリーサイズ（バッファー）をあふれさせてプログラムの誤動作や停止をまねくような行為

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

登録された SD の解除 • 現在登録されているすべての SD メモリーカードが、コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに使えなくなるよう登録を解除します。	サブメニュー表示
スーパーバイザーパスワード設定 • セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、コンピューターも起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード] を [有効] に設定してください。	サブメニュー表示
Setup Utility 表示 • コンピューター起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に [Press F2 for Setup/ F12 for LAN] というメッセージを表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
Boot First Menu • 「起動時のメニュー」を表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。（➔ 173 ページ）	無効 <u>有効</u>
ハードディスク保護 • ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）／保護しない（無効）を設定します。 • 「ハードディスク保護」が有効のままスーパーバイザーパスワードを忘れてしまうと、「ハードディスク保護」を無効にすることができません。保護がかかったままになり、アクセスできなくなります。ハードディスク保護がかかった状態で修理を依頼された場合、ハードディスクのデータが読み書きできず、ハードディスクドライブを修理することができません。また、修理でハードディスク保護を解除することもできません。あらかじめご了承ください。 • スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	<u>無効</u> 有効
ユーザーパスワード保護 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）／許可しない（保護する）を設定します。	<u>保護しない</u> 保護する
ユーザーパスワード設定 • 本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 例えば、コンピューターを管理する人がスーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定し、他の利用者へはユーザーパスワードだけを知らせておくようにします。こうすることにより、他の利用者に対して、セットアップユーティリティの変更を制限することができます。（➔ 163 ページ） • スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	サブメニュー表示

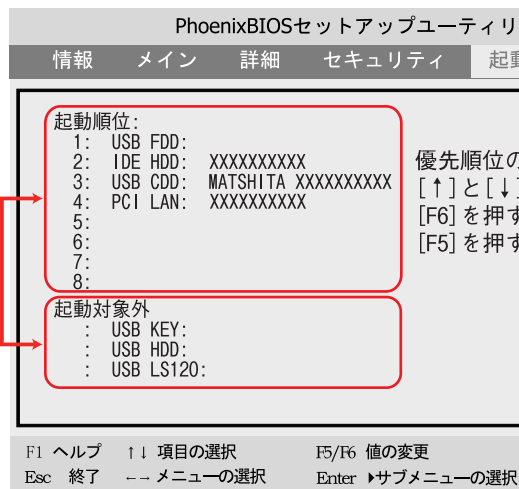
（アンダーラインは工場出荷時の設定）

内蔵セキュリティ（TPM）設定 ● セキュリティチップ（TPM）に関するサブメニューを表示します。 • 設定サブメニュー保護：ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）設定] を表示する（保護しない）／表示しない（保護する）を設定します。 • 内蔵セキュリティチップ（TPM）：セキュリティチップを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。 • 所有者情報の初期化：内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化することで内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを利用できないようにします。コンピューターの廃棄・譲渡する際に使用してください。 • スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 •【Esc】を押すと、設定を保存してサブメニューを閉じます。 ● 詳しくは、『セキュリティガイド』（画面で見るマニュアル）をご覧ください。	サブメニュー表示

起動メニュー

「起動」メニューには、接続されている機器（内蔵を含む）の名称が表示されます。

次の手順でオペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。

- **優先順位を 1 つ上げる場合は、【↑】【↓】で「起動順位」内のデバイスを選択して【F6】を押す。**
- **優先順位を 1 つ下げる場合は、【↑】【↓】で「起動順位」内のデバイスを選択して【F5】を押す。**
- **起動順位をデフォルト設定に戻す場合は、【1】を押す。**
  （デフォルト設定の優先順位：USB FDD → IDE HDD → USB CDD → PCI LAN）
- **「起動対象外」のデバイスを「起動順位」に移動する場合（またはその逆）：**
  【↑】【↓】でデバイスを選択して【X】を押す。移動したデバイスは最後尾に表示されます。「起動対象外」から「起動順位」へ移動した場合は、必要に応じて、起動順位を設定してください。

お知らせ

- USBコネクターに接続している機器から起動する場合
  - 「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]になっていることを確認してください。
- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、「起動」メニューは変更できません。
- 同一の機器が複数接続されている場合、1つの機器の名称だけが表示されます。
- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐに【Esc】を押すと、デバイスを選択する「起動時のメニュー」が表示されます。(実際に起動可能なデバイスのみ表示されます。)セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定を変更すると、「起動時のメニュー」の表示も変更されます。「起動時のメニュー」は、「セキュリティ」メニューの[Boot First Menu]が[有効]に設定されているときのみ表示させることができます。
- 起動できる別売りのフロッピーディスクドライブおよびCD/DVDドライブについては、付属の『ご使用の前に』をご覧ください。
- 「起動対象外」に表示されているデバイスからは起動できません。このため、優先順位も変更できません。

終了メニュー

設定を保存して終了	設定内容を保存して終了します。
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了します。
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。
設定を保存する	設定内容を保存します。
ハードディスク リカバリー／消去	工場出荷時の状態に戻します。またはハードディスクの内容を消去します。 • 実行する前に、必ず『取扱説明書』や『ご使用の前に』に記載されている「再インストールする（ハードディスク リカバリー)」または「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をお読みください。 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。

画面全体のアイコンなどを拡大表示する

画面上の文字やアイコン、タイトルバー、マウスカーソルなどが小さくて見えにくいときは、「フォントサイズ拡大」を使って、画面表示を [通常のサイズ][大きいサイズ][特大のサイズ] に切り替えることができます。

- Internet Explorer*1 でインターネット接続中に表示される画面 *1 の文字や、Outlook Express で送受信したメールの文字 *1、メール作成中の文字 *1 も、「フォントサイズ拡大」の設定に応じて切り替わります。
- 工場出荷時は、[通常のサイズ] に設定されています。

*1 ホームページや HTML メールによっては、文字の大きさが変わらない場合があります。

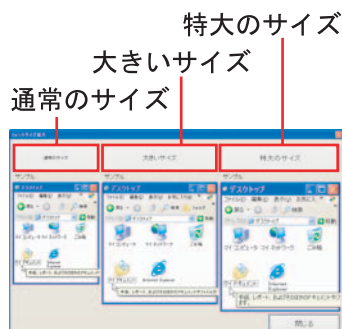
お知らせ

- ディスプレイの解像度を1024 x 768ドットよりも低く設定している場合は、「フォントサイズ拡大」が起動しません。
- 拡大表示すると、メニューなどの一部が隠れて見えなくなることがあります。その場合は、カーソルをメニュー上に移動させてポップアップを表示させたり、画面をスクロールするなどしてください。
- サイズを変更するときは、「フォントサイズ拡大」以外のアプリケーションソフトはすべて閉じてください。

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [フォントサイズ拡大]をクリックする。

2 [通常のサイズ]、[大きいサイズ]、[特大のサイズ]の中から表示するサイズをクリックする。

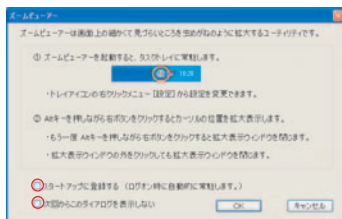
3 確認のメッセージが表示されたら[OK]をクリックする。

設定した画面表示になります。

画面の一部を拡大表示する

画面上の文字や画像などが小さくて見えにくいとき、虫めがねを使うように画面の見たい部分を拡大表示することができます。
また、別途マイクロソフト社のアプリケーションソフト Microsoft® Excel がインストールされている場合、Excel のセルの内容を大きく表示することができます。(➔ 180 ページ)

- ズームビューアーをはじめて操作するときは、スタートメニューから起動する必要があります。

ズームビューアーを使う

◆起動する

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー] をクリックする。

- 次回、Windows を起動したとき、自動的にズームビューアーを起動させたい場合：
  [スタートアップに登録する]にチェックマークを付ける。
  登録するかしないかは、あとで設定を変えることができます。
- 次回、ズームビューアーを起動したとき、説明を表示させたくない場合：
  [次回からこのダイアログを表示しない] にチェックマークを付ける。
  説明を表示するかしないかは、あとで設定を変えることができます。

2 [OK]をクリックする。

- 画面右下のタスクトレイに「ズームビューアーアイコン」が表示されます。

画面の一部を拡大表示する

拡大表示する

1 画面上の拡大表示したい部分にカーソル（ ）を合わせる。

2 【Alt】を押しながら右クリックする。

- カーソルのある位置が拡大表示されます。
- 画面右下のタスクトレイの「ズームビューアーアイコン」をダブルクリックするか、を右クリックしてメニューから [表示する] をクリックしても拡大表示されます。（➔ 179 ページ）

3 拡大表示を操作する。

A. 拡大表示ウィンドウ：この部分をドラッグすると、拡大表示される部分が移動します。

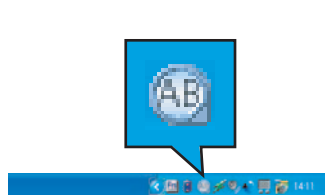
B. （非表示ボタン）：クリックすると拡大表示ウィンドウが消えます。
- 拡大表示の範囲外でクリックしたり、もう一度【Alt】を押しながら右クリックしても拡大表示ウィンドウが消えます。

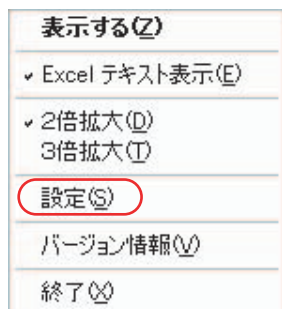
C. サイズ変更：この部分をドラッグすると、拡大表示ウィンドウを拡大／縮小することができます。
- 画面の解像度により、拡大／縮小できる大きさは異なります。

お知らせ

- 拡大表示ウィンドウを表示しているときに、スクロール操作を行うと、拡大表示ウィンドウの真下にあるウィンドウが縦スクロールします。縦スクロール中は拡大表示ウィンドウが表示されません。縦スクロールを終了すると、スクロール開始前と同じ位置に拡大表示ウィンドウが表示されます。
- ホイールパッドユーティリティの横スクロール機能には対応していません。（➔ 11 ページ）

- 拡大表示する瞬間（例えば【Alt】を押しながら右クリックした瞬間）の画面を拡大表示します。このため、拡大表示したあとで、画面が変化しても拡大表示ウィンドウには反映されません。
  反映するには、拡大表示ウィンドウ（A）をクリックしてください。
- アプリケーションソフトによっては、正しく拡大表示できない場合があります。

ズームビューアーの設定

1 画面右下のタスクトレイの「ズームビューアーアイコン」を右クリックする。

2 [設定]をクリックする。

拡大表示ウインドウを表示するとき／消すときの操作方法を変更する
外部マウスやホイールパッド、キーボードを使って拡大表示ウィンドウを表示する際のキーの組み合わせを設定します。

- 外部マウス／ホイールパッドを使う場合

① [マウス／タッチパッド]（B）をクリックする。

② 【Alt】、【Ctrl】、【Shift】の中から組み合わせるキーをクリックしてチェックマークを付ける。（【Alt】＋【Ctrl】など、複数キーの組み合わせ可能）（C）

③ ②で選んだキーとの組み合わせを、右クリックにするか左クリックにするかを選ぶ。（D）

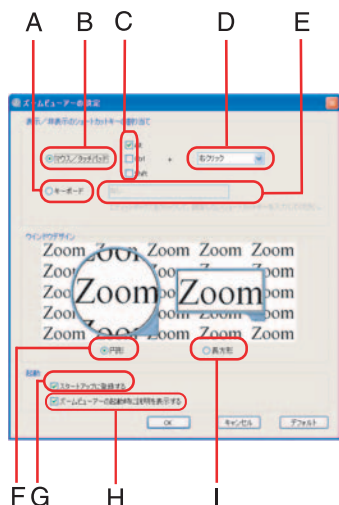
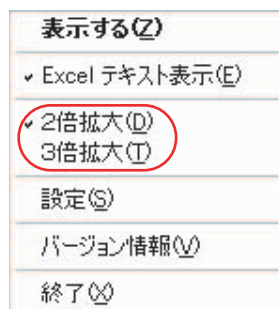
- キーボードを使う場合

① [キーボード]（A）をクリックする。

② エディットボックス（E）をクリックし、ショートカットに使うキーを押す。（例：【Alt】＋【Z】、【Alt】＋【Ctrl】＋【Z】など）

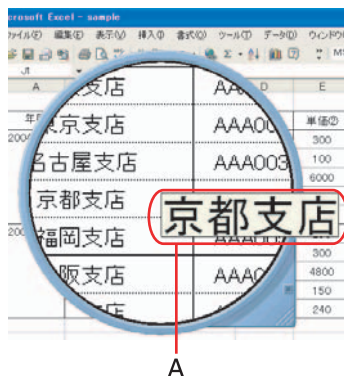
ウィンドウのデザインを変更する
[円形]（F）または[長方形]（I）を選びます。

Windowsの起動と同時にズームビューアーを起動する
[スタートアップに登録する]（G）にチェックマークを付けます。

ズームビューアー起動時に説明を表示する
「ズームビューアーの起動時に説明を表示する」（H）にチェックマークを付けます。

3 [OK]をクリックする。

◆拡大表示の倍率を2倍にするか3倍にするか選ぶ

- **画面右下のタスクトレイの「ズームビューアーアイコン」**AB**を右クリックし、**[2 **倍拡大**] **または** [3 **倍拡大**] **をクリックします。**

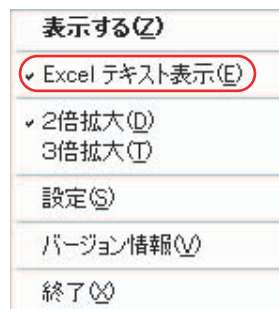
Excelのセルの文字を拡大表示する

Excel **のセルの文字を拡大表示する場合、拡大表示に加えて「**Excel **テキスト表示」機能を使うことができます。**
「Excel **テキスト表示」機能は、拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字を右図のようなウィンドウ(**A: **テキスト表示ウィンドウ)に大きく表示する機能です。**

◆「Excelテキスト表示」機能を設定する

1 **画面右下のタスクトレイの「ズームビューアーアイコン」**AB**を右クリックする。**

2 [Excel**テキスト表示**]**にチェックマークを付ける。**
(工場出荷時はチェックマークが付いています。)
チェックマークを外すと、テキスト表示ウィンドウは表示されません。

お知らせ

- **以下の場合、テキスト表示ウィンドウは表示されません。**
  - **お使いの**Excel**が、**Microsoft® Excel 2000/Microsoft® Excel 2002/Microsoft® Office Excel 2003**以前のバージョンの場合**
    (「Excel**テキスト表示」機能は、上記以前のバージョンには対応していません。)**

- セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
- 印刷プレビュー画面の場合
- テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウィンドウが表示されます。）

- 複数のウィンドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。
  また、ファイルによってもテキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。
- テキスト表示ウィンドウで表示される文字は、一番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にカーソルがあった場合は、テキスト表示ウィンドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にカーソル（拡大表示ウィンドウの中央部分）を移動させてください。

電源が入らない／バッテリー状態表示ランプが点灯しない

- ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。
- AC アダプターとバッテリーパックを取り付け直してください。
- バッテリーパックのラッチ（取り付け／取り外しのときに手動でロックするラッチ）が、ロック（🔒）の方向にあり、しっかりと固定されていることを確認してください。

コンピューターが起動しない

- 周辺機器を接続している場合は、周辺機器を取り外してください。
  - USB 機器を接続している場合は、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで [レガシー USB] を [無効] に設定してください。(➔ 168 ページ)
  - 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
- 以下の手順で、セーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。

  ① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（パスワード[*1]設定時はパスワード入力後）に【F8】を押し続ける。

  ② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離し、【↑】【↓】で[セーフモード]を選んで、【Enter】を押す。
  以降、画面に従って操作してください。

*1 セットアップユーティリティで設定したスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード

- 電源状態表示ランプが点灯している場合は、電源スイッチを 4 秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れてください。
- セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。

ビープ音（ピーピー）が鳴り、「増設RAMモジュールエラーです」または「標準RAMのエラーです」と表示される

- 「増設 RAM モジュールエラーです」と表示された場合は、RAM モジュールが正しく取り付けられていません。電源を切り、推奨品の RAM モジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。
- 「標準 RAM のエラーです」と表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

SDメモリーカードでWindowsにログオンできない

- Windows のユーザー名とパスワードが、SD メモリーカードに正しく設定されていないため、SD メモリーカードでログオンできません。
  SD メモリーカードを使わずに Windows のユーザー名とパスワードを入力してください。
  ログオンした後、以下のいずれかの操作で、同じユーザー名とパスワードを Windows と SD メモリーカードに設定してください。
  - [SD カード設定] で SD メモリーカード側の設定を変更する。
  - [コントロールパネル] で Windows のログオンユーザーおよびログオンパスワードを変更する。

  変更方法は、「SD メモリーカードによるセキュリティ機能」(➔ 77 ページ) および「Windows のログオンパスワードを設定する」(➔ 64 ページ) をご覧ください。

Administratorのユーザーアカウントでログオンしたい

- Windows のセットアップ後にユーザーアカウントを作成すると、Windows のセットアップ時に使用していた「Administrator」のアカウントはログオン画面に表示されません。
  「Administrator」のアカウントでログオンするには、ログオン画面で【Ctrl】+【Alt】+【Del】を 2 回押し、[ユーザー名] に [Administrator] と入力して、パスワードを設定していた場合はパスワードを入力して [OK] をクリックしてください。

フロッピーディスクから起動できない

- パナソニック製外部 FDD（品番：CF-VFDU03J）を接続しているか確認してください。
  他のフロッピーディスクドライブからは起動できません。
- 起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。
- セットアップユーティリティを起動し、以下の設定を確認してください。
  - 「詳細」メニューで [レガシー USB] が [有効] に設定されていること。
    (➔ 168 ページ)
  - 「起動」メニューで [USB FDD] が「起動順位」の一番上に表示されていること。
    (➔ 172 ページ)
- コンピューターの電源を切り、外部 FDD を接続しなおしてください。

CD／DVDから起動できない

- 起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。
- セットアップユーティリティを起動し、以下の設定を確認してください。
  - 「詳細」メニューで [レガシー USB] が [有効] に設定されていること。
    （➔ 168 ページ）
  - 「起動」メニューで [USB CDD] が「起動順位」の一番上に表示されていること。
    （➔ 172 ページ）

「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された

- システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。セットされている場合は、取り出してから、何かキーを押してください。
- USB 機器を接続している場合は、USB 機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで [レガシー USB] を [無効] に設定してください。(➔ 168 ページ)
- すべての項目を確認しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。
  再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。
  (⇒『取扱説明書』「再インストールする」(ハードディスクリカバリー))

Windowsの起動が遅い

- セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。*1
- お買い上げ後にインストールした常駐ソフトウェアがある場合は、そのソフトウェアの常駐を解除してください。
- メモリーを増設すると改善される場合があります。*1

*1 動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。

スタンバイ・休止状態にならない

- 周辺機器を接続している場合は、周辺機器を取り外してから、スタンバイ・休止状態にしてください。それでもスタンバイ・休止状態にならない場合は、コンピューターを再起動してください。
- スタンバイ・休止状態に入るとき、1 ～ 2 分程度かかる場合があります。そのままお待ちください。
- モデムで通信しているときは、スタンバイ状態にならない場合があります。
  通信が終わってからスタンバイ状態にしてください。
  操作ができなくなった場合は、電源スイッチを 4 秒以上スライドして強制的に電源を切ってください。
- 内部 LCD を閉じているときは、システムスタンバイ・システム休止状態 *1 にならない場合があります。
  システムスタンバイ・システム休止状態を働かせるためには、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] に設定してください。
  (➔ 167 ページ)

*1 一定時間経過すると自動的にスタンバイ・休止状態にする機能

スタンバイ・休止状態からリジューム（復帰）しない

- 以下の操作を行った可能性があります。
  - スタンバイ状態のとき、AC アダプターおよびバッテリーパックを取り外した。または、周辺機器の取り付け／取り外しを行った。
  - 電源スイッチを 4 秒以上スライドし強制終了した。

  電源スイッチをスライドして電源を入れてください。保存していないデータは失われます。

電源が切れない（Windowsが終了しない）

- 周辺機器を接続している場合は、取り外してから終了してください。
  周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
- 「応答がない」の項目も確認してください。(➔ 194 ページ)
- アプリケーションソフトをインストールしたら Windows が終了しなくなった場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックし、インス

トールしたアプリケーションソフトを削除してください。
削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。

- **ディスクのエラーチェックを行ってください。**

  ① [**スタート**] - [**マイコンピュータ**]**をクリックし、**[**ローカルディスク**（C:）]**を右クリックして、**[**プロパティ**]**をクリックする。**

  ② [**ツール**]**をクリックして、**[**チェックする**]**をクリックする。**

  ③ **「チェックディスクのオプション」で**[**ファイルシステムエラーを自動的に修復する**]**と**[**不良セクタをスキャンし、回復する**]**にチェックマークを付け、**[**開始**]**をクリックする。**
  チェックディスクにかかる時間は、「チェックディスクのオプション」の設定により異なります。

  チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。（**⇒『取扱説明書』「再インストールする」（ハードディスクリカバリー））**

パスワードを入力しても再度入力を求められる

- キーボードがテンキーモードになっている可能性があります。
  1ランプが点灯している場合は、【NumLk】を押してテンキーモードを解除して入力してください。
- キーボードがキャップスロックになっている可能性があります。
  Aランプが点灯している場合は、【Shift】を押しながら【Caps Lock】を押してキャップスロックを解除して入力してください。

「パスワードを入力してください」が表示された

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。

「NumLockがオンになっています」が表示された

- テンキーモードを使用しない場合は、【NumLk】を押してテンキーモードを解除してください。(➔ 29 ページ)

スタンバイ・休止状態からのリジューム時に「パスワードを入力してください」が表示されない

- セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、[起動時のパスワード] を [有効] に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。
  以下の手順で、Windows のパスワードを設定し、Windows のパスワード入力が必要となるように設定してください。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]をクリックし、変更するアカウントをクリックして、パスワードを設定する。

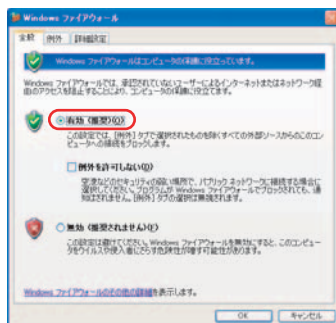
② [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]をクリックしてチェックマークを付ける。

コンピューターの管理者のパスワードを忘れた

- パスワードリセットディスクを作成しているかどうか確認してください。
  - 作成していた場合：
    パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。
  - 作成していなかった場合：
    再インストールしてハードディスクをお買い上げ時の状態に戻した後（⇒『取扱説明書』「再インストールする」（ハードディスクリカバリー））、Windows をセットアップしてパスワードを設定し直してください。

Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示された

- システムの起動エラーです。付属の『困ったときの Q&A』「エラーコードが表示されたら」の内容に従って操作してください。
- 「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合：➔ 184 ページ

ネットワークを利用するプログラムが動作しない ファイルやプリンターが共有できない

- 「Windows セキュリティセンター」の「ファイアウォール（Windows ファイアウォール）」が有効に設定されているため、動作しないまたは共有できない可能性があります。
有効に設定されていると、ウィルスなどからの被害は軽減されますが、動作しないプログラムなどがあります。

  プログラムを使用するまたはファイルやプリンターを共有するには：
Windows ファイアウォールの設定で例外に登録することで、Windows ファイアウォールの影響を受けずにプログラムなどを使用できます。（Windows ファイアウォールを無効にする必要はありません。）
ただし、例外に登録すると、ウィルスなどの被害を受ける可能性もでてきます。例外に登録するプログラムについては、プログラムの開発元などに安全性を確認してから登録してください。

  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] - [Windowsファイアウォール]をクリックする。
  ② [例外]をクリックする。
  ③ ネットワークゲームなどのプログラムを例外にする場合：
  [プログラムの追加]をクリックし、プログラムをクリックして[OK]をクリックする。
  特定のポートに対するアクセスを例外にする場合：
  [ポートの追加]をクリックし、ポートを設定して[OK]をクリックする。
  ファイルやプリンターを例外にする場合：
  [ファイルとプリンタの共有]にチェックマークを付ける。
  ④ 例外に登録する項目にチェックマークが付いていることを確認し、[OK]をクリックする。

Windowsファイアウォールは有効にしておく必要がありますか？

- Windows ファイアウォールとは、外部ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを保護するためのセキュリティ機能です。
外部ネットワークとの間でやりとりされるデータを規制して、認められているデータ以外は通過できないようにする働きをします。ウィルスなどからの被害を軽減するには、有効のままお使いいただくことをおすすめします。

● 市販のファイアウォールソフトウェアを追加でインストールしている場合は、Windows のファイアウォール機能と干渉して問題が発生する場合がありますので、Windows のファイアウォールの設定は無効にしておくことをおすすめします。
詳細については、インストールしているファイアウォールソフトウェアの説明書などでご確認ください。

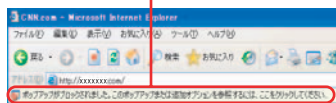
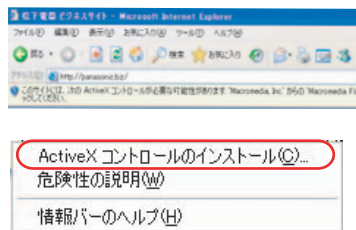
自動更新を有効にすると、すべての更新がダウンロード（またはインストール）されますか？

● 自動的にダウンロード（またはインストール）されるのは、Windows Update の優先度の高い更新プログラムのみです。
比較的重要度が低い、インストール可能なプログラムは自動的にダウンロード（またはインストール）されません。定期的に更新プログラムが提供されていないか確認してください。

セキュリティセンターの警告機能が働かない

● 会社などのネットワークでドメインに参加している場合は働きません。

Webページの表示がおかしい（表示されない、真っ白で表示される、広告やログオンなどのポップアップが表示されない）

● Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、Web 上のコンテンツに対するセキュリティ機能が強化されています。
その一つに「ポップアップブロック機能」があり、この機能により Web ページが表示されなくなる場合があります。
Internet Explorer で正しく表示できないなど、問題が起きた場合は、アドレスバーの下に表示されるメッセージウィンドウ（情報バーと呼びます）の内容をご確認ください。
情報バーは、Internet Explorer が制御した情報を表示します。

• 「ポップアップがブロックされました」と表示された場合：
メッセージをクリックし、「ポップアップを一時的に許可」をクリックする。
ブロックされたポップアップが一時的に表示されます。

- 「ActiveX コントロールが必要 ...」と表示された場合：
  ① メッセージをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール」をクリックする。
  ② 「セキュリティの警告」画面の「名前」と「発行先」を確認し、安全であることが確認できたらインストールする。
- 情報バーも見つからない場合：
  安全なページであることを確認の上、【Ctrl】を押しながら Web ページのリンクをクリックしてください。ポップアップブロック機能が一時的に無効になります。

Outlook ExpressでHTML電子メールの画像が表示されない

● Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、HTML 電子メールの画像表示をブロックする機能があります。
HTML 電子メールの画像を表示するには、発信元のサーバーへアクセスする必要があり、コンピューターに問題を引き起こすものがあります。
このような画像を表示させないことで、ウィルスなどからの被害を軽減することができます。
画像を表示するには：
画像が安全なものであることを確認の上、「... 画像がブロックされています ...」と表示されている部分をクリックします。一時的に表示することができます。

Outlook Expressで添付ファイルが取り込めない（保存されない）

● Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、Outlook Express で受信したメールに、「.exe」や「.scr」などの拡張子を含んだファイル（安全でない可能性があるファイル）が添付されている場合、ファイルをブロックします。
ファイルを取り込むには：
ファイルが安全であることを確認してください。その後、[ツール] - [オプション] - [セキュリティ] をクリックし、[ウィルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない] をクリックしてチェックマークを外してください。

Windowsの動作が遅い

● 「Windows の起動が遅い」の項目も確認してください。（➔ 184 ページ）

- アプリケーションソフトをインストールしたら遅くなった場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックし、インストールしたアプリケーションソフトを削除してください。
- ディスクデフラグを実行してください。
  ディスクデフラグは時間がかかる場合があります。（かかる時間は、ドライブの容量などにより異なります。）
  - デフラグとは
    ハードディスクに繰り返し書き込みや書き換えを行っていると、ファイルが分断されて保存されることがあります。この分断化が進むと、読み込みや書き換えに時間がかかるようになります。ディスクデフラグとは、この分断化されたファイルを最適な順番に並び替え、読み込みや書き込みを早くできるようにする機能です。
  - ディスクデフラグの方法
    ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [ディスクデフラグ]をクリックする。
    ② ディスクデフラグを行うドライブ（ボリューム）をクリックし、[分析]をクリックする。
    ③「ディスクデフラグツール」画面で[最適化]をクリックする。
    最適化が始まります。そのままお待ちください。
    ④「最適化が完了しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックする。
- ストリーミング再生時などに動作が遅くなる場合は、次の手順で画面の色数を変更してみてください。*1
  ① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックし、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile] - [デバイス]をクリックする。
  ② [色]を[High Color]に変更し、[OK]をクリックする。

*1 すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。

ホイールパッドユーティリティを使ってスクロールできない

- [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティ] をクリックしてホイールパッドユーティリティを起動してください。
- [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティの設定] - [全般設定] をクリックし、[ホイールパッド機能を使用する] にチェックマークが付いていることを確認してください。

- 横方向へのスクロールができない場合は､前ページ手順の [全般設定] で [横スクロール機能を使用する] にチェックマークが付いていることを確認してください。
- 「フラットパッドとの通信に失敗したため、ホイールパッドユーティリティを起動できません。....」が表示された場合は、以下のことを確認し設定してください。
  - 外部マウスを接続している場合：
    外部マウス用のアプリケーションおよびドライバーは、ホイールパッドユーティリティと同時に使用できません。外部マウスまたはホイールパッドのどちらかを使用してください。

外部マウスを使用する場合	ホイールパッドを使用する場合
• 以下の手順で、ホイールパッドユーティリティをアンインストールしてください。 ① 画面右下のタスクトレイの「スクロールアイコン」または をクリックし、[終了]をクリックする。 ② [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]をクリックする。 ③ [ホイールパッドユーティリティ] をクリックし、[変更と削除] をクリックして削除する。	• 外部マウス用アプリケーションおよびドライバーをアンインストールしてください。(➔ 95 ページ) • セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] が [有効] に設定されていることを確認してください。 • 以下の手順で、ホイールパッドのドライバーがインストールされていることを確認してください。 ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] -[システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックする。 ② [マウスとそのほかのポインティングデバイス] をダブルクリックする。[Synaptics PS/2 Port TouchPad] があることを確認してください。 • 外部マウスを取り外して再起動してください。

  - 上記の項目を確認しても改善されない場合、または外部マウスを接続していない場合：
    ① CPUの使用率が高いアプリケーションが起動している場合には終了して、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ホイールパッドユーティリティ]をクリックする。
    ② Synaptics TouchPadドライバーとホイールパッドユーティリティを一度アンインストールした後、再度インストールする。(➔ 94ページ)
- [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] をクリックしても [ホイールパッドユーティリティの設定] が表示されない場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックし、[ホイールパッドユーティリティ] が表示されているか確認してください。

- 表示されていない場合：
  ホイールパッドユーティリティをインストールする必要があります。
  [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥wheelpad¥setup.exe」と入力して [OK] をクリックしてください。
  以降、画面の指示に従ってインストールしてください。
- 表示されている場合：
  [ホイールパッドユーティリティ] をクリックし、[変更と削除] をクリックして削除してください。その後、上記「表示されていない場合」の手順でインストールしてください。

● アプリケーションソフトにより縦横スクロールのどちらか一方にしかスクロールできない画面では、ホイールパッドの操作に関係なく、できる方向にしかスクロールしない場合があります。（例えば、横スクロールだけができる画面のときに縦スクロールを行っても横スクロールになります。）

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない

● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。
- アプリケーションソフトが正しく動作しない
- 【Fn】とのキーの組み合わせが動作しない
- 画面の設定ができない
- 無線 LAN が使えない

このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。

● お買い上げ後にインストールしたアプリケーションソフトが Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載に対応していない場合があります。アプリケーションソフトのメーカーのホームページなどで対策などを確認してください。

● ネットワークを利用するアプリケーションソフトやプログラムの場合は、「ネットワークを利用するプログラムが動作しない」の項目もご覧ください。（➔ 189 ページ）

応答がない

● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れていませんか？【Alt】+【Tab】を押して表示されている画面を確認してください。

- 【Ctrl】+【Shift】+【Esc】を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。
- 電源スイッチを 4 秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れてください。
  Windows は正常に動作したが、アプリケーションソフトが起動しない場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックし、動作しないアプリケーションソフトを削除してから、再度アプリケーションソフトをインストールしてください。

Windows® Media Playerで動画ファイルが再生できない

- 再生しようとすると、「コーデックが必要」と表示されましたか？
  一部の動画ファイルでは、標準でインストールされていないコーデックを使用するものがあります。その場合は、インターネットに接続してから動画ファイルを再生すると、自動的にコーデックがダウンロードされて再生できるようになる場合があります。

バッテリーのQ&A

バッテリーの駆動時間がカタログでの時間と違う

- カタログや『取扱説明書』に記載されているバッテリーの駆動時間は、エコノミーモード (ECO) 無効（→ 41 ページ）設定時に JEITA バッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）[*1] にもとづき測定された数値です。バッテリーの駆動時間は使用環境によって異なります。
- エコノミーモード (ECO) が有効になっていないか確認してください。（→ 41 ページ）

[*1] JEITA バッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）の詳細な設定方法は、JEITA のホームページ（http://it.jeita.or.jp/mobile/）をご覧ください。

バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯している

- バッテリーの残量が少なくなっています。（残量約 9% 以下）
  AC アダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。AC アダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windows を終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。

バッテリー状態表示ランプが点滅している

- 赤色に点滅している場合：
  すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックと AC アダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。
  それでも赤色に点滅する場合は、ご相談窓口にご相談ください。バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。
- オレンジ色に点滅している場合：
  - バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。
  - アプリケーションソフトや周辺機器（USB 機器など）が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトが終了し、温度が充電可能な範囲内であれば自動的に充電が始まります。

バッテリーの耐久年数をのばしたい

- **エコノミーモード** (ECO) **切り替えユーティリティでエコノミーモード** (ECO) **を有効に設定すると、バッテリーパックの劣化を防ぎ、耐久年数を長くすることができます。**
  (➔ 41 ページ)
  ただし、満充電しても使用できる駆動時間は短くなります。

カーソルが動かない

- セットアップユーティリティの「メイン」メニューで［フラットパッド］が［有効］に設定されているか確認してください。(➔ 167 ページ)
- 以下の手順で外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください。インストールされている場合、ホイールパッドが使えないことがあります。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。
  ② [マウスとそのほかのポインティングデバイス]をダブルクリックする。
  [Synaptics PS/2...]以外の名前が表示されている場合、外部マウスのドライバーがインストールされています。削除した後、コンピューターを再起動してください。
- キーボードを操作してコンピューターを再起動してください。
  【 】、【U】の順に押し、【➔】【←】【↑】【↓】で［再起動］を選んで 【Enter】を押します。
  キーボードで操作できない場合は、「応答がない」をご覧ください。(➔ 194 ページ)

カーソルが勝手に動く

- ホイールパッドの感度を調節してください。
  感度の調節は、「ホイールパッドに触れたときの感度を調節する」(➔ 19 ページ)をご覧ください。
- 外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください。（上記の「カーソルが動かない」の手順 ① と ② をご覧ください。）

接続したマウスでカーソルが動かない

- マウスが正しく接続されているか確認してください。
- 接続したマウスのドライバーをインストールしてください。
  外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えなくなることがあります。「外部マウスをお使いになるとき」(➔ 94 ページ)をご覧ください。
  マウスのドライバーについては、マウスのメーカーにお問い合わせください。
  （最新のバージョンが提供されている場合があります。）
  ドライバーをインストールしても動作しない場合は、セットアップユーティリティの

「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] に設定してください。(➔ 167 ページ)

スクロールできない

- 「ホイールパッドユーティリティを使ってスクロールできない」の項目を確認してください。(➔ 192 ページ)

画面表示のQ&A

画面が暗い／暗くなった

- 【Fn】+【F2】を押してください。明るくなります。
- AC アダプターを抜くと暗くなった場合：
  本機は、AC アダプターを接続している時と接続していない時の明るさを別々に覚えています。AC アダプターを接続していないときに、【Fn】+【F2】を押して明るくすると、その明るさが保持され、次に AC アダプターを抜いたときも調整した明るさになります。
  （明るくすると、バッテリー駆動時間が短くなります。）

緑、赤、青のドットが残る／正しい色が表示されないドットがある（常時点灯、画素（ドット）欠けなど）

- これは、故障ではありません。
  カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素が 99.998 % 以上、画素欠け等が 0.002 % 以下の場合は、故障ではありません。）

画面に何も表示されない

- 省電力機能が働いていないか確認してください。
  - 電源状態表示ランプが点灯している場合：
    ディスプレイの電源が切れています。【Ctrl】や【Shift】など動作に影響のないキーを押してください。
    選択に使うキー（【Enter】、【Space】、【Esc】、【Y】、【N】や数字キーなど）は使わないでください。
  - 電源状態表示ランプが点滅しているまたは消灯している場合：
    スタンバイまたは休止状態になっています。電源スイッチをスライドしてください。
- 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。
  【Fn】+【F3】を押して表示先を切り替えてください。
  【Fn】+【F3】を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。

- 画面が暗くなっていることがあります。【Fn】+【F2】を押して画面を明るくしてください。

残像が表示される

- 別の画面を表示してください。
  同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。

画面が乱れる

- 解像度／色数を変更したり、コンピューターの動作中に外部ディスプレイの取り付け／取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。

画面の表示先が切り替わらない

- MPEG ファイルや DVD ビデオなどの動画を再生中に、画面の表示先を切り替えることはできません。再生を終了してから画面の表示先を切り替えてください。

画面を拡大表示したい

- 画面全体のアイコンなどを拡大表示する場合は、「フォントサイズ拡大」を使ってください。(➔ 175 ページ)
- 部分的に拡大表示する場合は、「ズームビューアー」を使ってください。(➔ 176 ページ)

写真などの画像を表示するとき、画像の色が思うように再現されない

- ディスプレイの省電力設定(➔ 46 ページ)で、[インテル (R) ディスプレイ省電テクノロジ] にチェックマークが付いていないことを確認してください。

外部ディスプレイに何も表示されない／正しく表示されない

- 外部ディスプレイのケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

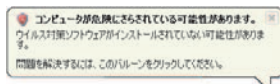
- 外部ディスプレイの電源が入っているか確認してください。
- 外部ディスプレイの設定が正しいか確認してください。
- 外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を入れなおしてください。
  ただし、お使いの外部ディスプレイによっては設定により画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されない場合があります。その場合は色数、画面領域（解像度）、リフレッシュレートを小さめに設定してみてください。

外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示したい

- 外部ディスプレイを接続し、【Fn】+【F3】を押して表示先を切り替えてください。
  切り替えられない場合は、次の手順で切り替えてください。
  ① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックし、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile] - [デバイス]をクリックする。
  ② 表示先をクリックし、[OK]をクリックする。
    - 同時表示する場合：[Intel(R) Dual Display Clone]
    - 拡張デスクトップモードにする場合：[拡張デスクトップ]
- [コマンドプロンプト] を起動しているとき、【Alt】+【Enter】を押して全画面表示にすると、片方の画面にしか表示されません。【Alt】+【Enter】を押してウィンドウ表示に戻してください。
- Windows が起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。

タスクトレイのQ&A

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」のメッセージが表示された

画面はすべて一例です。

- Windows の「セキュリティセンター」機能が表示しているメッセージです。
  「セキュリティセンター」は、コンピューターを安心してお使いいただくために、ウィルス対策などの Windows のセキュリティ設定がより安全になっているかを監視する機能です。
  次の 3 つの項目を定期的にチェックし、安全に設定されるまでメッセージを表示してお知らせします。
  - ファイアウォール : Windows ファイアウォールが有効かどうか
  - 自動更新 : Windows Update の自動更新が有効かどうか
  - ウィルス対策 : ウィルス対策ソフトがインストールされ、ソフトのバージョンが最新かどうか、およびリアルタイム検索が有効（オン）になっているかどうか

- 「コンピューターが危険にさらされている可能性があります」は、「セキュリティセンター」機能が表示しているメッセージで、エラーや故障のメッセージではありません。
  「セキュリティセンター」機能がチェックしている項目（上記 3 項目）が、安全な設定になっていない場合はこのようなメッセージでお知らせします。
  表示され続けてもそのままお使いいただけますが、ウィルスなどからの被害を減らすためにも、以下の手順で表示されないようにすることをおすすめします。

  ① メッセージを読む。

  ② タスクトレイの「Windowsセキュリティアイコン」 をクリックする。
  「Windowsセキュリティセンター」画面が表示されます。

  ③ 「ファイアウォール」、「自動更新」、「ウィルス対策」のなかから[推奨される対策案]をクリックする。
  対策が不要な場合は、[推奨される対策案]は表示されません。

  ④ 画面に従って、適切な対策を行う。

が表示された

- Windows の「セキュリティセンター」の「自動更新」が無効または設定されていないため、このアイコンが表示されます。（お買い上げ時は設定されていません。）

「自動更新」は、インターネットに接続していると、優先度の高い更新プログラム（セキュリティの更新など）が Windows Update に提供されていないか定期的に確認し、自動的にインストールして Windows を最新の状態にする機能です。
表示され続けてもそのままお使いいただけますが、Windows を最新の状態にするために「自動更新」を有効にすることをおすすめします。

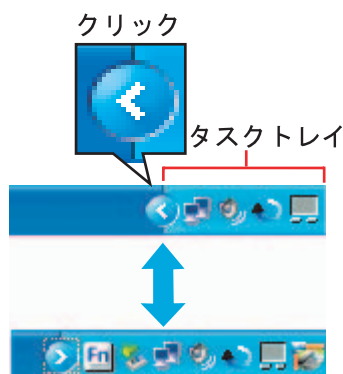
① メッセージを読む。

② タスクトレイの「Windowsセキュリティアイコン」をクリックする。
「自動更新」画面が表示されます。

③ [詳細オプション]をクリックし、自動更新を有効（[自動更新を無効にする]以外）に設定する。

日付と時刻が正しく表示されない

- [スタート] - [コントロールパネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション] - [日付と時刻] をクリックし、日付と時刻を訂正してください。
- 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持している内蔵バックアップバッテリー（リチウム電池）が消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
- LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。
- 西暦 2100 年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。

タスクトレイのアイコンが隠れて見えない

- タスクトレイの をクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。
- 常にすべてのアイコンを表示しておきたい場合は、タスクバーを右クリックし、[プロパティ] をクリックして、[タスクバー] の [アクティブでないインジケータを隠す] をクリックしてチェックマークを外してください。

文字入力／キー操作のQ&A

日本語が入力できない

ツールバー

- ツールバーの表示が「あ」になっているか確認してください。
  「あ」が表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。
  【半 角 / 全 角】を押して日本語入力モードにしてください。
  それでも「あ」が表示されない場合は、【カタカナ / ひらがな】を押してください。
  （ツールバーはタスクバーに格納されている場合があります。）

アルファベットのキーを押しても数字が入力される

- キーボードがテンキーモードになっている可能性があります。
  1ランプが点灯している場合は、【NumLk】を押してテンキーモードを解除して入力してください。

アルファベットが大文字でしか入力できない

- キーボードがキャップスロックになっている可能性があります。
  Aランプが点灯している場合は、【Shift】を押しながら【Caps Lock】を押してキャップスロックを解除して入力してください。

欧文特殊文字（ß、à、çなど）や記号が入力できない

- 以下の手順で、文字コード表を使って入力してください。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [文字コード表]をクリックする。
  ② フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選ぶ。

Fnキーと組み合わせた操作ができない

- セットアップユーティリティの「メイン」メニューで「Fn/ 左 Ctrl キー」を [入れ換え] に設定していないか確認してください。(➔ 167 ページ)
  設定を [標準] に戻すか、[入れ換え] のまま使う場合は【Fn】の代わりに【Ctrl】（左側）を押してください。

ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない

- ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。
- ハードディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- ログオンしているアカウントに読み出しや書き込みの権限があるか確認してください。
- ハードディスクの内容が壊れている場合があります。ご相談窓口にご相談ください。

フロッピーディスクの読み出しや書き込みができない

- パナソニック製外部FDD（品番：CF-VFDU03J）を使っていますか？
- フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか？
- フロッピーディスクは正しくセットされていますか？
- フロッピーディスクは正しく初期化（フォーマット）されていますか？
  初期化の方法は次の項目（「フロッピーディスクを初期化したい」）をご覧ください。
- フロッピーディスクが破損していないか確認してください。
- 読み出しはできるが、書き込みができない場合は、フロッピーディスクが書き込み禁止になっていないか確認してください。

フロッピーディスクを初期化したい

- 以下の手順で初期化してください。
  ① [スタート] - [マイコンピュータ] - [3.5インチFD（A:）]をクリックする。
  ② メニューの[ファイル] - [フォーマット]をクリックする。
  ③ ディスクの容量やフォーマットの種類を確認し、[開始]をクリックする。

サウンドのQ&A

音が出ない

- 【Fn】+【F4】または【Fn】+【F6】を押してミュートを解除してください。
- 以下の手順で、Windows のサウンド機能が働いているか確認してください。
（働いていない場合、【Fn】+【F5】または【Fn】+【F6】を押すと左記のポップアップウィンドウは表示されますが、音は出ません。）
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。
  ② [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックして、!が表示されていないか確認する。
  !が表示されている場合は、!が表示されているドライバーをクリックし、【Del】を押して、削除確認の画面で[OK]をクリックしてください。その後、コンピューターを再起動してください。

音量を変えたい

- 【Fn】+【F5】（音量を下げる）または【Fn】+【F6】（音量を上げる）を押してください。

音が乱れる

- 音声を再生中に【Fn】キーとのキー操作を行ったとき、音が乱れることがあります。再生を停止し、再生し直してください。

周辺機器が動作しない

- 接続した機器のドライバーがインストールされているか確認してください。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。
  ② 該当の機器に！が表示されていないか確認する。
  ！が表示されている場合：
  機器を一度抜き挿ししてください。再び表示された場合は、再起動してください。
- 周辺機器のメーカーのホームページなどで、最新のドライバーが提供されていないか確認してください。
- ドライバーをインストールした後は、必ずコンピューターを再起動してください。
- 接続する機器によっては、コンピューターが機器の抜き挿しを認識しなかったり、正常に動作しない場合があります。
  以下の手順を行ってください。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。
  ② 該当の機器を選び、[電源の管理]の[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]をクリックしてチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。）
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後、外部マウス、モデム、PC カード、その他のデバイスが認識されないことがあります。この場合、コンピューターを再起動してください。
- 上記の項目を確認しても動作しない場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。

ドライバーのインストール中にエラーが起きる

- OS に対応したドライバーか確認してください。未対応のドライバーを使用すると不具合が発生することがあります。
- セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで [データ実行防止機能] を [無効] に設定してください。エラーが解消される場合は、使用するドライバーがデータ実行防止機能に対応していない可能性があります。
  ドライバーについては、使用する周辺機器のメーカーにお問い合わせください。

他のマウスドライバーをインストールすると正常に動作しない

- マイクロソフト　インテリマウスの IntelliPoint など他のマウスドライバーをインストールするときは、本機にインストールされているマウスドライバーのアンインストールが必要になる場合があります。アンインストールの方法は、「外部マウスをお使いになるとき」（➔ 94 ページ）をご覧ください。
- ホイールパッドを使わず外部マウスのみでお使いの場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] に設定してください。（➔ 167 ページ）

PCカードが使えない

- PC Card Standard 規格に準拠した PC カードを使っていますか？
- PC カードが正しく取り付けられているか確認してください。（➔ 70 ページ）
- PC カードで使われている I/O ポートが正しいか（競合していないか）確認してください。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。
  ② [PCMCIAアダプタ]をダブルクリックし、該当のデバイスをダブルクリックする。
  [リソース]の[競合するデバイス]に[競合なし]と表示されていれば、競合していません。
- PC カードに付属の取扱説明書をお読みください。または、PC カードのメーカーにご相談ください。
- OS に対応したドライバーを使用しているか確認してください。

使えるRAMモジュールを知りたい

- 『取扱説明書』の「メモリーを増設する」または「仕様」をご覧ください。

RAMモジュールを正しく増設できたか確認したい

- 正しく増設できた場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューに本体メモリーと RAM モジュールの合計サイズが表示されます。（➔ 166 ページ）

- RAM モジュールが認識されていない場合：
  - コンピューターの電源を切り、RAM モジュールを取り付け直してください。
  - RAM モジュールの仕様を確認してください。
    RAM モジュールについては、『取扱説明書』の「メモリーを増設する」または「仕様」をご覧ください。

割り込み要求（IRQ）、I/Oポートアドレス等、アドレスマップがわからない

- 以下の手順で確認できます。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。
  ② [表示]メニューから[リソース（種類別）]をクリックする。

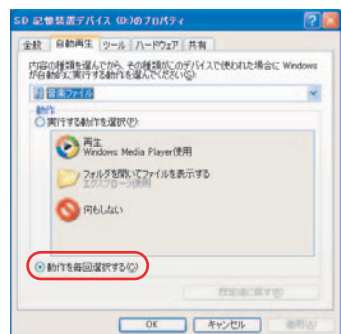
PCカードに接続した機器が正常に動作しない（IEEE1394 PCカードで動画をDVカメラに書き出す場合に動画が乱れるなど）

- CPU の省電力機能によって、パフォーマンスが低下するために起きる現象です。コンピューターの管理者の権限でログオンした後、次の操作を行ってください。
  ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行]で「c:¥util¥cpupower¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックする。
  以降、画面の指示に従ってください。
  ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [CPU省電力設定]をクリックする。

③ [パフォーマンス優先]をクリックし、[OK]をクリックして、[はい]をクリックする。
自動的に再起動します。
- 上記の設定を行っても現象が起きる場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックし、[電源設定] から [常にオン] をクリックして選んで、[OK] をクリックしてください。
- この操作により、CPU の省電力機能が原因で発生する現象は軽減されますが、その他の原因による現象には効果がありません。（例：動画再生時など CPU の負荷が高い場合に発生するノイズ）
- この操作を行うとバッテリーでの駆動時間が多少短くなりますので、周辺機器を使用しない場合は、[CPU 省電力設定] で [バッテリー優先（Windows XP 標準）] に、[電源オプション] の [電源設定] を [ポータブル／ラップトップ] に戻しておくことをおすすめします。
LAN の通信速度が極端に遅いことや無線 LAN の接続が切れることが原因で CPU 省電力設定を設定したときも、LAN など使用しない場合は、上記のように設定を戻しておくことをおすすめします。

SDメモリーカードのセキュリティ機能が使えない

- SD メモリーカードのセキュリティ機能を使用するには SD カード設定を行う必要があります。（➔ 77 ページ）
- 「SD メモリーカードで Windows にログオンできない」の項目もご確認ください。（➔ 183 ページ）

SDメモリーカードを挿し込んでも、動作を選ぶ画面が表示されない

- 実行する動作を Windows が自動的に選ぶ設定にしていませんか？
  挿し込むごとに動作を選ぶには、以下の手順で設定してください。
  ① [スタート] - [マイコンピュータ]をクリックする。
  ② SDメモリーカードの[SD記憶装置デバイス]を右クリックして[プロパティ]をクリックする。
  ③ [自動再生]をクリックする。
  ④ ファイルの種類を選び、[動作を毎回選択する]をクリックして[OK]をクリックする。

マルチメディアカードを挿し込んでも、動作しない

- 本機の SD メモリーカードスロットは、SD メモリーカード専用です。マルチメディアカードには対応していませんので、取り付けないでください。マルチメディアカードをご利用になる場合は、マルチメディアカードに対応した別売りの PC カードアダプターまたは USB リーダーライターなどが必要です。

ネットワーク全般のQ&A

ネットワークに接続できない

- セットアップユーティリティの「詳細」メニューでお使いのネットワーク（[モデム]、[LAN] または [無線 LAN] ）が [有効] に設定されているか確認してください。（➔ 168 ページ）
- コンピューターを再起動してください。
- ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
- ハブユニットのリンクランプが点灯しない場合、以下のような問題が考えられます。
  ・ハブユニットの異常または故障
  ・ケーブルの種類の間違いまたは誤配線
  ・ケーブルの断線
  また、ハブユニットにあわせた速度の設定を行ってください。（➔ 120 ページ）

電子メール、WWW、イントラネットなどが見えない

- 電話回線に接続している場合
  - プロバイダーとの契約が必要です。プロバイダーの指示に従って、TCP/IP の設定を確認してください。
- ケーブルテレビ、ADSL、光ファイバー、または LAN 経由で接続している場合
  - プロバイダーとの契約、またはネットワークのシステム管理者への届け出などが必要です。
  - プロバイダーまたはネットワークのシステム管理者の指示に従ってプロトコルなどの設定を行ってください。
  - LAN ケーブルは正しく接続されていますか？
- 無線 LAN で接続している場合
  「無線 LAN の Q&A」の項目をご覧ください。（➔ 215 ページ）

通信速度が遅い

- 「CPU 省電力設定」を使って [パフォーマンス優先] に設定すると、改善される場合があります。設定方法は、「PC カードに接続した機器が正常に動作しない」をご覧ください。（➔ 210 ページ）

ネットセレクターで作成したはずのダイヤルアップ接続がない

- コンピューターの管理者以外のドメインユーザーとしてログオンした場合、新しいダイヤルアップ接続の作成やそのコピーを行っても、ログオフするとそれらのダイヤルアップ接続は削除されます。コンピューターの管理者の権限でログオンして新しいダイヤルアップ接続の作成を行ってください。

MACアドレスを確認したい

- MAC アドレスは次の手順で確認できます。
  ① セットアップユーティリティ、デバイスマネージャ、ネットセレクターのLANや無線LANが有効になっていることを確認する。
  ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]をクリックする。
  ③「ipconfig /all」と入力し【Enter】を押す。
  ④ 無線LANのMACアドレス：
  ワイヤレスネットワーク接続側の「Physical Address」と表示された行の12桁の英数字をメモする。
  有線LANのMACアドレス：
  ローカルエリア接続側の「Physical Address」と表示された行の12桁の英数字をメモする。
  ⑤「exit」と入力し、【Enter】を押す。

アクセスポイントが検出されない

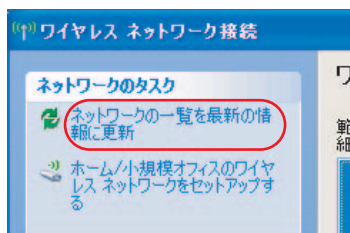
- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- 本機とアクセスポイントの距離を近づけて、再度検出してください。
- 「ワイヤレスネットワークの選択」画面にアクセスポイントが表示されるまで、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
  「ワイヤレスネットワークの選択」画面は、画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」または を右クリックして、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックすると表示されます。
- 下記の設定を確認してください。
  - セットアップユーティリティの「詳細」メニューの [無線 LAN] が [有効] に設定されていることを確認してください。(→ 168 ページ)
  - 無線 LAN の電源：
    無線 LAN 切り替えスイッチ（A）が右（ON 側）になっていることを確認してください。

  - 802.11a の設定
    802.11a を使う場合は、画面右下のタスクトレイの「無線 LAN アイコン」 または をクリックし、[802.11a 有効] をクリックする。

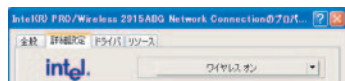
    無線LAN切り替えスイッチを右にスライドした後、または802.11aを有効にした後、すぐにはアクセスポイントが検出されません。以下の手順で検出してください。

    ① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」またはをクリックする。
    ② [ネットワークの一覧を最新の情報に更新]をクリックする。

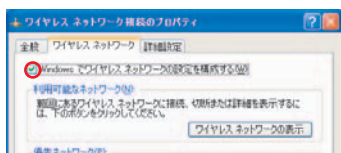
  - ワイヤレスネットワーク接続

    ① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」またはを右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。
    ② 「ネットワーク接続」画面の[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[無効にする]が表示されていることを確認する。
    [有効にする]が表示されている場合は、無線LANが無効です。[有効にする]を

クリックしてください。

- ワイヤレスオン
  ①「ネットワーク接続」画面を開く（➔ 215ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。
  ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [全般] - [構成] - [詳細設定]をクリックする。

  ③ [ワイヤレスオン]と表示されていることを確認する。
  [ワイヤレスオフ]と表示されている場合は、[ワイヤレスオフ]をクリックし、[ワイヤレスオン]をクリックしてください。

- コンピューターどうしが、直接通信を行う方式（ad hoc モード）になっていないか確認してください。
  ①「ネットワーク接続」画面を開く（➔ 215ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。
  ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。
  ③ [詳細設定]をクリックする。
  ④ [コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ]が選択されている場合は、[利用可能なネットワーク（アクセスポイント優先）]をクリックする。
- アクセスポイントによっては、アクセスポイントの自動検出を制限する機能が付属している場合があります。アクセスポイントに付属の説明書に従って、アクセスポイントの SSID を確認し、手動でコンピューター側に設定してください。
- アクセスポイントの無線機能が無効になっている場合があります。
  アクセスポイントに付属の説明書に従って、アクセスポイントの設定を確認してください。
- ファイアウォール機能を持つソフトを使用する場合は、アクセスポイントからの通信を許可する設定（信頼できるコンピューターとして登録するなど）に変更してください。

アクセスポイントと通信ができない

- 次の手順で、[Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する] にチェックマークが付いているか確認してください。
  ①「ネットワーク接続」画面を開く（➔ 215ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。

② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。

③ [Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する]にチェックマークが付いていることを確認する。

- 下記の設定が、アクセスポイントと一致しているか確認してください。
  一致していない場合は、アクセスポイント側の設定をご確認のうえ、コンピューター側を再設定してください。
  - ネットワーク名（SSID または ESSID）
  - データの暗号化の設定
  - ネットワーク認証の設定
  - ネットワークキー
  - キーのインデックス値

  確認方法

  ①「ネットワーク接続」画面を開く（➔ 215ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。

  ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。

  ③ [優先ネットワーク]からアクセスポイントのネットワーク名をクリックして、[プロパティ]をクリックする。

  ④「××××プロパティ」（××××はアクセスポイントの名称）画面で設定する。
- 次の手順に従って、本機のプロトコル設定が間違っていないか確認してください（TCP/IP を使用している場合のみ）。

  ①「ネットワーク接続」画面を開く（➔ 215ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。

  ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [全般] - [インターネットプロトコル（TCP/IP）] - [プロパティ]をクリックする。

  ③ IPアドレスなどのTCP/IPプロトコルの設定を確認し、正しく再設定してください。
- アクセスポイントの機種や設定によっては、あらかじめ本機の MAC アドレスを登録しておかないとアクセスを受け付けない場合があります。
  この場合は、本機の MAC アドレスを確認し（➔ 214 ページ）、アクセスポイントに付属の説明書に従ってアクセスを受け付けるように登録してください。

- 「ワイヤレスネットワークの選択」画面で、接続するアクセスポイントの右側に「オンデマンド」または「手動」と表示されている場合は、アクセスポイントをクリックして、[接続] をクリックしてください。
  自動接続するには、以下の手順に従ってください。
  - 「オンデマンド」と表示されている場合：
    アクセスポイントが通信範囲内にあっても、自動で接続しないように設定されています。自動接続するには以下の設定を行ってください。
    ① 「関連したタスク」にある「優先ネットワークの順位の変更」をクリックする。
    ② 「優先ネットワーク」から接続するアクセスポイントをクリックし、[プロパティ]をクリックする。
    ③ [接続]をクリックする。
    ④ 「自動接続」の[このネットワークが範囲内にあるとき接続する]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。
    次回からは自動接続されます。
  - 「手動」と表示されている場合：
    前回、接続中のアクセスポイントを切断したため、手動接続になっています。一度接続し直すと、次回からは自動で接続されます。
- 画面右下のタスクトレイに または が表示されている場合は、以下の手順を行ってください。
  - が表示されているときは、IPアドレスなどが正しく取得できなかった場合があります。
    をクリックし、[サポート]をクリックして[修復]をクリックしてください。
    上記を行っても が表示される場合は、ネットワークの各設定を確認してください。
  - が表示されている場合は、接続中です。そのまましばらくお待ちください。
    の表示が長く続く場合、以下の手順を行ってください。
    ① をクリックし、[ワイヤレスネットワークの表示]をクリックする。
    ② 接続するアクセスポイントをクリックし、[切断]をクリックする。
    ③ 再度、接続するアクセスポイントをクリックし、[接続]をクリックする。

- ネットワーク接続の画面にネットワークブリッジが作成されていませんか？
  ネットワークブリッジを使用しない場合は削除してください。

通信速度が遅い

- 本機が接続しているアクセスポイントの他に、同じチャンネルまたは近いチャンネルを使用しているアクセスポイントが近くにある場合、速度が低下することがあります。接続しているアクセスポイントのチャンネルを変更して、速度が回復するか確認してください。チャンネルの変更方法については、アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。
- 以下の理由により、通信速度が遅くなっている場合があります。本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
  - IEEE802.11g または IEEE802.11b の場合は、電子レンジなどの影響を受けるため、電子レンジ使用中に通信速度が低下する場合があります。
  - IEEE802.11a は、IEEE802.11g や IEEE802.11b に比べて障害物による影響を受けやすいため、アクセスポイントと本機の間に壁があったり、離れていたりすると通信速度が低下する場合があります。
- IEEE802.11g と IEEE802.11b が混在する環境で使用した場合、IEEE802.11g での通信速度が低下する場合があります。
- 「CPU 省電力設定」を使って [パフォーマンス優先] に設定すると、改善される場合があります。設定方法は、「PC カードに接続した機器が正常に動作しない」をご覧ください。（➔ 210 ページ）

アクセスポイントとの通信が切れる

- 本機とアクセスポイント間の距離を近づけて、再度検出してください。
- IEEE 802.1X 規格の認証システムを採用していないネットワーク環境の場合は、次の手順に従って、[このネットワークで IEEE 802.1X 認証を有効にする] にチェックマークが付いていないことを確認してください。

① 「ネットワーク接続」画面を開く（➔ 215ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。

② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。

③ [優先ネットワーク]から接続するネットワーク名をクリックして、[プロパティ] をクリックする。

④ [認証]をクリックして、[このネットワークでIEEE 802.1X認証を有効にする]にチェックマークが付いていないことを確認する。

- 本機が使用しているアクセスポイントの他に、複数のアクセスポイントがある場合は、各アクセスポイントにそれぞれ異なるチャンネルを設定していることを確認してください。
- 「CPU 省電力設定」を使って [パフォーマンス優先] に設定すると、改善される場合があります。設定方法は、「PC カードに接続した機器が正常に動作しない」をご覧ください。(➔ 210 ページ)

ネットワークに接続できない

- アクセスポイントに付属の説明書に従って、アクセスポイントの IP アドレスを再設定してください。

ADSLやケーブルテレビなどで通信できない

- IP アドレスや DHCP サーバーなどの設定が、プロバイダーの指示する設定になっているか確認してください。

無線LANの有効または無効の設定ができない

- コンピューターの管理者の権限でログオンしましたか？
- 「ネットワーク接続」画面で、無線 LAN の有効または無効の設定を繰り返していると、これらの設定ができなくなる場合があります。この場合は、コンピューターを再起動してください。
- セットアップユーティリティを起動し、【F9】を押して、いったん工場出荷時の設定（パスワード設定を除く）に戻してください。

コンピューターの使用状態を確認する

ご相談窓口への相談時の情報として PC 情報ビューアーを活用することができます。（コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。）

◆PC情報ビューアーを起動する

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [PC 情報ビューアー]をクリックする。

項目をクリックすると各項目の詳細情報が表示されます。
（PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。）

◆情報をファイルに保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。

① PC情報ビューアーを起動し、保存したい情報を表示させる。

② [保存]をクリックする。

- 表示されている項目を保存する場合
  [表示している情報だけ保存する] をクリックして、[OK] をクリックする。
  ウィンドウの外に隠れている部分も含めて保存できます。スクロール操作で表示位置をずらす必要はありません。
- すべての項目を保存する場合
  [すべての情報を保存する] をクリックして、[OK] をクリックする。

③ フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。

◆画面のコピーをファイルに保存する

表示している画面のコピーをビットマップ形式（.bmp）でファイル保存することができます。

① 保存したい画面を表示させる

②【Ctrl】+【Alt】+【F8】を押す。

③「画面のコピーを.......保存しました。」と表示されるので、[OK]をクリックする。

「マイドキュメント」フォルダーに「pcinfo.bmp」ファイルが作成されます。
「pcinfo.bmp」ファイルがある場合は上書きされます。（ファイルを読み取り専用や隠しファイルに設定している場合は、上書き保存できません。）

- ファイルの拡張子（.bmp）を表示するには、エクスプローラーの [ツール] - [フォルダオプション] - [表示] をクリックし、[詳細設定] の [登録されている拡張子は表示しない] のチェックマークを外してください。

お知らせ

- 以下の操作で画面のコピーをファイルに保存することもできます。
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [画面コピー]をクリックする。
- 工場出荷時は、【Ctrl】+【Alt】+【F8】を押すと画面のコピーをファイル保存できるように設定されていますが、以下の操作で変更することもできます。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ② [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  ③ [ショートカットキー]にカーソルを移動させてクリックし、ショートカットに使うキーを押し、[OK]をクリックする。
- 色数は、256色で保存されます。
- 拡張デスクトップモードでお使いの場合
  プライマリデバイス側に表示している画面を保存します。

アプリケーションの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、本書の各 Q&A やアプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトの製造元のホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご参照ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、下記へお問い合わせください。お問い合わせの際には、必ず、お使いのコンピューターの状況をご連絡ください。

（2005 年 3 月 1 日現在）

● マカフィー®・ウイルススキャン（デスクトップに が表示されている場合のみ）

お問い合わせは当社ご相談窓口ではなく、下記にお問い合わせください。
マカフィー®・ウイルススキャンが付属しているコンピューターを購入されたお客様向けの窓口です。

マカフィー・カスタマオペレーションセンター

- 受付内容
  登録方法やお支払い等のオペレーション上のお問い合わせをいただく窓口です。
- 主な受け付け内容
  Web での登録方法に関するご相談／お客様登録情報の変更等のご相談
- お問い合わせ時間帯：月～金曜日　9:00 ～ 17:00（祝祭日を除く）
- 電話 *1：0570-030-088
- E-mail*2：カスタマオペレーションセンターへ E-mail でお問い合わせをご希望されるお客様は、下記サポートページ内にあるお問い合わせフォームをご利用ください。
- Web ページ：お問い合わせフォーム　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
  サポートページ　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・テクニカルサポートセンター

- 受付内容
  ソフトウェアの操作方法や不具合等の技術的なお問い合わせをいただく窓口です。
- 主な受け付け内容
  ソフトウェアのインストールに関するご相談
  障害に関する技術的問い合わせ
- お問い合わせ時間帯：年中無休　9:00 ～ 21:00

（電話番号、Web ページは次ページをご覧ください。）

- 電話[*1]：0570-060-033
- E-mail[*2]：テクニカルサポートへ E-mail でお問い合わせをご希望されるお客様は、下記サポートページ内にあるお問い合わせフォームをご利用ください。
- Web ページ：お問い合わせフォーム　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp
  サポートページ　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

*1　FAX によるお問い合わせは受け付けておりません。
*2　E-mail の受理は 24 時間行っております。

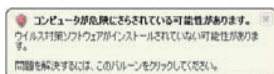
● goo スティック（付属の『ご使用の前に』に goo スティックについての説明がある方のみ）
goo 事務局
- 受付内容
  goo スティックに関する質問全般
- お問い合わせ時間帯：月～金曜日　10:00 ～ 17:00（年末年始、祝祭日を除く）
- 電話[*3]：045-848-4190
- E-mail：info@goo.ne.jp
- Web ページ：http://stick.goo.ne.jp/

*3　FAX によるお問い合わせは受け付けておりません。

● そのほかの導入済みソフトウェア
『取扱説明書』および『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」に記載されている「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」までお願いいたします。

ウィルスから守る

コンピューターウィルスは、コンピューターからコンピューターへ感染し、増殖するものです。ウィルスの中には、コンピューターのデータを破壊したり、コンピューターを起動できなくする悪質なものがあります。

ウィルスの感染を防ぐために

はじめて Windows を起動したときに、画面右下のタスクトレイの「セキュリティセンターアイコン」から、「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」というメッセージが表示されます。をクリックして、対策を行ってください。

- 詳しくは「タスクトレイの Q&A」(➔ 203 ページ)および付属の『取扱説明書』をご覧ください。

◆ウィルス対策ソフト（市販）を利用する。(➔ 226ページ)

- インストールした後もウィルス定義ファイルをこまめに更新し、ウィルスチェックを定期的に行う必要があります。

◆出どころが不明なディスクやプログラムは使用しない。

- 入手したプログラムはウィルスチェックを行ってから使用します。

◆Windowsファイアウォールを利用する。(➔ 227ページ)

◆Windows Updateを行う。(➔ 229ページ)

- 新しいタイプのウィルスに対するセキュリティ関連の修正プログラムが提供されることがあります。

◆マイクロソフト社および、お使いのウィルス対策ソフトの製造元のホームページ等で、ウィルスに関する最新の情報を入手する。

- 重要なセキュリティ情報については、弊社の Panasonic PC のホームページでもお知らせします。

◆インターネットやメール利用時

- 知らない人からのメールを開かないようにします。
- インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、ウィルスチェックを行います。

お知らせ

- 定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。
  万一ウィルスに感染しても、再インストールしてバックアップからデータを復元することができます。

ウィルス対策ソフトを使う

特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
ウィルスチェックは、ウィルス対策ソフトを必ず最新の状態にして行ってください。

- コンピューターを起動したとき
- 電子メールを送受信するとき
  送受信時にウィルスチェックを行うように、ウィルス対策ソフトを設定しておいてください。
- データを入手したとき
  フロッピーディスクなどの外部ディスクから、またネットワーク、インターネットなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル）には必ずウィルスチェックを行ってください。

- マカフィー®・ウイルススキャン（デスクトップに マカフィー ウイルススキャン... が表示されている場合のみ）
  コンピューターウイルスを検査、駆除するソフトとして、マカフィー®・ウイルススキャンをお使いいただくことができます。詳しくは付属の『取扱説明書』をご覧ください。

Windowsファイアウォールを使う

Windows ファイアウォールは、インターネット経由の不正アクセスなどからコンピューターを保護する機能です。工場出荷時はファイアウォールが有効に設定されています。
以下の操作で設定することができます。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] - [Windowsファイアウォール]をクリックする。

② [全般]、[例外]、[詳細設定]をクリックし、必要に応じて設定を変更して[OK]をクリックする。

お知らせ

- ネットワークに関連したソフトウェアやネットワークゲームによっては、Windowsファイアウォールを有効にしていると、正常に動作しないものがあります。このようなソフトをお使いになる場合のWindowsファイアウォール設定に関しては、お使いのソフトウェア製造元にお問い合わせください。
「タスクトレイのQ&A」(➔ 203ページ)もご覧ください。
なお、ご使用環境によってはWindows ファイアウォールが正常に動作しない場合もあります。
- Windowsファイアウォールの詳細については、以下の手順で[ヘルプとサポート]をご覧ください。
① [スタート] - [ヘルプとサポート]をクリックし、検索に「ファイアウォール」と入力して検索する。
② [Windowsファイアウォールの概要]をクリックする。

ウィルスを発見したら

二次感染を防ぐため、ネットワークを切り離し、ハードディスクなどをチェックしておく必要があります。

◆ウィルスの被害届について

日本ではウィルスを発見した場合、今後の対策や被害状況の把握のためにも所定の機関への届け出をお願いします。

届け出先：
情報処理推進機構（IPA）　セキュリティセンター
FAX：03-5978-7518
E-mail：virus@ipa.go.jp
URL：http://www.ipa.go.jp/security/
（2005年3月1日現在）

本機を最新の状態にする

Windowsを最新の状態にする

インターネットに接続した環境であれば、Windows Update を実行し、Windows 用の最新サービスパックや修正プログラムを利用して、お使いのコンピューターの Windows を最新の状態にすることができます。また、ウィルスなどの不正侵入に対する対策としても有効です。

- お買い上げ時は、「Windows セキュリティセンター」機能の Windows Update を自動的に行う自動更新が設定されていません。セキュリティセンターの自動更新については、「タスクトレイの Q&A」（→ 203 ページ）または付属の『取扱説明書』をご覧ください。

Windows Updateを行う

1 デスクトップの Internet Explorer をダブルクリックし、Internet Explorerを起動する。

2 弊社のホームページ（http://panasonic.biz/pc/support/security/winupdate/）にアクセスして、本機に関するWindows Updateの情報を確認する。

3 Windows Updateを実行する。
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Windows Update]をクリックする。
画面に従って更新プログラムをインストールする。

「カスタムインストール」の「ハードウェア用の更新プログラムを追加で選択」に表示される項目は適用しないでください。ドライバーの更新が必要な場合は、上記の弊社ホームページでお知らせしますので、そちらを適用してください。

お知らせ

- 再インストールした後も必ず[Windows Update]を行ってください。
- インストールした更新プログラムの種類により、さらに更新プログラムが提供されている場合があります。プログラム更新後に、再度Windows Updateを実行してください。

◆インストールされている更新プログラムの確認方法

[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックし、[更新プログラムの表示] にチェックマークを付ける。

- 表示されない更新プログラムもあります。
- 表示されるプログラムのうち、Hotfix（またはホットフィックス）と書かれたプログラムには、セキュリティ関連の更新プログラムが含まれています。誤って削除しないようご注意ください。

ドライバーやBIOSなどを更新する

ドライバーや BIOS の更新が必要な場合は、パナソニック PC のホームページでお知らせします。必要かどうか確認の上、必要な場合は各種ドライバーや BIOS をダウンロードしてください。
Adobe Reader などのアプリケーションソフトについては、各アプリケーションソフトの製造元のホームページで必要な更新情報が記載されていないか確認してください。

1 デスクトップの Internet Explorer をダブルクリックし、Internet Explorerを起動する。

2 [お気に入り] - [パナソニックお勧めのサイト] - [パナソニック PCのホームページ]をクリックする。

3 必要なファイルをダウンロードする。

画面の内容をよく読んで、ホームページの記載内容またはダウンロードした手順などに従って操作する。
手順書などは印刷しておくことをおすすめします。

Windows関連ファイルについて

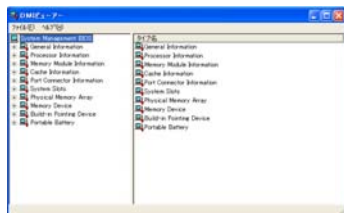
市販の Windows CD-ROM **に収められているファイルは、以下のフォルダーにインストールされています。**
c:¥windows¥docs、c:¥windows¥dotnetfx、c:¥windows¥i386、c:¥windows¥support¥tools、c:¥windows¥valueadd

Windowsのセキュリティについて

セットアップユーティリティのセキュリティ機能とは別に、Windows **のセキュリティ機能があります。詳細については、**Windows **のヘルプを参照してください。**

システムの構成を見る（DMIビューアー）

本機は DMI（Desktop Management Interface）の規格に準拠しています。
CPU やメモリーをはじめ、本機がサポートしているシステムの情報を知りたいときに使います。

DMIビューアーを起動する

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [DMI ビューアー] をクリックする。

左のような画面が表示されます。
項目をクリックすると詳細情報が表示されます。

情報ファイルを保存する

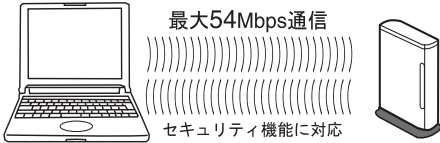
表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。
DMI ビューアーを起動し、保存したい情報を表示します。

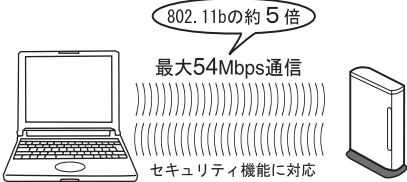
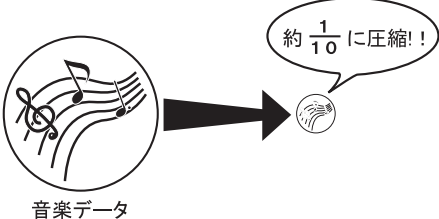
1 保存方法を選ぶ。

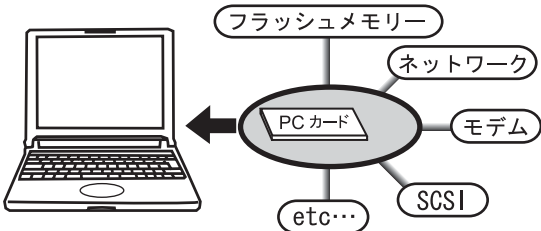
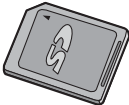
- 表示されている項目を保存する場合
  [ファイル] をクリックして、[表示中のデータを保存] をクリックする。
- すべての項目を保存する場合
  [ファイル] をクリックして、[すべてのデータを保存] をクリックする。

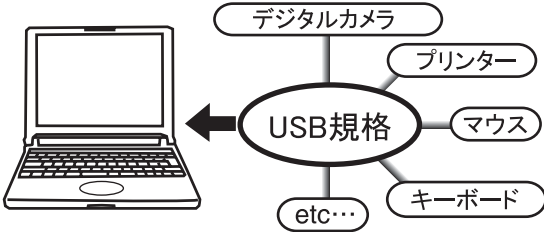
2 フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。

用語集

コンピューターをお使いいただくうえで、知っていると便利な用語の解説を記載しています。

◆英字

ad hoc 通信モード （アドホック通信モード）	無線 LAN の通信方法のひとつで、無線 LAN 機能を持った 2 台のコンピューターが、アクセスポイント（➔ 241 ページ）を使わずに直接データのやりとりを行う方式のこと。 これに対して、アクセスポイントを使って 2 台以上のコンピューターでデータのやりとりを行う方式は、インフラストラクチャ通信モードといいます。 ad hoc通信モード　インフラストラクチャ通信モード　（アクセスポイント）
Administrator （アドミニストレーター）	コンピューターやネットワークの全機能を利用、管理する権限を持ったユーザーまたはアカウント（➔ 241 ページ）のこと。
AES （エー・イー・エス）	米商務省標準技術局（NIST）によって 2001 年に米国政府の次世代標準暗号化技術として認定された方式。無線 LAN で AES を利用する場合は、AES に対応したアクセスポイントが必要になります。WEP との互換性はありませんが、TKIP（➔ 240 ページ）と違い、暗号・復号化処理が速く、通信速度への影響が少ないと言われています。
ANY 接続拒否機能 （エニィセツゾクキョヒキノウ）	コンピューター側の ESS-ID を「ANY」または空白のままに設定すると、通信可能範囲内に存在する無線 LAN アクセスポイントに接続できてしまう場合があります。このような場合、「ANY 接続拒否機能」を有効に設定すると、コンピューター側からアクセスポイントの検索ができなくなったり、コンピューター側からの接続ができなくなります。 「ANY 接続拒否機能」は、アクセスポイント側に搭載される機能です。ただし、機器により機能名が違ったり、搭載していない場合もあります。お使いの機器をご確認ください。
ADSL （エー・ディー・エス・エル）	ブロードバンド接続のひとつ。電話では使用しない高い周波数でデータを流すことによって、アナログ電話回線をそのまま利用して高速なデータ通信を行うサービスのこと。電話局と一般電話を結ぶ電話回線の両端に、ADSL モデムという装置を取り付け、このモデム間で高速データ通信を行います。
BIOS （バイオス）	Basic Input/Output System の略。コンピューターの基本的な制御を行っているプログラムの集まりのこと。コンピューターの電源を入れると自動的に起動するので、基本的にはこの BIOS の存在を意識する必要はありません。 ● 本機では、Windows が起動するまでは BIOS だけで、Windows 起動後は BIOS と Windows が協調してコンピューターの動作を制御しています。また、この BIOS 上で動作しているプログラムのひとつがセットアップユーティリティ（➔ 243 ページ）です。

◆英字

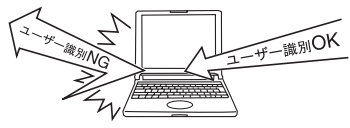
DDR2 SDRAM (ディー・ディー・アール・ツー・エス・ディー・ラム)	コンピューター内部のデバイス（➔ 244 ページ）は、一定間隔でオン／オフを繰り返すクロック信号に合わせていろいろな動作を行っていますが、このクロック周期に同期して動くメモリー（➔ 248 ページ）が SDRAM（Synchronous DRAM）です。この SDRAM の 4 倍のデータ転送速度を持つメモリーが DDR2 SDRAM です。
Designed for Microsoft Windows XP （デザインド フォー マイクロソフト ウィンドウズ エックスピー）ロゴ	このマークは、各種コンピューター機器の規格を守り、Windows XP の新しい機能が使えるようにデザインされていることが、Microsoft 社が規定した検証テストで確認された製品に付けられています。
ESS-ID （イー・エス・エス・アイ・ディー）	Extended Service Set ID の略。無線 LAN を使用するときに、通信する相手を識別するための文字列のこと。無線 LAN 電波を使って通信するので、たくさんのネットワークと交信可能になります。そのため、各コンピューターとアクセスポイント（➔ 241 ページ）はこの文字列を確認し、ESS-ID が一致しているものどうしだけが通信できるようにします。
FLASH カード （フラッシュカード）	データを記録するためのカード状の機器のこと。電源を切ってもデータは消えず、ハードディスクと同じような性質をもっていますが、機械的な部分がないため、ハードディスクより手軽に扱うことができます。種類としてコンパクトフラッシュやスマートメディアなどがあり、携帯型コンピューターやデジタルカメラなどに幅広く利用されています。
Hotkey （ホットキー）	2 つ以上のキーを組み合わせて押し、割り当てられた特定の機能を実行すること。 （1 つのキーでも特定の機能を実行できればホットキーと呼ぶ場合があります。） ● 本機では【Fn】を押しながら【F9】を押してバッテリー残量のポップアップウィンドウを表示するなどの操作が行えます。また、Fn キーをロック状態にしたり、ポップアップウィンドウの表示／非表示を設定することもできます。（➔ 27 ページ）

◆英字

IEEE802.11a （アイ・トリプルイー 802.11 エー）	IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers/ 米国電気電子学会）が承認した無線 LAN の規格のこと。最大 54 Mbps[*1] の通信が可能です。5 GHz の周波数帯域を使用する規格です。ただし、IEEE802.11a（5 GHz の無線 LAN）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。WEP（Wired Equivalent Privacy）（➔ 241 ページ）、AES（➔ 235 ページ）、TKIP（➔ 240 ページ）という方式で暗号化もサポートされています。 [*1] 表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
IEEE802.11b （アイ・トリプルイー 802.11 ビー）	IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers/ 米国電気電子学会）が承認した無線 LAN の規格のこと。2.4 GHz の周波数帯域を使用し、最大 11 Mbps[*2] の通信が可能です。WEP（Wired Equivalent Privacy）（➔ 241 ページ）、AES（➔ 235 ページ）、TKIP（➔ 240 ページ）という方式で暗号化もサポートされています。 [*2] 表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

◆英字

IEEE802.11g （アイ・トリプルイー 802.11 ジー）	IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers/ 米国電気電子学会）が承認した無線 LAN の規格のこと。最大 54 Mbps[*1] の通信が可能です。802.11b と同じ 2.4 GHz の周波数帯域を使用しながら約 5 倍のデータ転送を可能にする規格です。 WEP（Wired Equivalent Privacy）（➔ 241 ページ）、AES（➔ 235 ページ）、TKIP（➔ 240 ページ）という方式で暗号化もサポートされています。 *1 表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
IEEE802.1X （アイ・トリプルイー 802.1 エックス）	IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers/ 米国電気電子学会）が承認した無線 LAN のユーザー認証に関する規格のこと。コンピューター通信を開始する前に認証を行い、認証されているユーザーのみが通信できます。
LAN （ラン）	Local Area Network の略。社内や学校内など、比較的限られたエリア内でのコンピューターネットワークのこと。
MAC アドレス （マック・アドレス）	ネットワークで使用する機器（ネットワークカード、内蔵の無線 LAN モジュールなど）ごとにつけられた固有の番号のこと。00:11:22:AA:BB:CC といった形式で表されます。これはユーザーが割り当てるものではなく、メーカーがあらかじめ割り当てているもので、同じ番号は存在しません。Windows XP 上では、[Physical Address] と表示されます。 ● 本機の MAC アドレスの確認方法（➔ 214 ページ）
MP3 （エム・ピー・スリー）	コンピューターで聞くことができる音楽形式のひとつ。音質をあまり損なうことなく、音楽データのサイズを音楽 CD のデータと比較して約 10 分の 1 に圧縮する技術を使っています。

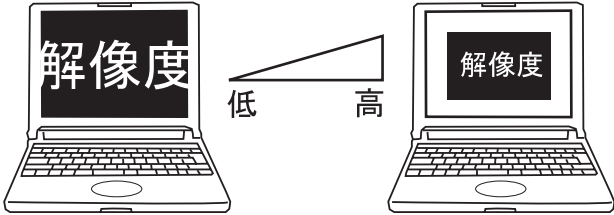
◆英字

MPEG （エム・ペグ）	デジタル動画を効率的に圧縮するための技術。そのひとつである MPEG2 はすぐれた画質で、DVD-Video などに利用されています。圧縮率が MPEG2 より低い MPEG1 もあり、Video-CD で利用されています。また、電話回線など通信速度の低い回線を通じた低画質、高圧縮率の映像の配信を目的とした MPEG4 という規格もあります。
NTFS （エヌ・ティー・エフ・エス）	Windows NT®、Windows® 2000、または Windows® XP で、ファイルやデータを記録・管理するしくみ（ファイルシステム）のこと。NTFS 以前には、DOS や Windows で利用できるファイルシステムとして FAT（File Allocation Table）がありましたが、より堅牢性やセキュリティなどにすぐれているのが NTFS です。
PC カード （ピー・シー・カード）	コンピューターにさまざまな機能を追加するカード型デバイス（➔ 244 ページ）のこと。モデムカード、ネットワークカード、フラッシュメモリーカード、SCSI カードなどがあり、カードの厚みにより、Type Ⅰ、Type Ⅱ、Type Ⅲがあります。 ● 本機の PC カードスロットは Type Ⅰ、Type Ⅱに対応しています。
RAM モジュール （ラム・モジュール）	半導体メモリーチップを 1 枚の基板に搭載してまとめた部品。コンピューターのメモリー（➔ 248 ページ）を増やしたいときに拡張メモリースロットに挿し込んで使います。メモリー（RAM）を増やすと、プログラムの操作がより快適になる、大きなデータを扱えるようになる、たくさんのプログラムを同時に使えるといったメリットが得られます。RAM モジュールにはいろいろな種類や容量があり、そのコンピューターにあった RAM モジュールを使います。
SD メモリーカード （エス・ディー・メモリーカード）	ほぼ切手大のメモリーカードに固有の ID を加えたもの。音楽や映像を記録することができ、強力な著作権保護機能も備えています。コンピューター、デジタルカメラ、携帯電話等、さまざまな機器で使用でき、データ交換も行えます。

◆英字

SRAM カード （エスラム・カード）	SRAM は Static RAM の略。DRAM（Dynamic Random Access Memory）のように記憶内容保持のためのデータの再書き込み（リフレッシュ）が必要ないため、データの処理速度が速いというメリットがあります。その SRAM を利用した RAM のカード型デバイス（➔ 244 ページ）です。
SSID （エス・エス・アイ・ディー）	ESS-ID➔ 236 ページ
TKIP （ティー・キップ）	Temporary Key Integrity Protocol の略。 WEP（Wired Equivalent Privacy）（➔ 241 ページ）の後継にあたる暗号化の規格です。 WEP の暗号化キー（WEP キー）は固定ですが、TKIP では一定時間ごと、もしくは一定パケット量ごとに自動的に暗号化キーを変更します。暗号化キーを変化させることで暗号化キーの解読が困難になり、セキュリティの向上を図ることができます。
TPM （ティー・ピー・エム）	Trusted Platform Module の略。 高レベルの暗号処理と、そこで利用する暗号鍵の安全な保管を目的とするセキュリティチップのこと。 ● 本機では TPM チップを搭載しており、Infineon Security Platform ソリューションソフトウェアで使用できます。詳細は『セキュリティガイド』（画面で見るマニュアル）をご覧ください。
USB （ユー・エス・ビー）	コンピューターとキーボード、プリンター、デジタルカメラなどの周辺機器をつなぐための規格。USB に対応した周辺機器であれば、本機と周辺機器にある USB コネクターどうしを USB ケーブルでつないで使用できます。USB に対応した周辺機器は、基本的にはコンピューター本体の電源を切らなくても取り付け、取り外しができます（ホットプラグ）。 ● 本機では USB2.0 に対応しています。USB2.0 対応の周辺機器を使用すれば、高速で周辺機器との通信が可能です。 デジタルカメラ プリンター USB規格 マウス キーボード etc…

◆英字

用語	説明
WEP （ウェップ）	Wired Equivalent Privacy の略。無線 LAN（➔ 248 ページ）で使用されている暗号化の技術。情報伝達のセキュリティを守るため、通信を行う双方で、同じネットワークキー（➔ 242 ページ）が登録されている場合のみ通信が行えます。
WPA （ダブリュー・ピー・エー）	Wi-Fi Protected Access の略。WEP（上記）の弱点を補い、セキュリティをより向上させたもの。IEEE802.1X のユーザー認証規格を含み、ネットワークキー（➔ 242 ページ）を一定時間ごとに自動的に更新します。

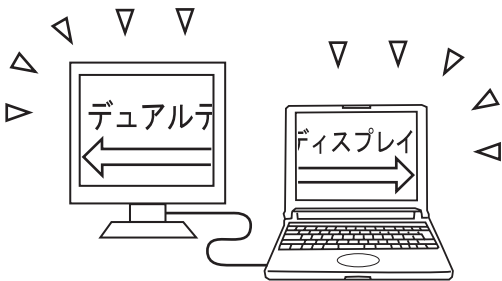
◆あ行

用語	説明
アイコン	デスクトップやタスクトレイに表示される小さな図柄のこと。図柄でアプリケーションソフトの内容や機能をわかりやすくしています。このアイコンをダブルクリック（➔ 244 ページ）することで、そのアプリケーションソフトが実行できます。また、フォルダーや文書ファイルなどをアイコン上にドラッグ＆ドロップすることで実行できるアプリケーションソフトもあります。
アカウント	Windows にログオン（➔ 249 ページ）したり、電子メールを使ったり、インターネットなどのネットワークに接続したりするときの権限のこと。ユーザーを識別するために使われます。 ● Windows では、ユーザーごとにアカウントを割り当てることにより、ユーザーごとにデスクトップ画面など、Windows の機能設定を変えることができます。 アカウントの作成方法：⇒『取扱説明書』「はじめて使うとき」 ● 制限付きのアカウントでは、一部使えない機能やアプリケーションソフトがあります。
アクセスポイント	インターネットなどに接続する際、コンピューターとインターネットを結ぶ中継点のこと。モデムを通してインターネットに接続する場合はプロバイダーが用意します。 無線 LAN（➔ 248 ページ）の場合は、通信を中継する機器のこともアクセスポイントといいます。

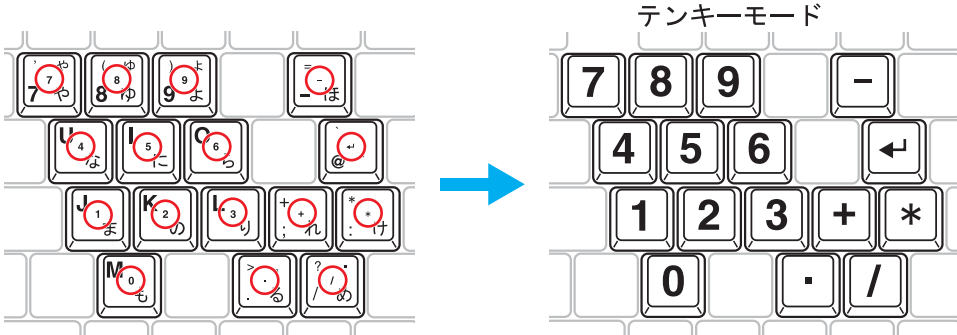
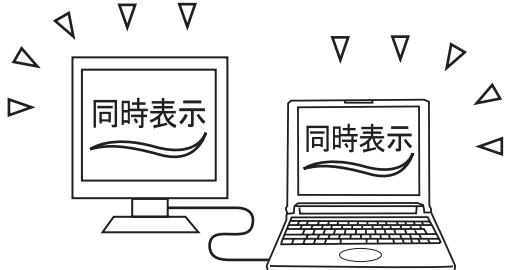
用語集

◆あ行

用語	説明
暗号化	データを他人にはわからない形に変換すること。送信者と受信者の間でデータを変換するためのルール（アルゴリズム）と鍵（ネットワークキー）を決めておき、送信者が変換（暗号化）したデータを受信者が元に戻します（復号化）。重要なやりとりを他人に解読されることなく行うことができます。
ウィルス	コンピューターウィルス（下記）

◆か行

用語	説明
解像度（ディスプレイ）	ディスプレイの表示の細かさの尺度。ディスプレイ上に並ぶ表示点の数を横 x 縦で表します。この表示点の数が多い（解像度が高い）ほど、多くの情報を表示できます。
休止状態	現在の作業の状態をそのままハードディスクに保存して電源を切ることができ、次に電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態が画面に表示される機能のこと。
クリック	マウスボタン（左右ボタン）やフラットパッド（ホイールパッド）を、短く 1 回だけ押して離す操作のこと。この操作を素早く 2 回続けて行うことをダブルクリック（➔ 244 ページ）といいます。プログラムやデータ、メニューの選択や実行をするときに使います。右ボタンをクリックするときは右クリック、左ボタンをクリックするときは左クリックといいますが、通常、単にクリックというと左クリックのことです。
コーデック	CODEC ＝ COmpression ／ DECompression の略。DVD-Video など容量の大きいファイルを圧縮して保存し、保存されたデータを映像や音声記号に戻すドライバーやデバイスのことです。
コンピューターウィルス	コンピューターからコンピューターへ感染し、増殖するもの。ウィルスの中には、コンピューターのデータを破壊したり、コンピューターを起動できなくする悪質なものがあります。なお、ウィルスからコンピューターを守るためにはウィルス対策ソフトなどの使用が有効です。また、定期的に Windows Update を行い、Windows 用の最新サービスパックや修正プログラムを利用して、Windows を最新の状態にしておくことが大切です。

◆さ行

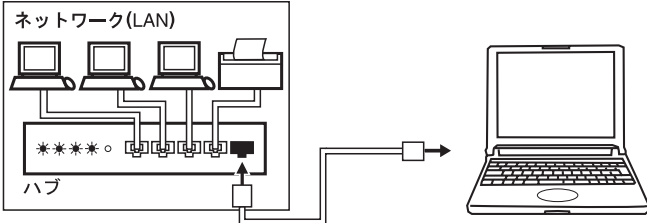
再インストール	ソフトウェアやドライバーなどをコンピューターへ入れ直すこと。または一括して OS を入れ直すこと。ソフトウェアなどが正常に動作しなくなった場合などに行います。 ● 本機では、ハードディスク内のリカバリー用データを使うことにより、Windows を一括して再インストールすることができます。
スクリーンセーバー	コンピューターを起動した状態で一定時間放置した場合、画面を消したり、動画や静止画を表示させる機能。
スクロール	ウィンドウに表示する文字や画像などの情報が画面に収まりきらないとき、上下左右に表示内容を動かすこと。
スタンバイ	現在の作業状態をメモリーに保存して電源を切ることができ、次に電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態が画面に表示される機能。電力の供給がなくなるとメモリーに保存されていたデータが失われますので、スタンバイ中は必ず、AC アダプターまたはバッテリーパックを接続しておいてください。
セーフモード	コンピューターにトラブルが起きて Windows が正常に起動できなくなったときに利用する起動モードのこと。アイコン等が拡大表示された画面になり、セーフモードで起動していることが表示されます。拡張機能を極力外した必要最低限の状態で起動しています。不具合の原因調査や修復を行うことができます。 ● 本機では、コンピューター起動時、「Panasonic」起動画面が消えたときから【F8】を押し続け、「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離すことで、セーフモードを起動することができます。
セットアップユーティリティ	BIOS（→ 235 ページ）上で動作し、コンピューターのシステム構成を設定するソフトウェアのこと。コンピューター本体の動作やセキュリティなどの設定・変更を行うことができます。 ● 本機では、コンピューターの起動後すぐに【F2】を押すと、セットアップユーティリティを起動することができます。

◆た行

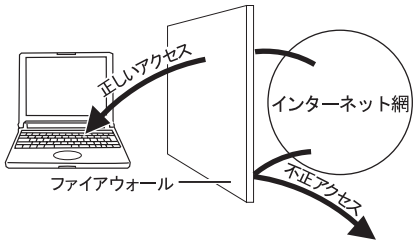
タイトルバー	ウィンドウ画面の上部にあり、アプリケーションソフトのタイトルや、現在開いているファイルのファイル名などが表示される部分のこと。カーソルでドラッグ（→ 246 ページ）すると、ウィンドウ全体を移動できます。 コントロール パネル

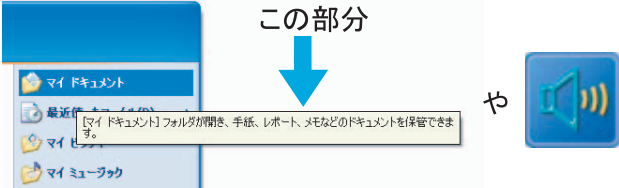
◆た行

タスクトレイ	画面の下に表示されているタスクバー（下記）の右端（時刻表示やアイコンが並んでいるところ）。音量調節など、各種設定の切り替えツールなどが登録されています。
タスクバー	画面の一番下（お買い上げ時の状態）にある現在実行されているソフトウェアの情報が表示されている部分のこと。タスクバーの [スタート] メニューとタスクトレイの間に複数のソフトウェアの情報が表示されている場合、ここをクリックすることで使用するソフトウェアを切り替えることができます。
ダブルクリック	マウスボタンやフラットパッド（ホイールパッド）を、続けて 2 回素早く押して離す操作のこと。データを表示させたり、プログラムやメニューを実行するときなどに使います。ダブルクリックは左右ボタンのうち、左ボタンを使います。
ディザリング	表現したい中間色を、複数の色を組み合わせて表現すること。例えば、黒い点と白い点を交互に並べると、全体として灰色に見えるのもディザリングのひとつです。
デバイス	キーボードやハードディスクなど、コンピューターに接続して使用する周辺装置全般のこと。ハードディスクドライブやモデム 、LAN のようにコンピューター本体に内蔵されているものもデバイスと呼びます。
デュアルディスプレイ（拡張デスクトップ）	内部 LCD（→ 246 ページ）と外部ディスプレイを連続した表示領域として使うこと。両方のディスプレイの間で、ウィンドウのドラッグ移動などができます。

◆た行

テンキーモード	**キーボードの一部を使って、テンキーとほぼ同じ並びで数字、または演算記号が入力できるモードのこと。モード設定を解除すると通常のキーとして操作できます。** ● **本機では【NumLk】を押すとテンキーモードになり、設定されたことをお知らせする「NumLock お知らせ」画面が表示されます。テンキーモードを解除するにはもう一度【NumLk】を押します。（**→ 29 ページ**）** テンキーモード
同時表示 （Intel(R) Dual Display Clone）	**内部 LCD（**→ 246 ページ**）と接続された外部ディスプレイの両方に同じ画面を表示させること。** ● **本機では【Fn】＋【F3】を押すと、表示先が外部ディスプレイ、内部 LCD または同時表示に切り替えられます。（同時表示は、Windows 起動後のみ切り替え可能）**
ドライバー	**接続されている周辺機器がどのような製品で、どのように動作すればいいかという情報を OS に伝えて、OS が周辺機器を正しく動作させることができるようにするためのソフトウェア。デバイスドライバーとも呼ばれます。Windows にドライバーが含まれている周辺機器もありますが、ドライバーが含まれていない周辺機器は、必要なドライバーをインストールして使います。**

◆た行

ドラッグ	マウスのボタンを押したままマウス本体を移動させ、領域を選択したり、選択されたアイコンやウィンドウを移動させる操作のこと。フラットパッド（ホイールパッド）では、ボタンを押したまま、操作面上で指を移動させることによりドラッグすることができます。

◆な行

内部 LCD	コンピューター本体の液晶ディスプレイのこと。外部ディスプレイ（接続された外付けのディスプレイ）と区別して呼びます。
ネットワークキー	暗号化 ➔ 242 ページ

◆は行

パーティション（区画）	ハードディスク上に作成した領域のこと。1 つのハードディスクに 1 つ、あるいは複数のパーティションを作成することができます。複数のパーティションを作成した場合には、1 つのディスクを複数のディスクのように扱うことができます。例えば 20G バイトのハードディスクを C ドライブに 10G バイト、D ドライブに 10G バイトと、2 つのパーティションに分け、C ドライブを Windows などのシステムとアプリケーションソフト用に、D ドライブをデータ保存用に使用するということができます。
ハブ	同じ種類のケーブルを集めて、情報を中継するための装置のこと。USB ハブやネットワークハブなどがあります。

◆は行

ファイアウォール	**外部ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを保護するためのセキュリティシステムのこと。外部ネットワークとの間でやりとりされるデータを規制して、認められているデータ以外は通過できないようにする働きをします。** ● Windows XP **には** Windows **ファイアウォールが搭載されています。（**➔ 227 ページ**）**
プロトコル	**コンピューターどうしでデータ通信をするために必要な共通の約束事。異なるコンピューターどうしでデータのやりとりができるようにするためには、データ送受信のタイミングや送受信される情報のフォーマットなど、双方に同じ約束事が必要となります。たとえばインターネットでは** TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）**と呼ばれるプロトコルを使って、さまざまなソフトウェアがデータ通信を行っています。**
プロバイダー	**インターネットに接続してくれる会社のこと。** **サービス内容や料金体系はプロバイダーによって異なりますので、プロバイダーに入会する前に十分確認するようにしましょう。**
ホイールパッド（フラットパッド）	**マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使うパッドのこと。** ● **本機ではスクロールしやすい独自の円形パッドを搭載しており、ホイールパッドと呼びます。**

用語集

◆は行

ポップアップウィンドウ	特定の画面が表示されたときや、特定の位置にカーソルを移動したときなどに、自動的に表示されるウィンドウのこと。ウィンドウには使いかたの説明、選択できる機能のメニューなどが表示される場合があります。これらは一時的に表示されることが多く、必要がなくなったら消えます。 ● 本機では【Fn】と組み合わせて特定のキーを押したときに表示されるウィンドウもこう呼びます。

◆ま行

右クリック	ボタンが 2 つあるマウスの右ボタンをクリックすること。そのときに表示されるメニューの内容は使うアプリケーションソフトによって異なりますが、多くはメニューバーの内容の一部（ショートカットメニュー）が現れます。
無線 LAN	電波を利用して、無線で通信を行う LAN（➔ 238 ページ）のこと。共通の無線周波数を使ってデータの送受信を行います。LAN ケーブルの配線が不要なので、アクセスポイント（➔ 241 ページ）から離れた場所でも利用できます。情報伝達のセキュリティを守るため、ESS-ID（➔ 236 ページ）や WEP（➔ 241 ページ）を利用できます。
メニューバー	各ウィンドウの上部にあるタイトルバー（➔ 243 ページ）の下のソフトウェアの機能が表示されている部分のこと。「ファイル」「編集」「表示」などが表示されています。
メモリー	コンピューターの中でデータを記憶するための装置のこと。メモリーには RAM と ROM がありますが、一般的には、メインメモリーである RAM のことを指します。RAM は記憶内容の書き換えが可能で、メインメモリーやキャッシュメモリーなどに使用されます。ROM は記憶内容の書き換えはできず、BIOS などに使用されます。

◆や行

ユーザーアカウント	アカウント ➔ 241 ページ

◆ら行

リフレッシュレート（画面）	1 秒間に画面を更新する（再表示）回数のこと。外部ディスプレイに画面のちらつきが感じられる場合は、リフレッシュレートが低いと考えられます。
レガシー USB 対応	コンピューターの電源を入れてから Windows が起動する前に、USB（➔ 240 ページ）機器をコンピューターに認識させるためのしくみ。MS-DOS は USB 機器が開発される前の OS なので USB 機器を認識できませんが、コンピューターがレガシー USB 対応されていれば、USB 機器を認識することができます。 ● 本機ではセットアップユーティリティで [レガシーUSB] という項目があります。[有効] に設定しておくと、Windows が起動する前に USB キーボード、USB CD/DVD ドライブ、USB フロッピーディスクドライブを認識します。
ログオフ	ネットワークやコンピューターのシステムにアクセスできる状態（ログオン）を解消すること。ログアウトとも呼ばれます。
ログオン	ネットワークやコンピューターのシステムにアクセスできる状態のこと。ログインとも呼ばれます。

さくいん

ページ番号をクリックすると、該当ページにジャンプします。

A

C

D

F

H

L

N

P

S

U

W

あ

い

う

お

か

き

く

さ

し

さくいん

す

せ

た

て

と

ね

は

ふ

ほ

む

も

ゆ

り

- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows ロゴ、Outlook、インテリマウスは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- SD ロゴは商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- ホイールパッドは、松下電器産業株式会社の登録商標です。

PCJ0177A_XP